

基本計画書

基本計画										
事項		記入欄								備考
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ 設置者		カッコウホクシン セタイリョウガクエン 学校法人 早稲田医療学園								
フリガナ 大学の名称		ニンゲンソウガクカクダイガク 人間総合科学大学								
大学本部の位置		埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地								
大学の目的		人間総合科学大学は、教育基本法及び建学の精神に基づき、よりよく生きるための知恵（knowledge for well-being）の創出を追求するとともに、深く人間を理解し、自立と共生の心を培い、時代を切り拓く新しい展望と視座に立って、わが国の発展、国際社会に貢献しうる創造性豊かな活力あふれる人材の育成を目的とする。								
新設学部等の目的		学部再編と定員の適正化を図るため、学生の入学状況の実態に合わせて、健康栄養学科の入学定員減（40名）、ヘルスフードサイエンス学科の入学定員減（45名）、通信教育課程の心身健康科学科の入学定員減（250名）を行う。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称			入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	人間科学部		年	人	年次人	人				埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地
	健康栄養学科		4	40 (80)	－	160 (320)	学士 (健康栄養学)	家政関係	令和7年4月 第1年次	
	ヘルスフードサイエンス学科		4	15 (60)	－	60 (240)	学士 (食品健康科学)	家政関係	令和7年4月 第1年次	
	計									
	通信教育課程									
人間科学部										
心身健康科学科		4	250 (500)	－	1,000 (2,000)	学士 (人間科学)	文学関係	令和7年4月 第1年次		
計										
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		該当なし								
教育課程	新設学部等の名称		開設する授業科目の総数						卒業要件単位数	
			講義	演習	実験・実習	計				
			科目	科目	科目	科目	単位			
学部等の名称			基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
			教授	准教授	講師	助教	計			
新	人間科学部健康栄養学科		人 4 (4)	人 1 (1)	人 2 (2)	人 4 (4)	人 11 (11)	人 3 (3)	人 0 (0)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		4 (4)	1 (1)	2 (2)	4 (4)	11 (11)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）		4 (4)	1 (1)	2 (2)	4 (4)	11 (11)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）		4 (4)	1 (1)	2 (2)	4 (4)	11 (11)			

職 種				専 属		その他		計		大学全体		
事 務 職 員				12 人 (10)		23 人 (23)		35 人 (33)				
技 術 職 員				1 (1)		1 (1)		2 (2)				
図 書 館 職 員				2 (1)		4 (4)		6 (5)				
そ の 他 の 職 員				0 (0)		8 (8)		8 (8)				
指 導 補 助 者				0 (0)		0 (0)		0 (0)				
計				15 (12)		36 (36)		51 (48)				
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		早稲田医療技術専門学校 (必要面積：校舎等を保 有するに必要な面積の校 地・・・専修学校設置基 準第四十五条)と共用 (収容定員：40人) 借用面積：10,936㎡ 借用期間：25年	
	校 舎 敷 地		26156.67㎡		574.68㎡		86.05㎡		26817.40㎡			
	そ の 他		6742.23㎡		— ㎡		— ㎡		6742.23㎡			
	合 計		32898.90㎡		574.68㎡		86.05㎡		21962.90㎡			
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		早稲田医療技術 専門学校（必要 面積260㎡）と共 用（収容定 員：40名）	
			18338.82㎡ (18338.82㎡)		— ㎡ (— ㎡)		863.35㎡ (863.35㎡)		19202.17㎡ (19202.17㎡)			
教 室 ・ 教 員 研 究 室			教 室		室		教 員 研 究 室		室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		電子図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点
			〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		() ()	() ()
	計		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		() ()	() ()
			〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		() ()	() ()
ス ポー ツ 施 設 等			ス ポー ツ 施 設			講 堂			厚 生 補 導 施 設			
			㎡			㎡			㎡			
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次			
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等		300 千 円	300 千 円	300 千 円	300 千 円	— 千 円	— 千 円			
		共 同 研 究 費 等		20,000 千 円	20,000 千 円	20,000 千 円	20,000 千 円	— 千 円	— 千 円			
		図 書 購 入 費	20,000 千 円	15,000 千 円	15,000 千 円	15,000 千 円	15,000 千 円	— 千 円	— 千 円			
		設 備 購 入 費						— 千 円	— 千 円			
	学 生 1 人 当 り 納 付 金			第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次			
				千 円	千 円	千 円	千 円	— 千 円	— 千 円			
	学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要			私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入、受託研究費等外部資金等								

既設 大 学 等 の 状 況	大 学 等 の 名 称	人間総合科学大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地	
	人間総合科学大学	年	人	年次 人	人					
	人間科学部						0. 51			
	健康栄養学科	4	80	—	320	学士（健康栄養科学）	0. 60	平成17年度	埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地	
	ヘルスフードサイエンス学科	4	60	—	240	学士（食品健康科学）	0. 38	平成29年度		
	保健医療学部						0. 82			
	看護学科	4	90	—	360	学士（看護学）	0. 85	平成23年度	埼玉県さいたま市岩槻区太田字新正寺曲輪354番3	
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	4	50	—	200	学士（理学療法学）	0. 77	平成23年度		
	リハビリテーション学科 義肢装具学専攻	4	30	—	120	学士（義肢装具学）	0. 80	平成23年度		
【通信教育課程】 人間総合科学大学	人間総合科学研究科 健康栄養科学専攻	2	5	—	10	修士（健康栄養科学）	0. 40	平成21年度	埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地	
	人間科学部									
	心身健康科学科	4	500	—	2000	学士（人間科学）	0. 33	平成12年度	埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地	
	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻	3	9	—	27	博士（心身健康科学）	1. 04 1. 59	平成19年度	同上	
	心身健康科学専攻	2	30	—	60	修士（心身健康科学）	0. 80	平成16年度		
附属施設の概要		該当なし								

- (注)
- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
 - 3 「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとする。
 - 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 7 空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人早稲田医療学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
人間総合科学大学				人間総合科学大学				
人間科学部				人間科学部				
健康栄養学科	80	—	320	健康栄養学科	40	—	160	定員変更(△40)
ヘルスフードサイエンス学科	60	—	240	ヘルスフードサイエンス学科	15	—	60	定員変更(△45)
保健医療学部				保健医療学部				
看護学科	90	—	360	看護学科	90	—	360	
リハビリテーション学科				リハビリテーション学科				
理学療法学専攻	50	—	200	理学療法学専攻	50	—	200	
義肢装具学専攻	30	—	120	義肢装具学専攻	30	—	120	
計	310	—	1240	計	225	—	900	
人間総合科学大学大学院				人間総合科学大学大学院				
人間総合科学研究科				人間総合科学研究科				
健康栄養科学専攻(M)	5	—	10	健康栄養科学専攻(M)	5	—	10	
計	5	—	10	計	5	—	10	
人間総合科学大学（通信教育課程）				人間総合科学大学（通信教育課程）				
人間科学部				人間科学部				
心身健康科学科	500	—	2000	心身健康科学科	250	—	1000	定員変更(△250)
計	500	—	2000	計	250	—	1000	
人間総合科学大学大学院（通信教育課程）				人間総合科学大学大学院（通信教育課程）				
人間総合科学研究科				人間総合科学研究科				
心身健康科学専攻(M)	30	—	60	心身健康科学専攻(M)	30	—	60	
心身健康科学専攻(D)	9	—	27	心身健康科学専攻(D)	9	—	27	
計	39	—	87	計	39	—	87	
早稲田医療技術専門学校				早稲田医療技術専門学校				
保健学科	40	—	40	保健学科	40	—	40	
計	40	—	40	計	40	—	40	

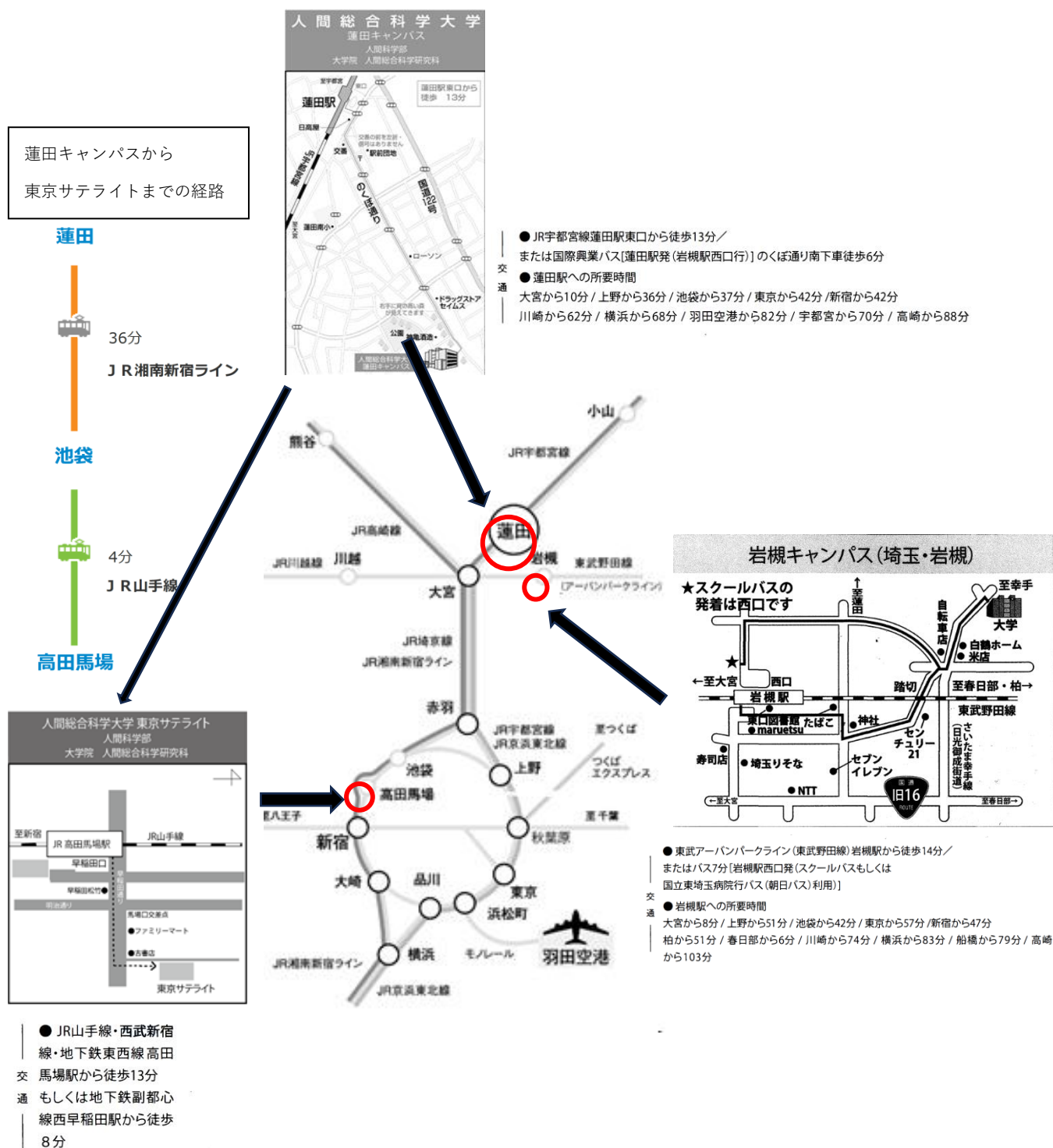
(1) 都道府県内における位置関係の図面
埼玉県におけるキャンパスの位置



東京都におけるサテライトの位置



(2) 最寄駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



(3) 校舎、運動場等の配置図

The map illustrates the layout of Lotus Campus. A red line delineates the campus boundary. Key features include:

- 実習農園** (Practical Farm): 1,271m², located in the upper right.
- 本館** (Main Building): A large rectangular building on the right side.
- 食と健康科学センター** (Food and Health Science Center): A rectangular building in the center.
- 栄養棟** (Nutrition Building): A rectangular building to the left of the center.
- 運動場** (Sports Field): 2,837m², located on the left side.
- 校地境界線** (Campus Boundary Line): Indicated by a red line.
- 蓮田キャンパス 配置図** (Lotus Campus Layout Map): Title of the map.
- 校地面積: 22,656.5m² 校舎面積: 9,622.92m²** (Campus Area: 22,656.5m² Building Area: 9,622.92m²): Summary statistics.
- 北** (North): A compass rose indicating North is towards the top right.

人 間 総 合 科 学 大 学

学 則

人間総合科学大学 学則

〔目次〕

第1章 総則	3
第2章 大学の組織	3
第3章 教職員の組織	4
第4章 教授会	4
第5章 学年、学期及び休業日	4
第6章 修業年限及び在学年限	5
第7章 入学・休学・復学・退学及び除籍	5
第8章 教育課程	6
第9章 授業及び学習指導	7
第10章 試験及び成績評価	8
第11章 卒業要件等	8
第12章 科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生	10
第13章 学費等	10
第14章 賞罰	11

別表第1 入学検定料、学費等、その他	13
別表第2-1 心身健康科学科 開設授業科目一覧	14
別表第2-1-2 心身健康科学科 開設授業科目一覧（平成31年度入学以降）	16
別表第2-1-3 心身健康科学科 開設授業科目一覧教育交流校	18
別表第2-1-4 心身健康科学科 開設授業科目一覧教育交流校（平成31年度入学以降）	20
別表第2-1-5 心身健康科学科 開設授業科目一覧（令和4年度入学以降）	22
別表第2-1-6 心身健康科学科 開設授業科目一覧教育交流校（令和4年度入学以降）	24
別表第2-1-7 心身健康科学科 開設授業科目一覧（令和5年度入学以降）	26
別表第2-1-8 心身健康科学科 開設授業科目一覧教育交流校（令和5年度入学以降）	28
別表第2-1-9 心身健康科学科 開設授業科目一覧（令和6年度入学以降）	30
別表第2-1-10 心身健康科学科 開設授業科目一覧教育交流校（令和6年度入学以降）	32
別表第2-2-1 ～ 別表第2-2-3 削除	
別表第2-2-4 心身健康科学科 看護教員養成コース科目一覧	34
別表第2-3-1 ～ 別表第2-3-4 削除	
別表第2-3-5 健康栄養学科 開設授業科目一覧（平成28年度入学以降）	35
別表第2-3-6 健康栄養学科 開設授業科目一覧（平成31年度入学以降）	36
別表第2-3-7 健康栄養学科 開設授業科目一覧（令和2年度入学以降）	37
別表第2-3-8 健康栄養学科 開設授業科目一覧（令和3年度入学以降）	38
別表第2-3-9 健康栄養学科 開設授業科目一覧（令和6年度入学以降）	39
別表第2-4-1 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧	40
別表第2-4-2 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧 （平成30年度入学以降）	41
別表第2-4-3 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧 （平成31年度入学以降）	42
別表第2-4-4 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧 （令和2年度入学以降）	43
別表第2-4-5 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧 （令和3年度入学以降）	44

別表第2-4-6	ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧 (令和6年度入学以降)	45
別表第2-5-1	～ 別表第2-5-3 削除	
別表第2-5-4	看護学科 開設授業科目一覧 (平成28年度入学以降)	46
別表第2-5-5	看護学科 開設授業科目一覧 (保健師選択コース) (平成28年度入学以降)	47
別表第2-5-6	看護学科 開設授業科目一覧 (令和2年度入学以降)	48
別表第2-5-7	看護学科 開設授業科目一覧 (保健師選択コース) (令和2年度入学以降)	49
別表第2-5-8	看護学科 開設授業科目一覧 (令和4年度入学以降)	50
別表第2-5-9	看護学科 開設授業科目一覧 (保健師選択コース) (令和4年度入学以降)	51
別表第2-6-1	削除	
別表第2-6-2	リハビリテーション学科理学療法学専攻 開設授業科目一覧 (平成28年度入学以降)	52
別表第2-6-3	リハビリテーション学科理学療法学専攻 開設授業科目一覧 (令和2年度入学以降)	53
別表第2-7-1	削除	
別表第2-7-2	リハビリテーション学科義肢装具学専攻 開設授業科目一覧 (平成28年度入学以降)	54
別表第2-7-3	リハビリテーション学科義肢装具学専攻 開設授業科目一覧 (令和2年度入学以降)	55
別表第2-7-4	リハビリテーション学科義肢装具学専攻 開設授業科目一覧 (令和6年度入学以降)	56
別表第3-1-1	心身健康科学科の卒業の要件	57
別表第3-1-2	心身健康科学科の卒業の要件 (平成31年度入学以降)	57
別表第3-1-3	看護教員養成コースの卒業の要件	57
別表第3-1-4	心身健康科学科の卒業の要件 (令和4年度入学以降)	58
別表第3-1-5	看護教員養成コースの卒業の要件 (令和4年度入学以降)	58
別表第3-2	健康栄養学科の卒業の要件	59
別表第3-2-2	健康栄養学科の卒業要件 (平成28年度入学以降)	59
別表第3-2-3	健康栄養学科の卒業要件 (平成31年度入学以降)	59
別表第3-2-4	健康栄養学科の卒業要件 (令和2年度入学以降)	59
別表第3-3	ヘルスフードサイエンス学科の卒業要件	60
別表第3-3-2	ヘルスフードサイエンス学科の卒業要件 (平成30年度入学以降)	60
別表第3-3-3	ヘルスフードサイエンス学科の卒業要件 (平成31年度入学以降)	60
別表第3-4-1	～ 別表第3-4-3 削除	
別表第3-4-4	看護学科の卒業の要件 (平成28年度入学以降)	61
別表第3-4-5	看護学科の卒業の要件 (保健師選択コース) (平成28年度入学以降)	61
別表第3-4-6	看護学科の卒業の要件 (令和2年度入学以降)	61
別表第3-4-7	看護学科の卒業の要件 (保健師選択コース) (令和2年度入学以降)	61
別表第3-4-8	看護学科の卒業の要件 (令和4年度入学以降)	61
別表第3-4-9	看護学科の卒業の要件 (保健師選択コース) (令和4年度入学以降)	61
別表第3-5-1	削除	
別表第3-5-2	リハビリテーション学科理学療法学専攻の卒業の要件 (平成28年度入学以降)	62
別表第3-5-3	リハビリテーション学科理学療法学専攻の卒業の要件 (令和2年度入学以降)	62
別表第3-6-1	削除	
別表第3-6-2	リハビリテーション学科義肢装具学専攻の卒業の要件 (平成28年度入学以降)	62
別表第3-6-3	リハビリテーション学科義肢装具学専攻の卒業の要件 (令和2年度入学以降)	62
別表第3-6-4	リハビリテーション学科義肢装具学専攻の卒業の要件 (令和6年度入学以降)	62
別表第4 (第1条の2関係)	学部、学科及び専攻の教育研究上の目的	63

人間総合科学大学 学則

第1章 総則

(目的)

第1条 人間総合科学大学（以下「本大学」という）は、教育基本法及び建学の精神に基づき、よりよく生きるための知恵（knowledge for well-being）の創出を追求するとともに、深く人間を理解し、自立と共生の心を培い、時代を切り拓く新しい展望と視座に立って、わが国の発展、国際社会に貢献しうる創造性豊かな活力あふれる人材の育成を目的とする。

(教育研究上の目的)

第1条の2 本大学は学部、学科及び専攻の教育研究上の目的を別表第4の通り定める。

(自己点検及び評価)

第2条 本大学は第1条及び第1条の2の目的の達成及び教育研究水準の向上をはかる為、教育研究活動等の状況について自己点検及び評価を行う。

2 前項に定める点検及び評価を行うにあたっての項目及び体制については、別に定める。

(情報の積極的な提供)

第2条の2 本大学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第2章 大学の組織

(学部・学科及び収容定員)

第3条 本大学に、次の学部及び学科を置き、その収容定員を次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員	収 容 定 員
人間科学部		
心身健康科学科 通信教育課程	250 名	1,000 名
健康栄養学科	40 名	160 名
ヘルスフードサイエンス学科	15 名	60 名
保健医療学部		
看護学科	90 名	360 名
リハビリテーション学科		
理学療法学専攻	50 名	200 名
義肢装具学専攻	30 名	120 名

2 人間科学部心身健康科学科に前項に定める収容定員の範囲内で次のコースを置き、その収容定員を次のとおりとする。

コース	入学定員	収容定員
養護教諭養成コース	100 名	400 名
看護教員養成コース（3年次編入学）	40 名	80 名

(大学院)

第3条の2 本大学に大学院を置く。

2 大学院については、人間総合科学大学大学院学則の定めるところによる。

(附置機関)

第4条 本大学に、次の附置機関を置く。

- 一 図書館
- 二 人間総合科学 心身健康科学研究所
- 三 インスティテューショナル・リサーチ室
- 四 地域・産学連携センター
- 五 国際交流推進室

2 附置機関に関する規程は、別に定める。

第3章 教職員の組織

(教職員の組織)

第5条 本大学に学長、学部長、学科長、教授、准教授、講師、助教、助手、助手補、事務職員及び技術職員を置き、必要に応じて、副学長、補佐職、その他の職員を置くことができる。

- 2 学長は、本大学の全般に関して最終決定権を有し、校務をつかさどり所属教職員を統督する。
- 3 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
- 4 学部長は、学長を補佐し、その学部に関する業務を遂行する。
- 5 事務職員を統括するため、事務局長を置き、学長を補佐し、事務全般に関する業務を遂行する。
- 6 前項のほか、大学運営に必要な役職職員を置く。それ等の役職職員については、別に定める。

第4章 教授会

(教授会)

第6条 本大学各学部、に、教授会を置く。

- 2 教授会に関する規程は、別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第7条 人間科学部健康栄養学科及びヘルスフードサイエンス学科並びに保健医療学部の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 人間科学部心身健康科学科の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる、または10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

(学期)

第8条 学年を、次の2学期に分ける。

前期： 4月1日から9月30日まで

後期： 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第9条 休業日は次のとおりとする。ただし、面接授業及び科目修了試験等の行われる日は除くものとする。

- 一 日曜日（人間科学部心身健康科学科は月曜日とする。）
 - 二 国民の祝日に関する法律による日
 - 三 学園創立記念日 5月2日
 - 四 季節休業（学長が別に定めるものとする。）
- 2 前項の規定にかかわらず、休業日であっても授業を行うことができる。
 - 3 第1項の規定にかかわらず、臨時の休業日を定めることができる。

第6章 修業年限及び在学年限

（修業年限及び在学年限）

第10条 本大学の修業年限は4年とし、8年を超えて在学することはできない。

2 前項の規定にかかわらず、第16条第1項第1号の規定により入学した者については8年から在学年数として認定された年数を減じた年数、同条第2号及び第3号の規定により入学した者については同条第2項により定められた在学すべき年数の3倍を超えて在学することはできない。

3 特別の事情により、第1項及び第2項における年数を超える在学を許可することがある。

第7章 入学・休学・復学・退学及び除籍

（入学の時期）

第11条 本大学の入学の時期は、学期の始めとする。

（入学資格等）

第12条 本大学に入学できる者は、次の各号の一に該当し、入学の許可を受けた者とする。

- 一 高等学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の課程を修了した者
- 三 外国において、学校教育による12年の課程を終了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
- 四 高等学校卒業程度認定試験規則により高等学校卒業程度認定試験に合格した者、又は大学入学資格検定規程により大学入学資格検定試験に合格した者
- 五 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 六 満18歳以上の年齢に達し、本学において高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者
- 七 文部科学大臣が指定した者

（入学の出願）

第13条 本大学への入学を志願する者は、所定の入学願書及び別に定める書類に、入学検定料（別表第1）を添えて願出しなければならない。

（入学者の選考）

第14条 入学志願者に対しては、書類審査若しくは選考試験を行う。その方法は、その都度定める。

（入学の手続き及び許可）

第15条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、所定の書類を提出するとともに、所定の入学料及び授業料等を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

（再入学、編入学、転入学、転学部、転学科）

第16条 次の各号の一に該当する者で、本大学への入学を志願する者があるときは、教育に支障のない場合に限り、選考の上、別に定めるところにより、相当年次に入学を許可することができる。

- 一 本大学を卒業、退学、又は除籍された者
 - 二 他の大学（外国の大学を含む。）を卒業、退学、又は除籍された者
 - 三 短期大学（外国の短期大学を含む。）、高等専門学校の特攻科及び修業年限が2年以上で、その他別に定める基準を満たす専修学校専門課程を卒業した者
- 2 学生が、本学の他学部への転入又は当該学生が在学している学部内の他学科等への転入を希望したときは、当該学部又は当該学科に収容力のある限り、選考の上、別に定めるところにより、相当年次に許可することができる。

- 3 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び修得した単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、別に定めるところによる。

(休学)

第17条 傷病その他やむを得ない事由により、3カ月以上修学できない者は、医師の診断書又は事由を証明する書類を添付し、保証人連署の上願い出て、学長の許可を得た上で休学することができる。

- 2 休学期間は、1学期間（前期又は後期）を単位とする。
3 休学期間は、通算して8学期間を超えてできない。
4 休学期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

(復学)

第18条 休学の事由が止んだ者は、学長の許可を得て、復学することができる。ただし、復学できる時期は、学期の始めとする。

(退学)

第19条 傷病その他やむを得ない事由により退学しようとする者は、本学所定の用紙に退学事由を明記し提出すること。

(除籍)

第20条 次の各号の一に該当する者は、学長がこれを除籍することができる。

- 一 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- 二 第10条第1項に定める在学年限を超えた者
- 三 第17条第3項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- 四 履修申込みを怠り、督促してもなお行わない者
- 五 成績不良の者
- 六 死亡した者

(二重学籍の禁止)

第20条の2 学生は、他の大学、短期大学または大学院の正規の課程に在籍してはならない。

第8章 教育課程

(授業科目)

第21条 人間科学部心身健康科学科における授業科目は、別表第2-1及び別表第2-2のとおりとする。

- 2 人間科学部健康栄養学科における授業科目は、別表第2-3のとおりとする。
3 人間科学部ヘルスフードサイエンス学科における授業科目は、別表第2-4のとおりとする。
4 保健医療学部看護学科における授業科目は、別表第2-5のとおりとする。
5 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻における授業科目は、別表第2-6のとおりとする。
6 保健医療学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻における授業科目は、別表第2-7のとおりとする。

第22条 削除

(栄養士及び管理栄養士国家試験受験の資格)

第22条の2 栄養士の資格を取得しようとする者は、人間科学部健康栄養学科又は人間科学部ヘルスフードサイエンス学科に在学し、所定の授業科目を履修し単位を修得しなければならない。

- 3 管理栄養士国家試験受験資格を取得しようとする者は、人間科学部健康栄養学科に在学し、所定の授業科目を履修し単位を修得しなければならない。

(教育職員免許状)

第22条の3 教育職員免許状を取得するには、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

- 2 前項の免許状を取得するための課程を置き（以下「教職課程」という。）授業科目、単位数等について、必要な事項は別に定める。
- 3 本学の教職課程において取得できる教育職員免許状は、次に掲げるものとする。

学科等	免許状の種類
人間科学部心身健康科学科養護教諭養成コース	養護教諭1種
人間科学部健康栄養学科	栄養教諭1種

(保健師及び看護師国家試験受験の資格)

第22条の4 保健師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を取得しようとする者は、保健医療学部看護学科に在学し、所定の授業科目を履修し単位を修得しなければならない。

(理学療法士国家試験受験の資格)

第22条の5 理学療法士国家試験受験資格を取得しようとする者は、保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻に在学し、所定の授業科目を履修し単位を修得しなければならない。

(義肢装具士国家試験受験の資格)

第22条の6 義肢装具士国家試験受験資格を取得しようとする者は、保健医療学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻に在学し、所定の授業科目を履修し単位を修得しなければならない。

第9章 授業及び学習指導

(授業)

第23条 人間科学部心身健康科学科の授業は、通信授業、面接授業（メディア等を利用して行う授業含む）及び放送授業によって行う。

- 一 通信授業は、主として印刷教材により学修させる授業であり、面接授業は、大学設置基準第25条の方法による授業であり、放送授業は大学通信教育設置基準第3条の方法による授業である。
- 二 通信授業においては、学生は、所定の報告課題について学習報告（以下「テキスト課題」という。）を提出し、添削指導を受けるものとする。
- 三 放送授業においては、学生は、所定の課題を提出し、添削指導を受けるものとする。
- 2 人間科学部健康栄養学科及びヘルスフードサイエンス学科並びに保健医療学部の授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 3 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 4 前項の授業方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち、60単位を超えないものとする。

(単位の計算方法)

第24条 人間科学部心身健康科学科の授業科目の単位数は、1単位の履修時間を45時間とし、次の基準により計算する。

- 一 印刷教材による授業（以下「通信授業」という。）については、45時間に相当する学修量の教材をもって1単位とする。
- 二 面接授業及び放送授業については、15時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究については、これに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第24条の2 人間科学部健康栄養学科及びヘルスフードサイエンス学科並びに保健医療学部の授業科目の単位数は、1単位の履修時間を45時間とし、次の基準により計算する。

- 一 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - 二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究については、これに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

（通信授業に関する質疑）

第25条 通信授業に関する質疑は、所定の方法によって行うものとする。

（面接授業）

第26条 面接授業は、本大学又は本大学が指定する会場において実施する。

- 2 面接授業（メディア等を利用して行う授業を含む。）を行う時期及び会場は、別に定める。

第10章 試験及び成績評価

（人間科学部心身健康科学科における試験）

第27条 人間科学部心身健康科学科における試験は、科目修了試験及び面接授業試験（以下「スクーリング試験」という。）等とする。

- 2 通信授業による各科目の履修は、テキスト課題を提出しかつ指定の時期に科目修了試験を受けなければならない。
- 3 面接授業による各科目の履修は、面接授業に出席しかつ指定の時期にスクーリング試験を受けなければならない。
- 4 放送授業による各科目の履修は、放送授業を視聴しかつ指定の時期にスクーリング試験に相当する試験を受けなければならない。

（科目修了試験）

第28条 科目修了試験を受験できる者は、当該科目のテキスト課題に合格した者とする。

- 2 科目修了試験は、本大学及び本大学が指定する会場において実施される。
- 3 科目修了試験を行う時期及び会場は、別に定める。

（人間科学部健康栄養学科及びヘルスフードサイエンス学科並びに保健医療学部における試験）

第29条 人間科学部健康栄養学科及びヘルスフードサイエンス学科並びに保健医療学部における試験は、前期及び後期のそれぞれにおいて、筆記、口述及び論文等の方法によって行う。

（成績評価）

第30条 成績は、S（100点～90点）、A（89点～80点）、B（79点～70点）、C（69点～60点）、D（59点～0点）の5種類の評価をもって表し、S、A、B、Cを合格とし、Dを不合格とする。

- 2 不合格者には、再試験等を行うことがある。
- 3 疾病その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかった者は、その理由が適当であると認められ、許可を受けた場合に限り追試験を受けることができる。
- 4 追試験及び再試験等受験の際には、別に定める手数料を納入しなければならない。

（単位の授与）

第31条 各授業科目を履修し、その試験等に合格した者には、所定の単位を与える。

- 2 通信授業は、テキスト課題及び科目修了試験に合格した者について所定の単位を与える。
- 3 面接授業は、出席が良好でかつスクーリング試験に合格した者について所定の単位を与える。
- 4 放送授業については、視聴を完了し、試験に合格した者に対して所定の単位を与える。

第11章 卒業要件等

(進級の要件)

第31条の2 進級については別に定める。

(卒業の要件)

第32条 卒業の認定には、次の各号に掲げる要件を全て充たすことを必要とする。

- (1) 本大学に休学、停学期間を除いて4年以上在学すること。ただし、第16条第1項の規定により入学した者については、同条第2項により定められた在学すべき年数以上在学することとする。
- (2) 修得単位数は、次のとおりとする。
 - 一 人間科学部心身健康科学科は、別表第3—1に掲げる単位数
 - 二 人間科学部健康栄養学科は、別表第3—2に掲げる単位数
 - 三 人間科学部ヘルスフードサイエンス学科は、別表第3—3に掲げる単位数
 - 四 保健医療学部看護学科は、別表第3—4に掲げる単位数
 - 五 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻は、別表第3—5に掲げる単位数
 - 六 保健医療学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻は、別表第3—6に掲げる単位数

(学位の授与)

第33条 前条の要件を充たす者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位を授与する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

(学位の種類)

第34条 前条の卒業を認定された者には、次の学位を授与する。

学部名	学科名	学 位
人間科学部	心身健康科学科	学士（人間科学）
	健康栄養学科	学士（健康栄養学）
	ヘルスフードサイエンス学科	学士（食品健康科学）
保健医療学部	看護学科	学士（看護学）
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	学士（理学療法学）
	義肢装具学専攻	学士（義肢装具学）

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第35条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が大学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(大学又は短期大学以外の教育施設等における学修)

第36条 本大学は、教育上有益と認めるときは、高等専門学校の特攻科又は修業年限が2年以上の専修学校専門課程における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、本大学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第37条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学若しくは高等専門学校の専攻科及び修業年限が2年以上の専修学校専門課程において履修した授業科目について修得した単位を、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行ったその他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、本大学の定めるところにより単位を与えることができる。

3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第35条、第36条と合わせ

て60単位を超えないものとする。

4 単位認定の科目については、別に定める。

第12章 科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生

（科目等履修生）

第38条 授業科目の一部の履修を希望する者に対しては、本課程の教育に支障がない限り、選考の上、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 大学の入学資格のない者が、科目等履修生として所定の科目の単位を修得したときには、正科生としての入学資格を与えることができる。

3 科目等履修生に関する事項は、別に定める。

第39条 削除

（特別聴講学生）

第40条 他の大学（短期大学含む）、高等専門学校及び専修学校専門課程若しくはその他文部科学大臣が別に定める学種又は外国の大学（短期大学含む）の学生及び卒業生で、本学において、特定の授業科目についての聴講を志願する者は、当該大学との協議に基づき、特別聴講学生として受け入れる。

2 特別聴講学生に関する事項は、別に定める。

（外国人留学生）

第41条 外国人で、教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者は、選考の上、外国人留学生としてこれを許可することができる。

2 外国人留学生に関する事項は、別に定める。

第42条 科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生については、本章の規定によるほか人間総合科学大学学則に定める規程を準用する。

第13章 学費等

（学費）

第43条 人間科学部心身健康科学科の学費は分納とし、別表第1に定めるものとする。

2 人間科学部健康栄養学科及びヘルスフードサイエンス学科並びに保健医療学部の学費は分納とし、別表第1に定めるものとする。

（学費等の納付）

第44条 学年ごとに別表第1に従って算出された学費等の金額を、所定の期日までに納めなければならない。

（復学等の場合の授業料）

第45条 復学する者は、復学する当該学期の授業料を所定の期日までに納付しなければならない。

（退学及び停学の場合の授業料）

第46条 学期の途中で退学し又は除籍された者の該当年度分の授業料は、徴収する。

2 停学期間中の授業料は、徴収する。

（休学の場合の在籍料）

第47条 休学期間中の場合は、別途定める在籍料を徴収する。

(編入学生及び特別聴講学生等の授業料等)

第48条 編入学生及び特別聴講学生の検定料及び納付金については、徴収する。

(学費の返還制限)

第49条 納入した学費は、理由の如何にかかわらずこれを返還しない。

(手数料)

第50条 手数料については、別に定める。

第14章 賞罰

(表彰)

第51条 学生として特に表彰に価する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰する。

2 表彰に関する規程は別に定める。

(懲戒)

第52条 本大学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、懲戒処分に付することができる。

2 学生の懲戒に関する規程は、別に定める。

附則

1 この学則は、平成12年 4月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成13年 4月 1日から施行する。ただし、第35、36、37、41条及び別表第5の改正規程は、平成12年度入学生より適用する。

附則

1 この学則は、平成13年 4月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成15年 7月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成16年 1月30日から施行する。

附則

1 この学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成17年 1月28日から施行する。

附則

1 この学則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成19年 6月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成20年 3月31日から施行する。

附則

1 この学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成23年 4月 1日から施行する。
- 2 第3条第1項に規定する保健医療学部看護学科、リハビリテーション学科（理学療法学専攻及び義肢装具学専攻）の収容定員は、同条の規定にかかわらず、平成23年度から平成25年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
看護学科	80名	160名	240名
リハビリテーション学科			
理学療法学専攻	40名	80名	120名
義肢装具学専攻	30名	60名	90名

附則

- 1 この学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成25年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成26年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成27年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成28年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成29年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成29年10月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成30年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成31年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、令和 2年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、令和 3年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、令和 4年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、令和 5年 4月 1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、令和 6年 4月 1日から施行する。

別表第 1

1. 入学検定料（第 13 条関係）

区 分	金 額				
	人間科学部			保健医療学部	
	心身健康科学科	健康栄養学科	ヘルスフードサイエンス学科	看護学科	リハビリテーション学科
正 科 生	10,000円	35,000円	35,000円	35,000円	35,000円

（注）但し、センター試験を利用した入学試験を受験する場合は15,000円とする。

2. 学費等（第 43 条関係）

（1） 正科生

区 分	金 額					
	人間科学部			保健医療学部		
	心身健康科学科	健康栄養学科	ヘルスフードサイエンス学科	看護学科	理学療法学専攻	義肢装具学専攻
入 学 料	30,000円	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円
*1 編 入 料	100,000円	100,000円	100,000円			
授 業 料	290,000円	950,000円	950,000円	1,000,000円	1,000,000円	1,000,000円
実験・実習費	—	150,000円	150,000円	300,000円	200,000円	400,000円
（2年目以降）	—	200,000円	150,000円	400,000円	400,000円	450,000円
施設設備費	—	250,000円	250,000円	200,000円	200,000円	200,000円
システム管理・維持費	30,000円	—		—	—	—
*2 教職課程費	100,000円	100,000円		—	—	—
*2 教職課程スクーリング費	60,000円	—		—	—	—
*2 看護教員養成コース登録料	240,000円	—		—	—	—
*2 保健師選択コース登録料	—	—		50,000円	—	—

*1は編入学生のみ

*2は登録者のみ

心身健康科学科の学費は分納とし、年 2 回指定された期日までに納入する。

健康栄養学科及びヘルスフードサイエンス学科並びに保健医療学部の学費は、年 2 回指定された期日までに納入する。

（2） 科目等履修生等

区 分	金 額		
	心身健康科学科	健康栄養学科	ヘルスフードサイエンス学科
登録選考料	10,000円	10,000円	10,000円
登録料	25,000円	30,000円	30,000円
授 業 料			
・テキスト履修 1 単位当たり	10,000円	*2 10,000円	—
・スクーリング履修 1 単位当たり （メディア等を利用して 行う授業も含む）	15,000円	15,000円	—
・講義・演習 1 単位当たり	—	20,000円	20,000円
システム管理・維持費	10,000円/期	*2 10,000円/期	—
*1 教職課程費	100,000円	100,000円	—
*1 教職課程スクーリング費	60,000円	—	—

*1印は登録者のみ

*2印は教職課程登録者で、心身健康科学科の科目を履修する者のみ

学費等の納入は、指定日までに納入する。

公開講座等については別途定める。

別表第2-1 心身健康科学科 開設授業科目一覧（第21条第1項関係）

○数字は必修科目
T：テキスト履修 S：スクーリング（※）履修 T・S：テキスト・スクーリング（※）履修
G：卒業研究
履修可能年次は、原則1．2．3．4年次、卒業研究4年次。
面接授業開講科目は、年度によって変更することがある。
（*）スクーリングのみによる科目
（※）メディア等を利用して行う授業を含む

授業科目名		単位数等			授業科目名		単位数等		
		印刷	面接	履修方法			印刷	面接	履修方法
専門科目	コア科目	心身健康科学Ⅱ	②		T	専門科目	応用看護学	2	T
		心身健康科学概論		2	S		老化・寿命の科学	2	T
		人間科学	②		T		免疫学（アレルギー）	2	T
統合科目		人間科学	②		T	分野別科目	免疫学（アレルギー）	1	S
		行動科学	②		T		予防栄養学	2	T
		行動科学	②		S		予防栄養学	1	S
		生命科学	②		T		生命と遺伝子	2	T
		生命科学	②		S		生命と遺伝子	1	S
		文明科学	②		T		高齢者の健康増進	2	T
		文明科学	②		S		成人看護学	2	T
		【18単位以上修得】	②				生活習慣と健康	2	T
		ヒューマンⅠ		1	S		看護学概論	4	T
		ヒューマンⅡ		1	S		リハビリテーション概論	2	T
		ヒューマンⅢ		1	S		スポーツ障害学	2	T
		ヒューマンⅣ		1	S		基礎から学ぶいのちの科学	2	T
		ヒューマンⅤ	2		S		老年看護	2	T
		人間と環境	2		T		体育Ⅰ	1	T
		人間と環境	2	2	T		体育Ⅱ	1	T
		健康科学論	2		T		地域保健	2	T
		健康科学論	2	2	T		クリティカルケア	2	T
		ストレスと健康	2		S		緩和ケア	2	T
		ストレスと健康	2	2	S		障害からの回復	2	T
		心身医学	2		T		細胞といのちの営み	2	T
		心身医学	2	1	T		レクリエーション理論・実践	1	S
		生命倫理学	2		T		セラピューテックレクリエーション理論	1	T
		生命倫理学	2	1	S		子どもを対象としたレクリエーション実践	1	S
		【6単位以上修得】					障がい者と高齢者のレクリエーション・スポーツ	1	S
							リラクゼーション実践	2	S
							心身一如の科学	2	T
分野別科目		《こころ・精神の理解》	2		T		《文化・社会の理解》	2	T
		人間関係論	2	2	T		比較文化論	2	S
		人間関係論	2	1	T		比較文化論	2	T
		発達心理学	2		T		東洋文化論	2	T
		発達心理学	2	1	T		日本仏教の世界	2	T
		青年期心理学	2		T		日本仏教の世界	1	S
		青年期心理学	2	1	T		人間観	4	T
		産業心理学	2		T		地域の福祉	4	T
		社会心理学	2		T		高齢社会と福祉・医療	4	T
		交流分析	2		T		医療職と生涯学習	2	T
		交流分析	2	1	T		伝承医学	2	T
		カウンセリング論	2		T		現代の養生訓	2	T
		カウンセリング論	2	2	S		食べもの学	4	T
		カウンセリング実践（*）	2	2	S		食べもの学	1	T
		現代家族論	2		T		地球と生命の誕生	2	T
		心の防衛機制と反応	2		T		いのちの文化人類学	2	T
		心理学概論	2		T		地球の環境問題	4	T
		心理学研究法			T		異文化コミュニケーション	4	T
		心理学基礎実験Ⅰ（*）		1	S		地球・生命・文化の歴史	4	T
		心理学基礎実験Ⅱ（*）		1	S		教育学概論	2	T
		心理検査法実習Ⅰ（*）		1	S		法学（日本国憲法）	2	T
		心理検査法実習Ⅱ（*）		1	S		プレゼンテーション論	1	T
		臨床心理学実践（*）		2	S		リーダーシップ論	1	T
		精神保健	2		T		食文化論	2	T
		精神看護	4		T		野外レクリエーション実践Ⅰ	1	S
		精神看護		1	S		野外レクリエーション実践Ⅱ	1	S
		コミュニティ心理学	2		T		野外レクリエーション実践Ⅲ	1	S
		コミュニティ心理学	2	2	S		心身健康科学Ⅲ	2	T
		心理統計Ⅰ	2		T		江戸の子育て	2	T
		心理統計Ⅰ	2	2	S		死生観とスピリチュアリティ	2	T
		心理統計Ⅱ	2		S		手当の科学	2	T
		教育心理学（学習と発達）	2		T		【4単位以上修得】		
		高齢期心理学	2		T				
		人間理解へのアプローチ（*）		1	S				
		人間発達学		1	S				
		こころの科学～よりよいコミュニケーションのために～	2		T				
		コミュニケーション入門	2		T				
		カウンセリング入門	2		T				
		【4単位以上修得】							
		《からだ・保健の理解》	2		T				
		身体の構造と機能	2	2	T				
		身体の構造と機能	2		S				
		栄養と代謝		1	T				
		栄養と代謝	2		S				
		脳科学論	2		T				
		脳科学論		1	S				
		病気の成り立ち	2		T				
		病気の成り立ち		1	S				
		臨床薬学	2		T				
		保健学	2		T				
		女性のからだと健康	2		T				
		高齢者のからだと健康	2		T				
		自律神経生理学	2		T				
		自律神経生理学		1	S				
		運動生理学	2		T				
		運動生理学		1	S				
		環境とホルモン	2		T				
		健康教育概論	2		T				

授業科目名			単位数等			授業科目名			単位数等		
			印刷	面接	履修方法				印刷	面接	履修方法
専門科目	特別講義	ストレスマネジメントセミナー ライフスタイルマネジメントセミナー いのちと健康セミナー こころの健康セミナー	1 1 1 1		T T T T						
	総合演習	人間総合科学の探究Ⅰ 人間総合科学の探究Ⅱ 人間総合科学の理解Ⅰ 人間総合科学の理解Ⅱ 【8単位修得】	4 4	4 4	G G G G						
基礎科目		英語～速読演習 情報処理演習（*） 論文の書き方（*） 大学入門ゼミ（*） 【1単位以上修得】	2	2 1 ①	T S S S						
教職課程科目		教職概論 特別支援教育 教育課程論 道徳教育指導論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育方法論 生徒指導論 教育相談 養護実習Ⅰ（*） 養護実習Ⅱ（*） 教職実践演習（養護教諭）（*） 学校保健 養護概説 健康相談活動 看護実習（*） 体育Ⅲ（*） 体育Ⅳ 【一部教職課程登録者のみ開講】	2 1 1 2 1 1 1 2 1 2 2 2 2	 1 4 2 1 1 1	T T T T T T T T T S S S S T T T S S S						
看護教員養成コース		看護論 看護論演習 看護教育論 看護教育制度 看護教育課程論 保健師教育課程概論 看護教育課程演習 保健師教育課程演習 看護教育方法論 看護教育方法演習 看護教育実習 専門領域別看護論 専門領域別看護論演習 地域看護論演習 看護教育評価論 看護教育評価演習 研究方法 看護学校管理 専門領域別看護論演習（保健師） 【看護教員養成コース登録者のみ開講】	1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 2 2 1 3 2 2 1 1 1 1	T S T T T・S T・S S S T・S S S T S S T S T・S T S						
学士申請講座		文明科学概論 ストレスと健康 生命倫理学 発達心理学 心理学概論 運動生理学 【学士申請講座登録者のみ開講】	4 4 4 4 4 4		T T T T T T						

別表第2-1-2 心身健康科学科 開設授業科目一覧（第21条第1項関係）
（平成31年度入学以降）

○数字は必修科目
T：テキスト履修 S：スクーリング（※）履修 T・S：テキスト・スクーリング（※）履修
G：卒業研究
履修可能年次は、原則1．2．3．4年次、卒業研究4年次。
面接授業開講科目は、年度によって変更することがある。
（*）スクーリングのみによる科目
（※）メディア等を利用して行う授業を含む

授業科目名		単位数等			授業科目名		単位数等				
		印刷	面接	履修方法			印刷	面接	履修方法		
専門科目	コア科目	心身健康科学概論		2	S	専門科目	分野別科目	生命と遺伝子（T）	2		T
		ヒューマンⅠ（N）		①	S			生命と遺伝子（S）		1	S
		ヒューマンⅡ（N）		①	S			高齢者の健康増進（T）	2		T
		ヒューマンⅢ（N）		①	S			成人看護学（T）	2		T
		ヒューマンⅣ（S）		1	S			生活習慣と健康（T）	2		T
		ヒューマンⅤ（T）	②		T			看護学概論（T）	4		T
		心身健康科学Ⅰ（N）		①				リハビリテーション概論（T）	2		T
		心身健康科学Ⅱ（T）	②		T			スポーツ障害学（T）	2		T
		心身健康科学Ⅲ（T）	②		T			老年看護（T）	2		T
			【10単位以上修得】								
分野別科目	分野別科目	＜統合Ⅰ「こころ」と「からだ」のつながり＞	②		T			緩和ケア（T）	2		T
		人間科学（T）	②	②	T			障害からの回復（T）	2		T
		人間科学（N／S）			S			細胞といのちの営み（T）	2		T
		行動科学（T）	②		T			レクリエーション理論・実践（S）		1	S
		行動科学（N／S）		②	S			セラピューティックレクリエーション理論（T）	1		T
		ストレスと健康（T）	2		T			子どもを対象としたレクリエーション実践（S）		1	S
		ストレスと健康（N／S）		2	S			リハビリテーション体育（S）		1	S
		人間関係論（T）	2		T			リラクゼーション実践（S）		2	S
		人間関係論（N）		2	S			心身一如の科学（T）	2		T
		発達心理学（T）	2		T			臨床検査学概論（T）	2		T
		発達心理学（N）		1	S			診療放射線技術学概論（T）	2		T
		青年期心理学（T）	2		T			【8単位以上修得】			
		産業心理学（T）	2		T			＜統合Ⅲ「文化・社会」の継承＞			
		社会心理学（T）	2		T			文明科学（T）	②		T
		交流分析（T）	2		T			文明科学（N／S）		②	S
		交流分析（N）		1	S			比較文化論（T）	2		T
		カウンセリング実践（S）（*）		2	S			比較文化論（S）		2	S
		現代家族論（T）	2		T			東洋文化論（T）	2		T
		心の防衛機制と反応（T）	2		T			日本仏教の世界（T）	2		T
		心理学概論（T）	2		T			日本仏教の世界（S）		1	S
		心理学研究法（T）	2		T			人間観（T）	4		T
		心理学基礎実験Ⅰ（S）（*）		1	S			地域の福祉（T）	4		T
		心理学基礎実験Ⅱ（S）（*）		1	S			高齢社会と福祉・医療（T）	4		T
		心理検査法実習Ⅰ（S）（*）		1	S			医療職と生涯学習（T）	2		T
		心理検査法実習Ⅱ（S）（*）		1	S			伝承医学（T）	2		T
		精神保健（T）	2		T			現代の養生訓（T）	2		T
		精神看護（T）	4		T			食べもの学（T）	4		T
		精神看護（N）		1	S			食べもの学（N）		1	S
		コミュニティ心理学（T）	2		T			地球と生命の誕生（T）	2		T
		コミュニティ心理学（N／S）		2	S			いのちの文化人類学（T）	2		T
		心理統計Ⅰ（T）	2		T			異文化コミュニケーション（T）	4		T
		心理統計Ⅰ（N）		2	S			地球・生命・文化の歴史（T）	4		T
		心理統計Ⅱ（N）		2	S			教育学概論（T）	2		T
		教育心理学（学習と発達）（T）	2		T			法学（日本国憲法）（T）	2		T
		高齢期心理学（T）	2		T			プレゼンテーション論（T）	1		T
		人間理解へのアプローチ（N）（*）		1	S			リーダーシップ論（T）	1		T
		人間発達学（S）		1	S			食文化論（T）	2		T
		こころの科学（T）	2		T			野外レクリエーション実践Ⅰ（S）		1	S
		コミュニケーション入門（T）	2		T			野外レクリエーション実践Ⅱ（S）		1	S
		カウンセリング入門（T）	2		T			野外レクリエーション実践Ⅲ（S）		1	S
	【8単位以上修得】					江戸の子育て（T）	2		T		
	＜統合Ⅱ「生命と健康」のシステム＞	②		T		死生観とスピリチュアリティ（T）	2		T		
	生命科学（T）		②	T		手当の科学（T）	2		T		
	生命科学（N／S）			S		【8単位以上修得】					
	身体の構造と機能（T）	2		T		＜統合Ⅳ「人間の未来学」＞					
	身体の構造と機能（N／S）		2	S		生命倫理学（T）	2		T		
	健康科学論（T）	2		T		生命倫理学（N）		1	S		
	健康科学論（S）		2	S		人間と環境（T）	2		T		
	心身医学（T）	2		T		人間と環境（N）		2	S		
	心身医学（S）		1	S		地球の環境問題（T）	4		T		
	栄養と代謝（T）	2		T		【2単位以上修得】					
	栄養と代謝（S）		1	S							
	脳科学論（T）	2		T							
	脳科学論（S）		1	S							
	病気の成り立ち（T）	2		T							
	病気の成り立ち（S）		1	S							
	臨床薬学（T）	2		T							
	保健学（T）	2		T							
	女性のからだと健康（T）	2		T							
	高齢者のからだと健康（T）	2		T							
	自律神経生理学（T）	2		T							
	自律神経生理学（S）		1	S							
	運動生理学（T）	2		T							
	運動生理学（S）		1	S							
	環境とホルモン（T）	2		T							
	応用看護学（T）	2		T							
	老化・寿命の科学（T）	2		T							
	免疫学（アレルギー）（T）	2		T							
	免疫学（アレルギー）（S）		1	S							
	予防栄養学（T）	2		T							
	予防栄養学（N）		1	S							

別表第2-1-3 心身健康科学科 開設授業科目一覧（第21条第1項関係）教育交流校

○数字は必修科目
T：テキスト履修 S：スクーリング（※）履修 T・S：テキスト・スクーリング（※）履修
G：卒業研究
履修可能年次は、原則1．2．3．4年次、卒業研究4年次。
面接授業開講科目は、年度によって変更することがある。
（*）スクーリングのみによる科目
（※）メディア等を利用して行う授業を含む

授業科目名					授業科目名						
単位数等					単位数等						
印刷					印刷						
面接					面接						
履修方法					履修方法						
専門科目	コア科目	心身健康科学Ⅱ	②		T	専門科目	分野別科目	応用看護学	2		T
		心身健康科学概論		2	S			老化・寿命の科学	2		T
		人間科学	②		T			免疫学（アレルギー）	2		T
		人間科学		②	S			免疫学（アレルギー）		1	S
		行動科学	②		T			予防栄養学	2		S
		行動科学		②	S			予防栄養学		1	S
		生命科学	②		T			生命と遺伝子	2		S
		生命科学		②	S			生命と遺伝子		1	S
		文明科学	②		T			高齢者の健康増進	2		T
		文明科学		②	S			成人看護学	2		T
【18単位以上修得】					生活習慣と健康	2		T			
統合科目	統合科目					看護学概論	4		T		
		ヒューマンⅠ		1	S	リハビリテーション概論	2		T		
		ヒューマンⅡ		1	S	スポーツ障害学	2		T		
		ヒューマンⅢ		1	S	基礎から学ぶいのちの科学	2		T		
		ヒューマンⅣ		1	S	老年看護	2		T		
		ヒューマンⅤ	2		T	体育Ⅰ	1		T		
		人間と環境	2		T	体育Ⅱ	1		T		
		人間と環境		2	S	地域保健	2		T		
		健康科学論	2		T	クリティカルケア	2		T		
		健康科学論		2	S	緩和ケア	2		T		
ストレスと健康	2		T	障害からの回復	2		T				
ストレスと健康		2	S	細胞といのちの営み	2		T				
心身医学	2		T	レクリエーション理論・実践		1	S				
心身医学		1	S	セラピューテックレクリエーション理論	1		T				
生命倫理学	2		T	子どもを対象としたレクリエーション実践		1	S				
生命倫理学		1	S	障がい者と高齢者のレクリエーション・スポーツ		1	S				
【6単位以上修得】					リラクゼーション実践		2	S			
分野別科目	分野別科目	《こころ・精神の理解》				心身一如の科学	2		T		
		人間関係論	2		T	基礎看護学Ⅰ	1		T		
		人間関係論		2	S	基礎看護学Ⅱ	1		T		
		発達心理学	2		T	基礎看護学Ⅲ	1		T		
		発達心理学		1	S	基礎看護学Ⅳ	1		T		
		青年期心理学	2		T	小児看護学Ⅰ	1		T		
		青年期心理学		1	S	小児看護学Ⅱ	1		T		
		産業心理学	2		T	小児看護学Ⅲ	1		T		
		社会心理学	2		T	看護管理と医療安全	1		T		
		交流分析	2		T	運動学	1		T		
交流分析		1	S	リハビリテーション医学	1		T				
カウンセリング論	2		T	臨床医学Ⅰ	4		T				
カウンセリング論		2	S	臨床医学Ⅱ	2		T				
カウンセリング実践（＊）		2	T	理学療法概論	1		T				
現代家族論	2		T	理学療法評価学	1		T				
心の防衛機制と反応	2		T	理学療法治療学	1		T				
心理学概論	2		T	義肢装具学	1		T				
心理学研究法	2		T	高次脳機能障害学	1		T				
心理学基礎実験Ⅰ（＊）		1	S	地域理学療法	1		T				
心理学基礎実験Ⅱ（＊）		1	S	生活環境論	1		T				
心理検査法実習Ⅰ（＊）		1	S	【4単位以上修得】							
心理検査法実習Ⅱ（＊）		1	S	《文化・社会の理解》							
臨床心理学実践（＊）		2	T	比較文化論	2		T				
精神保健	2		T	比較文化論		2	S				
精神看護	4		T	東洋文化論	2		T				
精神看護		1	S	日本仏教の世界	2		T				
コミュニティ心理学	2		T	日本仏教の世界		1	S				
コミュニティ心理学		2	S	人間観	4		T				
心理統計学Ⅰ	2		T	地域の福祉	4		T				
心理統計学Ⅰ		2	S	高齢社会と福祉・医療	4		T				
心理統計学Ⅱ		2	S	医療職と生涯学習	2		T				
教育心理学（学習と発達）	2		T	伝承医学	2		T				
高齢期心理学	2		T	現代の養生訓	2		T				
人間理解へのアプローチ（＊）		1	S	食べものの学	4		T				
人間発達学		1	S	食べものの学		1	S				
こころの科学～よりよいコミュニケーションのために～	2		T	地球と生命の誕生	2		T				
コミュニケーション入門	2		T	いのちの文化人類学	2		T				
カウンセリング入門	2		T	地球の環境問題	4		T				
【4単位以上修得】				異文化コミュニケーション			T				
《からだ・保健の理解》	《からだ・保健の理解》	身体の構造と機能	2		T	地球・生命・文化の歴史	4		T		
		身体の構造と機能		2	S	教育学概論	2		T		
		栄養と代謝	2		T	法学（日本国憲法）	2		T		
		栄養と代謝		1	S	プレゼンテーション論	1		T		
		脳科学論	2		T	リーダーシップ論	1		T		
		脳科学論		1	S	食文化論	2		T		
		病気の成り立ち	2		T	野外レクリエーション実践Ⅰ		1	S		
		病気の成り立ち		1	S	野外レクリエーション実践Ⅱ		1	S		
		臨床薬学	2		T	野外レクリエーション実践Ⅲ		1	S		
		保健学	2		T	心身健康科学Ⅲ	2		T		
女性のからだと健康	2		T	江戸の子育て	2		T				
高齢者のからだと健康	2		T	死生観とスピリチュアリティ	2		T				
自律神経生理学	2		T	手当の科学	2		T				
自律神経生理学		1	S	哲学	1		T				
運動生理学	2		T	教育学	1		T				
運動生理学		1	S	生物学	1		T				
環境とホルモン	2		T	物理学	1		T				
健康教育概論	2		T	論理学	1		T				
【4単位以上修得】				倫理学	1		T				

授業科目名			単位数等			授業科目名			単位数等		
			印刷	面接	履修方法				印刷	面接	履修方法
専門科目	特別講義	ストレスマネジメントセミナー ライフスタイルマネジメントセミナー いのちと健康セミナー こころの健康セミナー	1 1 1 1		T T T T						
	総合演習	人間総合科学の探究Ⅰ 人間総合科学の探究Ⅱ 人間総合科学の理解Ⅰ 人間総合科学の理解Ⅱ 【8単位修得】	4 4	4 4	G G G G						
基礎科目		英語～速読演習 情報処理演習（*） 論文の書き方（*） 大学入門ゼミ（*） 【1単位以上修得】	2	2 1 ①	T S S S						
教職課程科目		教職概論 特別支援教育 教育課程論 道徳教育指導論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育方法論 生徒指導論 教育相談 養護実習Ⅰ（*） 養護実習Ⅱ（*） 教職実践演習（養護教諭）（*） 学校保健 養護概説 健康相談活動 看護実習（*） 体育Ⅲ（*） 体育Ⅳ 【一部教職課程登録者のみ開講】	2 1 1 2 1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1	1 4 2 1 1 1	T T T T T T T T T S S S S T T T S S S						
看護教員養成コース		看護論 看護論演習 看護教育論 看護教育制度 看護教育課程論 保健師教育課程概論 看護教育課程演習 保健師教育課程演習 看護教育方法論 看護教育方法演習 看護教育実習 専門領域別看護論 専門領域別看護論演習 地域看護論演習 看護教育評価論 看護教育評価演習 研究方法 看護学校管理 専門領域別看護論演習（保健師） 【看護教員養成コース登録者のみ開講】	1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 2 2 1 3 2 2 1 1 1 1	T S T T T・S T・S S S T・S S S T S S T S T・S T S						
学士申請講座		文明科学概論 ストレスと健康 生命倫理学 発達心理学 心理学概論 運動生理学 【学士申請講座登録者のみ開講】	4 4 4 4 4 4		T T T T T T						

別表第2-1-4 心身健康科学科 開設授業科目一覧（第21条第1項関係）教育交流校
（平成31年度入学以降）

○数字は必修科目
T：テキスト履修 S：スクーリング（※）履修 T・S：テキスト・スクーリング（※）履修
G：卒業研究
履修可能年次は、原則1．2．3．4年次、卒業研究4年次。
面接授業開講科目は、年度によって変更することがある。
（*）スクーリングのみによる科目
（※）メディア等を利用して行う授業を含む

授業科目名		単位数等			授業科目名		単位数等		
		印刷	面接	履修方法			印刷	面接	履修方法
専門科目	コア科目				専門科目				
	分野別科目				分野別科目				
	心身健康科学概論		2	S	高齢者の健康増進（T）		2		T
	ヒューマンⅠ（N）		①	S	成人看護学（T）		2		T
	ヒューマンⅡ（N）		①	S	生活習慣と健康（T）		2		T
	ヒューマンⅢ（N）		①	S	看護学概論（T）		4		T
	ヒューマンⅣ（S）		1	S	リハビリテーション概論（T）		2		T
	ヒューマンⅤ（T）	②		T	スポーツ障害学（T）		2		T
	心身健康科学Ⅰ（N）		①	T	老年看護（T）		2		T
	心身健康科学Ⅱ（T）	②		T	地域保健（T）		2		T
	心身健康科学Ⅲ（T）	②		T	クリティカルケア（T）		2		T
	【10単位以上修得】				緩和ケア（T）		2		T
	＜統合Ⅰ「こころ」と「からだ」のつながり＞				障害からの回復（T）		2		T
	人間科学（T）	②		T	細胞といのちの営み（T）		2		T
	人間科学（N／S）		②	S	レクリエーション理論・実践（S）		1	1	S
	行動科学（T）	②		T	セラピューティックレクリエーション理論（T）		1		T
	行動科学（N／S）		②	S	子どもを対象としたレクリエーション実践（S）			1	S
	ストレスと健康（T）	2		T	リハビリテーション体育（S）			1	S
	ストレスと健康（N／S）		2	S	リラクゼーション実践（S）			2	S
	人間関係論（T）	2		T	心身一如の科学（T）		2		T
	人間関係論（N）		2	S	基礎看護学Ⅰ		1		T
	発達心理学（T）	2		T	基礎看護学Ⅱ		1		T
	発達心理学（N）		1	S	基礎看護学Ⅲ		1		T
	青年期心理学（T）	2		T	基礎看護学Ⅳ		1		T
	産業心理学（T）	2		T	小児看護学Ⅰ		1		T
	社会心理学（T）	2		T	小児看護学Ⅱ		1		T
	交流分析（T）	2		T	小児看護学Ⅲ		1		T
	交流分析（N）		1	S	看護管理と医療安全		1		T
	カウンセリング実践（S）（*）		2	S	運動学		1		T
	現代家族論（T）	2		T	リハビリテーション医学		1		T
	心の防衛機制と反応（T）	2		T	臨床医学Ⅰ		4		T
	心理学概論（T）	2		T	臨床医学Ⅱ		2		T
	心理学研究法（T）	2		T	理学療法概論		1		T
	心理学基礎実験Ⅰ（S）（*）		1	S	理学療法評価学		1		T
	心理学基礎実験Ⅱ（S）（*）		1	S	理学療法治療学		1		T
	心理検査法実習Ⅰ（S）（*）		1	S	義肢装具学		1		T
	心理検査法実習Ⅱ（S）（*）		1	S	高次脳機能障害学		1		T
	精神保健（T）	2		T	地域理学療法学		1		T
	精神看護（T）	4		T	生活環境論		1		T
	精神看護（N）		1	S	臨床検査学概論（T）		2		T
	コミュニティ心理学（T）	2		T	診療放射線技術学概論（T）		2		T
	コミュニティ心理学（N／S）		2	S	【8単位以上修得】				
	心理統計Ⅰ（T）	2		T	＜統合Ⅲ「文化・社会」の継承＞				
	心理統計Ⅰ（N）		2	S	文明科学（T）		②		T
	心理統計Ⅱ（N）		2	S	文明科学（N／S）			②	S
	教育心理学（学習と発達）（T）	2		T	比較文化論（T）		2		T
	高齢期心理学（T）	2		T	比較文化論（S）			2	S
	人間理解へのアプローチ（N）（*）		1	S	東洋文化論（T）		2		T
	人間発達学（S）		1	S	日本仏教の世界（T）		2		T
	こころの科学（T）	2		T	日本仏教の世界（S）			1	S
	コミュニケーション入門（T）	2		T	人間観（T）		4		T
	カウンセリング入門（T）	2		T	地域の福祉（T）		4		T
	【8単位以上修得】				高齢社会と福祉・医療（T）		4		T
	＜統合Ⅱ「生命と健康」のシステム＞				医療職と生涯学習（T）		2		T
	生命科学（T）	②		T	伝承医学（T）		2		T
	生命科学（N／S）		②	S	現代の養生訓（T）		2		T
	身体の構造と機能（T）	2		T	食べもの学（T）		4		T
	身体の構造と機能（N／S）		2	S	食べもの学（N）			1	S
	健康科学論（T）	2		T	地球と生命の誕生（T）		2		T
	健康科学論（S）		2	S	いのちの文化人類学（T）		2		T
	心身医学（T）	2		T	異文化コミュニケーション（T）		4		T
	心身医学（S）		1	S	地球・生命・文化の歴史（T）		4		T
	栄養と代謝（T）	2		T	教育学概論（T）		2		T
	栄養と代謝（S）		1	S	法学（日本国憲法）（T）		2		T
	脳科学論（T）	2		T	プレゼンテーション論（T）		1		T
	脳科学論（S）		1	S	リーダーシップ論（T）		1		T
	病気の成り立ち（T）	2		T	食文化論（T）				T
	病気の成り立ち（S）		1	S	野外レクリエーション実践Ⅰ（S）			1	S
	臨床薬学（T）	2		T	野外レクリエーション実践Ⅱ（S）			1	S
	保健学（T）	2		T	野外レクリエーション実践Ⅲ（S）				T
	女性のからだと健康（T）	2		T	江戸の子育て（T）		2		T
	高齢者のからだと健康（T）	2		T	死生観とスピリチュアリティ（T）		2		T
	自律神経生理学（T）	2		T	手当の科学（T）		2		T
	自律神経生理学（S）		1	S	哲学		1		T
	運動生理学（T）	2		T	教育学		1		T
	運動生理学（S）		1	S	生物学		1		T
	環境とホルモン（T）	2		T	物理学		1		T
	応用看護学（T）	2		T	論理学		1		T
	老化・寿命の科学（T）	2		T	倫理学		1		T
	免疫学（アレルギー）（T）	2		T	【8単位以上修得】				
	免疫学（アレルギー）（S）		1	S	＜統合Ⅳ「人間の未来学」＞				
	予防栄養学（T）	2		T	生命倫理学（T）		2		T
	予防栄養学（N）		1	S	生命倫理学（N）			1	S
	生命と遺伝子（T）	2		T	人間と環境（T）		2		T
	生命と遺伝子（S）		1	S	人間と環境（N）			2	S
					地球の環境問題（T）		4		T
					【2単位以上修得】				

授業科目名			単位数等			授業科目名			単位数等		
			印刷	面接	履修方法				印刷	面接	履修方法
専門科目	特別講義	ストレスマネジメントセミナー ライフスタイルマネジメントセミナー いのちと健康セミナー こころの健康セミナー	1 1 1 1			T T T T					
	総合演習	人間総合科学の探究Ⅰ 人間総合科学の探究Ⅱ 人間総合科学の理解Ⅰ 人間総合科学の理解Ⅱ 【8単位修得】	4 4	4 4		G G G G					
基礎科目		英語～速読演習（T） 情報処理演習（N）（*） 論文の書き方（N／S）（*） 大学入門ゼミ（N）（*） 【1単位以上修得】	2	2 1 ①		T S S S					
教職課程科目		教職概論 特別支援教育 教育課程論 道徳教育指導論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育方法論 生徒指導論 教育評価論 教育相談 養護実習Ⅰ（*） 養護実習Ⅱ（*） 教職実践演習（養護教諭）（*） 学校保健 養護概説 健康相談活動 看護実習（*） 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育Ⅲ（*） 体育Ⅳ 【一部教職課程登録者のみ開講】	2 1 1 2 1 1 1 2 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1	1 4 2 1		T T T T T T T T T T S S S S T T T S T T S S					
看護教員養成コース		看護論 看護論演習 看護教育論 看護教育制度 看護教育課程論 保健師教育課程概論 看護教育課程演習 保健師教育課程演習 看護教育方法論 看護教育方法演習 看護教育実習 専門領域別看護論 専門領域別看護論演習 地域看護論演習 看護教育評価論 看護教育評価演習 研究方法 看護学校管理 専門領域別看護論演習（保健師） 【看護教員養成コース登録者のみ開講】	1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 2 2 1 3 2 1 2 1 1 1 1 1		T S T T T T・S T・S S S T・S S T S S S T・S T S					
学士申請講座		文明科学概論 ストレスと健康 生命倫理学 発達心理学 心理学概論 運動生理学 【学士申請講座登録者のみ開講】	4 4 4 4 4 4			T T T T T T					

別表第2-1-5 心身健康科学科 開設授業科目一覧（第21条第1項関係）

（令和4年度入学以降）

○数字は必修科目

T：テキスト履修 S：スクーリング（※）履修 T・S：テキスト・スクーリング（※）履修

G：卒業研究

履修可能年次は、原則1. 2. 3. 4年次、卒業研究4年次。

面接授業開講科目は、年度によって変更することができる。

（※）スクーリングのみによる科目

（※）メディア等を利用して行う授業を含む

授業科目名		単位数等				授業科目名		単位数等				
		印刷	面接	合計	履修方法			印刷	面接	合計	履修方法	
専門科目	コア科目	ヒューマン－人間のこころとからだ（N）		①	1	N	分野別科目	遺伝のしくみといのち（T）	2		2	T
	ヒューマン－いのちと健康の関係（N）		①	1	N	遺伝のしくみといのち（N）			1	1	N	
	ヒューマン－文化・社会といのちのつながり（N）		①	1	N	老化と健康（T）		2		2	T	
	ヒューマン－未来社会の幸福（S）		1	1	S	成人期の看護（T）		2		2	T	
	ヒューマン－未来社会の幸福（T）	②		2	T	ライフスタイルと健康（T）		2		2	T	
	心身健康科学－こころとからだの健康科学（N）		①	1	N	スポーツとけが・故障（T）		2		2	T	
	心身健康科学－こころとからだの健康科学（T）	②		2	T	老年期と看護（T）		2		2	T	
	心身健康科学－いのちの運用論（T）	②		2	T	地域社会と健康（T）		2		2	T	
						クリティカルケア（T）		2		2	T	
						緩和ケア（T）		2		2	T	
分野別科目	【10単位以上修得】						障害からの回復（T）	2		2	T	
	《こころとからだの関係》	2		2	T	細胞といのちの営み（T）	2		2	T		
	ヒトと人間の科学（T）		2	2	NorS	レクリエーション理論・実践（S）		1	1	S		
	ヒトと人間の科学（N/S）	2	2	2	T	セラピューティックレクリエーション概論（T）	1		1	T		
	人間行動の仕組みとこころ（T）	2	2	2	NorS	子どもを対象としたレクリエーション実践（S）		1	1	S		
	人間行動の仕組みとこころ（N/S）	2	2	2	T	リハビリテーション体育（S）		1	1	S		
	ストレスと健康（T）	2	2	2	T	リラクセーション実践（S）	2	2	2	S		
	ストレスと健康（N/S）	2	2	2	NorS	心身相関の科学（T）	2		2	T		
	人間関係とこころのしくみ（T）	2	2	2	T	病気と検査（T）	2		2	T		
	人間関係とこころのしくみ（N）	2	2	2	N	診療における放射線技術（T）	2		2	T		
分野別科目	人間の発達とこころ（T）	2		2	T							
	人間の発達とこころ（N）		1	1	N	【8単位以上修得】						
	青年期のこころの発達（T）	2	2	2	T	《環境・社会と人間》						
	職場のストレスと心身の健康（T）	2	2	2	T	文明の成り立ち（T）	2		2	T		
	社会・文化とこころのしくみ（T）	2	2	2	T	文明の成り立ち（N/S）		2	2	NorS		
	感情・思考・行動パターンと人間関係	2	2	2	T	異文化の理解（T）	2		2	T		
	感情・思考・行動パターンと人間関係		1	1	N	異文化の理解（N）		2	2	N		
	カウンセリングの考え方と実践（S）	2	2	2	S	中国文化（T）	2		2	T		
	こころの健康と家族関係（T）	2	2	2	T	日本仏教（T）	2		2	T		
	こころの構造とはたらき（T）	2	2	2	T	日本仏教		1	1	N		
分野別科目	こころと行動の測り方（T）	2	2	2	T	人間のとらえかた（T）	4		4	T		
	こころの科学と実験－個人（S）		1	1	S	社会と福祉（T）	4		4	T		
	こころの科学と実験－集団（S）		1	1	S	高齢社会における福祉・医療（T）	4		4	T		
	こころの科学と検査－基礎（S）		1	1	S	医療職の生涯学習（T）	2		2	T		
	こころの科学と検査－応用（S）		1	1	S	伝承医学（T）	2		2	T		
	こころの健康と看護（T）	4	4	4	T	現代の養生訓（T）	2		2	T		
	こころの健康と看護（N）		1	1	N	食べものの学（T）	4		4	T		
	コミュニティとこころの健康（T）	2	2	2	T	地球と生命の誕生（T）	2		2	T		
	コミュニティとこころの健康（N/S）	2	2	2	NorS	いのちの文化人類学（T）	2		2	T		
	データ解析による心身の理解－基礎（T）	2	2	2	T	異文化コミュニケーション（T）	4		4	T		
分野別科目	データ解析による心身の理解－実践・入門	2	2	2	N	地球・生命・文化の歴史（T）	4		4	T		
	データ解析による心身の理解－実践・発展	2	2	2	N	日本国憲法（T）	2		2	T		
	加齢によるこころの変化（T）	2	2	2	T	プレゼンテーション論（T）	1		1	T		
	人間を理解する（N）		1	1	N	リーダーシップ論（T）	1		1	T		
	ヒト・人間の発達（S）		1	1	S	食と文化（T）	2		2	T		
	こころの科学（T）	2	2	2	T	土とのふれあい－		1	1	S		
	コミュニケーションのコツ（T）	2	2	2	T	野外レクリエーション実践（S）		1	1	S		
	カウンセリングのすすめ（T）	2	2	2	T	心身と自然の調和－		1	1	S		
	こころの健康と病（T）	2	2	2	T	野外レクリエーション実践（S）		1	1	S		
						ネイチャーアクティビティー－		1	1	S		
分野別科目	【8単位以上修得】					野外レクリエーション実践（S）		1	1	S		
	《いのちと健康のしくみ》	2		2	T	江戸の子育て（T）	2		2	T		
	いのちの科学（T）					死生観とスピリチュアリティ（T）	2		2	T		
	いのちの科学（N/S）	2	2	2	NorS	手当の科学（T）	2		2	T		
	からだの構造とはたらき（T）	2	2	2	T							
	からだの構造とはたらき（N/S）	2	2	2	NorS	【8単位以上修得】						
	健康のとらえ方と健康増進（T）	2	2	2	T	《未来と人間》						
	健康のとらえ方と健康増進（N）	2	2	2	N	いのちの倫理（T）	2		2	T		
	こころとからだのつながりと病気（T）	2	2	2	T	いのちの倫理（N）		1	1	N		
	こころとからだのつながりと病気（N）	2	1	1	N	共生と環境（T）	2		2	T		
分野別科目	栄養といのちの営み（T）	2	2	2	T	共生と環境（N）		2	2	N		
	栄養といのちの営み（N）		1	1	N	地球環境と人間（T）	4		4	T		
	脳とこころの関係（T）	2	2	2	T							
	脳とこころの関係（N）		1	1	N							
	病気のしくみ（T）	2	2	2	T							
	病気のしくみ（N）		1	1	N							
	くすりと病気（T）	2	2	2	T							
	健康と疾病予防（T）	2	2	2	T							
	女性とこころ・からだの健康（T）	2	2	2	T							
	高齢者のからだと健康（T）	2	2	2	T							
分野別科目	内臓の調整のしくみ（T）	2	2	2	T							
	内臓の調整のしくみ（N）		1	1	N							
	運動のしくみ（T）	2	2	2	T							
	運動のしくみ（N）		1	1	N							
	環境と社会と心身の健康（T）	2	2	2	T							
	看護と応用（T）	2	2	2	T							
	老化と寿命のしくみ（T）	2	2	2	T							
	アレルギーのしくみ（T）	2	2	2	T							
	アレルギーのしくみ（S）		1	1	S							
	栄養と心身の健康（T）	2	2	2	T							
分野別科目	栄養と心身の健康（N）		1	1	N							

授業科目名		単位数等				授業科目名		単位数等			
		印刷	面接	合計	履修方法			印刷	面接	合計	履修方法
専門科目	特別セミナー	ストレスマネジメントセミナー (T)	1	1	T	専門科目 心身データの体験・体得の実践	サイエンスコミュニケーション (S)	1	1	S	
		ライフスタイルマネジメントセミナー (T)	1	1	T		ヘルスデータ計測ベーシック (S)	1	1	S	
		いのちと健康セミナー (T)	1	1	T		データによるこころ・からだの観察 (T・S)	3	3	T1・S2	
		こころの健康セミナー (T)	1	1	T		ヘルスデータ解析実践 (T・S)	2	2	T1・S1	
							ストレスアセスメント (T・S)	2	2	T1・S1	
	総合演習	人間総合科学の理解 I	4	4	T		こころとからだのデータサイエンス探究 - ステップ (S)	1	1	S1	
		人間総合科学の理解 II		4	S		こころとからだのデータサイエンス探究 - ステップ α (S)	1	1	S1	
		人間総合科学の探究 I	4	4	T		こころとからだのデータサイエンス探究 - アドバンス (S)	1	1	S1	
		人間総合科学の探究 II		4	S		こころとからだのデータサイエンス探究 - アドバンス α (S)	1	1	S1	
		【8単位修得】									
基本科目		英語の基本 (T)	2	2	T						
		AIデータサイエンス入門 (S)		2	S						
教職課程科目		論文の書き方 (N/S)		1	NorS						
		人間総合科学大学でのマナビ (N)	①	1	N						
		AIデータ活用リテラシー (N)	1	1	N						
		【1単位以上】									
		教職概論	2		T						
		特別支援教育	1		T						
		教育課程論	1		T						
		道徳教育指導論	2		T						
		総合的な学習の時間の指導法	1		T						
		特別活動論	1		T						
		教育方法論	1		T						
		生徒指導論	2		T						
		教育評価論	1		T						
		教育相談	1		T						
		養護実習 I (*)		1	S						
		養護実習 II (*)		4	S						
		教職実践演習 (養護教諭) (*)		2	S						
		学校保健	2		T						
看護教員養成コース		養護概説	2		T						
		健康相談活動	2		T						
		看護実習 (*)		1	S						
		体育 I	1		T						
		体育 II	1		T						
		体育 III (*)		1	S						
		体育 IV		1	S						
		【一部教職課程登録者のみ開講】									
		看護論	1		T						
		看護論演習		1	S						
		看護教育論	1		T						
		看護教育制度	1		T						
		看護教育課程論	1	1	T・S						
		保健師教育課程概論	1	1	T・S						
		看護教育課程演習		2	S						
		保健師教育課程演習		2	S						
		看護教育方法論	2	1	T・S						
学士申請講座		看護教育方法演習		3	S						
		看護教育実習		2	S						
		専門領域別看護論	1		T						
		専門領域別看護論演習		2	S						
		地域看護論演習		1	S						
		看護教育評価論	1		T						
		看護教育評価演習		1	S						
		研究方法	1	1	T・S						
		看護学校管理	1		T						
		専門領域別看護論演習 (保健師)		1	S						
		【看護教員養成コース登録者のみ開講】									
					T						
		文明の成り立ち	4		T						
		ストレスと健康	4		T						
		いのちの倫理	4		T						
		人間の発達とこころ	4		T						
		心理学概論	4		T						
		運動のしくみ	4		T						
		【学士申請講座登録者のみ開講】									

○数字は必修科目
T：テキスト履修 S：スクーリング（※）履修 T・S：テキスト・スクーリング（※）履修
G：卒業研究
履修可能年次は、原則1. 2. 3. 4年次、卒業研究4年次。
面接授業開講科目は、年度によって変更することがある。
（*）スクーリングのみによる科目
（※）メディア等を利用して行う授業を含む

—學則—24—

別表第2-1-7 心身健康科学科 開設授業科目一覧（第21条第1項関係）
（令和5年度入学以降）

○数字は必修科目
T：テキスト履修 S：スクーリング（※）履修 T・S：テキスト・スクーリング（※）履修
G：卒業研究
履修可能年次は、原則1．2．3．4年次、卒業研究4年次。
面接授業開講科目は、年度によって変更することがある。
（*）スクーリングのみによる科目
（※）メディア等を利用して行う授業を含む

授業科目名		単位数等				授業科目名		単位数等				
		印刷	面接	合計	履修方法			印刷	面接	合計	履修方法	
専門科目	コア科目	ヒューマン－人間のこころとからだ（N）		①	1	N	分野別科目	遺伝のしくみといのち（T）	2		2	T
		ヒューマン－いのちと健康の関係（N）		①	1	N		遺伝のしくみといのち（N）		1	1	N
		ヒューマン－環境・社会といのちのつながり（N）		①	1	N		老化と健康（T）	2		2	T
		ヒューマン－未来社会の幸福（S）		1	1	S		成人期の看護（T）	2		2	T
		ヒューマン－未来社会の幸福（T）	②		2	T		ライフスタイルと健康（T）	2		2	T
		心身健康科学－こころとからだの健康科学（N）		①	1	N		スポーツとけが・故障（T）	2		2	T
		心身健康科学－こころとからだの健康科学（T）	②		2	T		老年期と看護（T）	2		2	T
		心身健康科学－いのちの運用論（T）	②		2	T		地域社会と健康（T）	2		2	T
								クリティカルケア（T）	2		2	T
								緩和ケア（T）	2		2	T
					障害からの回復（T）	2		2	T			
					細胞といのちの営み（T）	2		2	T			
					心身相関の科学（T）	2		2	T			
					病気と検査（T）	2		2	T			
					診療における放射線技術（T）	2		2	T			
					ストレッチング実践（S）		1	1	S			
					東洋医学セルフケア実践（S）	1		1	S			

授業科目名		単位数等				履修方法				授業科目名		単位数等				履修方法			
		印刷	面接	合計								印刷	面接	合計					
専門科目	特別セミナー									専門科目 心身データ の体験・ 体得の 実践	サイエンスコミュニケーション (S)	1	1	1		S			
											ヘルスデータ計測ベーシック (S)	1	1	1		S			
											データによるこころ・からだの観察 (T・S)	1	2	3		T・S			
											ヘルスデータ解析実践 (T・S)	1	1	2		T・S			
											ストレスアセスメント (T・S)	1	1	2		T・S			
専門科目	総合演習									心身データ の体験・ 体得の 実践	こころとからだのデータサイエンス探究 - ベーシック (S)		1	1		S			
											こころとからだのデータサイエンス探究 - ベーシックα (S)		1	1		S			
											こころとからだのデータサイエンス探究 - ステップ (S)		1	1		S			
											こころとからだのデータサイエンス探究 - ステップα (S)		1	1		S			
											こころとからだのデータサイエンス探究 - アドバンス (S)		1	1		S			
専門科目	総合演習									心身データ の体験・ 体得の 実践	こころとからだのデータサイエンス探究 - アドバンスα (S)		1	1		S			
基本科目	総合演習									心身データ の体験・ 体得の 実践									
基本科目	総合演習									心身データ の体験・ 体得の 実践									
教職課程科目	総合演習									心身データ の体験・ 体得の 実践									
教職課程科目	総合演習									心身データ の体験・ 体得の 実践									
看護教員養成コース	総合演習									心身データ の体験・ 体得の 実践									
看護教員養成コース	総合演習									心身データ の体験・ 体得の 実践									
学士申請講座	総合演習									心身データ の体験・ 体得の 実践									

別表第2-1-8 心身健康科学科 開設授業科目一覧（第21条第1項関係）教育交流校

(令和5年度入学以降)

○数字は必修科目

T:テキスト履修 S:スクーリング(※)履修 T・S:テキスト・スクーリング(※)履修

G:卒業研究

履修可能年次は、原則1. 2. 3. 4年次、卒業研究4年次。

面接授業開講科目は、年度によって変更することがある。

(※)スクーリングのみによる科目

(※)メディア等を利用して行う授業を含む

授業科目名		単位数等				授業科目名		単位数等					
		印刷	面接	合計	履修方法			印刷	面接	合計	履修方法		
専門科目	コア科目	ヒューマン－人間のこころとからだ (N)		①	1	N	分野別科目	遺伝のしくみといのち (T)	2		2	T	
	ヒューマン－いのちと健康の関係 (N)		①	1	N	遺伝のしくみといのち (N)			1	1	N		
	ヒューマン－環境・社会といのちのつながり (N)		①	1	N	老化と健康 (T)		2		2	T		
	ヒューマン－未来社会の幸福 (S)		1	1	S	成人期の看護 (T)		2		2	T		
	ヒューマン－未来社会の幸福 (T)	②	2	2	T	ライフスタイルと健康 (T)		2		2	T		
	心身健康科学－こころとからだの健康科学 (N)		①	1	N	スポーツとけが・故障 (T)		2		2	T		
	心身健康科学－こころとからだの健康科学 (T)	②	2	2	T	老年期と看護 (T)		2		2	T		
	心身健康科学－いのちの運用論 (T)	②	2	2	T	地域社会と健康 (T)		2		2	T		
	【10単位以上修得】												
	分野別科目	《こころとからだの関係》	2		2	T		基礎看護学Ⅰ	1		1	T	
ヒトと人間の科学 (T)			2	2	NorS	基礎看護学Ⅱ	1		1	T			
ヒトと人間の科学 (N/S)		2	2	2	T	基礎看護学Ⅲ	1		1	T			
人間行動の仕組みとこころ (T)		2	2	2	NorS	基礎看護学Ⅳ	1		1	T			
人間行動の仕組みとこころ (N/S)		2	2	2	T	小児看護学Ⅰ	1		1	T			
ストレスと健康 (T)		2	2	2	T	小児看護学Ⅱ	1		1	T			
ストレスと健康 (N/S)		2	2	2	NorS	小児看護学Ⅲ	1		1	T			
人間関係とこころのしくみ (T)		2	2	2	T	看護管理と医療安全	1		1	T			
人間の発達とこころ (T)		2	2	2	T	運動学	1		1	T			
人間の発達とこころ (N)		1	1	1	N	リハビリテーション医学	1		1	T			
青年期のこころの発達 (T)		2	2	2	T	臨床医学Ⅰ	4		4	T			
職場のストレスと心身の健康 (T)		2	2	2	T	臨床医学Ⅱ	2		2	T			
社会・文化とこころのしくみ (T)		2	2	2	T	理学療法概論	1		1	T			
感情・思考・行動パターンと人間関係		2	2	2	T	理学療法評価学	1		1	T			
カウンセリングの考え方と実践 (S)		2	2	2	S	理学療法治療学	1		1	T			
こころの健康と家族関係 (T)		2	2	2	T	義肢装具学	1		1	T			
こころの構造とはたらき (T)		2	2	2	T	高次脳機能障害学	1		1	T			
こころと行動の測り方 (T)		2	2	2	T	地域理学療法学	1		1	T			
こころの科学と実験－個人 (S)			1	1	S	生活環境論	1		1	T			
こころの科学と実験－集団 (S)			1	1	S	病気と検査 (T)	2		2	T			
こころの科学と検査－基礎 (S)			1	1	S	診療における放射線技術 (T)	2		2	T			
こころの科学と検査－応用 (S)			1	1	S	ストレッチング実践 (S)		1	1	S			
こころの健康と看護 (T)		4	4	4	T	東洋医学セルフケア実践 (S)	1		1	S			
こころの健康と看護 (N)		1	1	1	N	【8単位以上修得】							
コミュニティとこころの健康 (T)		2	2	2	T	《環境・社会と人間》							
コミュニティとこころの健康 (N/S)		2	2	2	NorS	文明の成り立ち (T)	2		2	T			
データ解析による心身の理解－基礎 (T)		2	2	2	T	文明の成り立ち (N/S)		2	2	NorS			
データ解析による心身の理解－実践・入門		2	2	2	N	異文化の理解 (T)	2		2	T			
データ解析による心身の理解－実践・発展		2	2	2	N	異文化の理解 (N)	2		2	N			
ヒト・人間の発達 (S)			1	1	S	中国文化 (T)	2		2	T			
こころの科学 (T)		2	2	2	T	日本仏教 (T)	2		2	T			
コミュニケーションのコツ (T)		2	2	2	T	日本仏教		1	1	N			
カウンセリングのすすめ (T)		2	2	2	T	人間のとらえかた (T)	4		4	T			
こころの健康と病 (T)		2	2	2	T	社会と福祉 (T)	4		4	T			
学習のしくみ (T)		2	2	2	T	高齢社会における福祉・医療 (T)	4		4	T			
【8単位以上修得】					医療職の生涯学習 (T)	2		2	T				
《いのちと健康のしくみ》						伝承医学 (T)	2		2	T			
いのちの科学 (T)		2		2	T	現代の養生訓 (T)	2		2	T			
いのちの科学 (N/S)			2	2	NorS	食べもの学 (T)	4		4	T			
からだの構造とはたらき (T)		2	2	2	T	いのちの文化人類学 (T)	2		2	T			
からだの構造とはたらき (N/S)		2	2	2	NorS	異文化コミュニケーション (T)	4		4	T			
健康のとらえ方と健康増進 (T)		2	2	2	T	地球・生命・文化の歴史 (T)	4		4	T			
健康のとらえ方と健康増進 (N)		2	2	2	N	日本国憲法 (T)	2		2	T			
こころとからだのつながりと病気 (T)		2	2	2	T	プレゼンテーション論 (T)	1		1	T			
こころとからだのつながりと病気 (N)		1	1	1	N	リーダーシップ論 (T)	1		1	T			
栄養といのちの営み (T)		2	2	2	T	食と文化 (T)	2		2	T			
栄養といのちの営み (N)			1	1	N	死生観とスピリチュアリティ (T)	2		2	T			
脳とこころの関係 (T)		2	2	2	T	手当の科学 (T)	2		2	T			
脳とこころの関係 (N)			1	1	N	人類の進化 (T)	2		2	T			
病気のしくみ (T)		2	2	2	T	仏教とこころの理解 (T)	2		2	T			
病気のしくみ (N)		1	1	N	【8単位以上修得】								
くすりと病気 (T)	2	2	2	T	《未来と人間》								
健康と疾病予防 (T)	2	2	2	T	いのちの倫理 (T)	2		2	T				
女性とこころ・からだの健康 (T)	2	2	2	T	いのちの倫理 (N)		1	1	N				
高齢者のからだと健康 (T)	2	2	2	T	共生と環境 (T)	2		2	T				
内臓の調整のしくみ (T)	2	2	2	T	共生と環境 (N)	2		2	N				
内臓の調整のしくみ (N)		1	1	N	地球環境と人間 (T)	4		4	T				
運動のしくみ (T)	2	2	2	T	【2単位以上修得】								
運動のしくみ (N)		1	1	N									
看護と応用 (T)	2	2	2	T									
老化と寿命のしくみ (T)	2	2	2	T									
アレルギーのしくみ (T)	2	2	2	T									
アレルギーのしくみ (S)		1	1	S									
栄養と心身の健康 (T)	2	2	2	T									
栄養と心身の健康 (N)		1	1	N									

授業科目名		単位数等				授業科目名		単位数等			
		印刷	面接	合計	履修方法			印刷	面接	合計	履修方法
専門科目	総合演習	人間総合科学の理解Ⅰ	4	4	T						
		人間総合科学の理解Ⅱ	4	4	S						
		人間総合科学の探究Ⅰ	4	4	T						
		人間総合科学の探究Ⅱ	4	4	S						
		【8単位修得】									
基本科目		英語の基本（T）	2	2	T						
		AIデータサイエンス入門（S）		2	S						
		論文の書き方（N/S）		①1	NorS						
		人間総合科学大学でのマナビ（N）		1	N						
		AIデータ活用リテラシー（N）		1	N						
教職課程科目		【1単位以上】									
		教職概論	2	2	T						
		特別支援教育	1	1	T						
		教育課程論	1	1	T						
		道徳教育指導論	2	2	T						
看護教員養成コース		総合的な学習の時間の指導法	1	1	T						
		特別活動論	1	1	T						
		教育方法論	1	1	T						
		生徒指導論	2	2	T						
		教育評価論	1	1	T						
		教育相談	1	1	T						
		養護実習Ⅰ（＊）		1	S						
		養護実習Ⅱ（＊）		4	S						
		教職実践演習（養護教諭）（＊）		2	S						
		学校保健	2	2	T						
		養護概説	2	2	T						
		健康相談活動	2	2	T						
		看護実習（＊）		1	S						
		体育Ⅰ	1	1	T						
		体育Ⅱ	1	1	T						
		体育Ⅲ（＊）		1	S						
		体育Ⅳ		1	S						
		【一部教職課程登録者のみ開講】									
		看護論	1	1	T						
		看護論演習		1	S						
		看護教育課程論	1	1	T・S						
		保健師教育課程概論	1	1	T・S						
		看護教育課程演習		2	S						
		保健師教育課程演習		2	S						
		看護教育方法論	5	1	T・S						
		看護教育方法演習		3	S						
		看護教育実習		2	S						
		専門領域別看護論演習		2	S						
		地域看護論演習		1	S						
		看護教育評価論	1	1	T						
		看護教育評価演習		1	S						
		専門領域別看護論演習（保健師）		1	S						
		看護教育・制度論	2	2	T						
		情報通信技術		1	S						
		看護学校組織運営論	1	1	T						
		【看護教員養成コース登録者のみ開講】			T						
学士申請講座		文明の成り立ち	4	4	T						
		ストレスと健康	4	4	T						
		いのちの倫理	4	4	T						
		人間の発達とこころ	4	4	T						
		心理学概論	4	4	T						
		運動のしくみ	4	4	T						
		【学士申請講座登録者のみ開講】									

別表第2-1-9 心身健康科学科 開設授業科目一覧（第21条第1項関係）
（令和6年度入学以降）

○数字は必修科目
T：テキスト履修 S：スクーリング（※）履修 T・S：テキスト・スクーリング（※）履修
G：卒業研究
履修可能年次は、原則1．2．3．4年次、卒業研究4年次。
面接授業開講科目は、年度によって変更することがある。
（*）スクーリングのみによる科目
（※）メディア等を利用して行う授業を含む

授業科目名		単位数等				授業科目名		単位数等			
		印刷	面接	合計	履修方法			印刷	面接	合計	履修方法
専門科目	コア科目	ヒューマン－人間のこころとからだ（N）		①	1	N	専門科目	遺伝のしくみといのち（T）	2		T
		ヒューマン－いのちと健康の関係（N）		①	1	N		遺伝のしくみといのち（N）		1	N
		ヒューマン－		①	1	N		老化と健康（T）	2		T
		ヒューマン－未来社会の幸福（S）		1	1	S		成人期の看護（T）	2		T
		ヒューマン－未来社会の幸福（T）	②		2	T		ライフスタイルと健康（T）	2		T
		心身健康科学－		①	1	N		スポーツとけが・故障（T）	2		T
		心身健康科学－	②		2	T		老年期と看護（T）	2		T
		心身健康科学－いのちの運用論（T）	②		2	T		地域社会と健康（T）	2		T
		【10単位以上修得】						クリティカルケア（T）	2		T
								緩和ケア（T）	2		T
	分野別科目	《こころとからだの関係》	2		2	T		障害からの回復（T）	2		T
		ヒトと人間の科学（T）	2		2	T		細胞といのちの営み（T）	2		T
		人間行動の仕組みとこころ（T）			2	N		心身相関の科学（T）	2		T
		人間行動の仕組みとこころ（N）	2	2	2	N		病気と検査（T）	2		T
		ストレスと健康（T）	2		2	T		診療における放射線技術（T）	2		T
		ストレスと健康（N）	2	2	2	N		ストレッチング実践（S）		1	S
		人間関係とこころのしくみ（T）	2		2	T		東洋医学セルフケア実践（S）	1	1	S
		人間の発達とこころ（T）	2		2	T		【8単位以上修得】			
		人間の発達とこころ（N）		1	1	N		《環境・社会と人間》			
		青年期のこころの発達（T）	2		2	T		文明の成り立ち（T）	2		T
		職場のストレスと心身の健康（T）	2		2	T		文明の成り立ち（N）		2	N
		社会・文化とこころのしくみ（T）	2		2	T		異文化の理解（T）	2		T
		感情・思考・行動パターンと人間関係	2		2	T		異文化の理解（N）		2	N
		カウンセリングの考え方と実践（S）		2	2	S		中国文化（T）	2		T
		こころの健康と家族関係（T）	2		2	T		日本文化（T）	2		T
		こころの構造とはたらき（T）	2		2	T		日本仏教（T）		1	N
		こころと行動の測り方（T）	2		2	T		人間のとらえかた（T）	4		T
		こころの科学と実験－個人（S）		1	1	S		社会と福祉（T）	4		T
		こころの科学と実験－集団（S）		1	1	S		高齢社会における福祉・医療（T）	4		T
		こころの科学と検査－基礎（S）		1	1	S		医療職の生涯学習（T）	2		T
		こころの科学と検査－応用（S）		1	1	S		伝承医学（T）	2		T
		こころの健康と看護（T）	4		4	T		現代の養生訓（T）	2		T
		こころの健康と看護（N）		1	1	N		食べもの学（T）	4		T
		データ解析による心身の理解－基礎（T）	2		2	T		いのちの文化人類学（T）	2		T
		データ解析による心身の理解－実践・入門		2	2	N		異文化コミュニケーション（T）	4		T
		データ解析による心身の理解－実践・発展		2	2	N		地球・生命・文化の歴史（T）	4		T
		ヒト・人間の発達（S）		1	1	S		日本国憲法（T）	2		T
		こころの科学（T）	2		2	T		プレゼンテーション論（T）	1		T
		コミュニケーションのコツ（T）	2		2	T		リーダーシップ論（T）	1		T
		カウンセリングのすすめ（T）	2		2	T		食と文化（T）	2		T
		こころの健康と病（T）	2		2	T		死生観とスピリチュアリティ（T）	2		T
		学習のしくみ（T）	2		2	T		手当の科学（T）	2		T
		【8単位以上修得】						人類の進化（T）	2		T
		《いのちと健康のしくみ》						仏教とこころの理解（T）	2		T
		いのちの科学（T）	2		2	T		チームワーク論（T）	2		T
		いのちの科学（N）		2	2	N		チームワーク論（N）		2	N
		からだの構造とはたらき（T）	2		2	T		【8単位以上修得】			
		からだの構造とはたらき（N）		2	2	N		《未来と人間》			
		健康のとらえ方と健康増進（T）	2		2	T		いのちの倫理（T）	2		T
		健康のとらえ方と健康増進（N）		2	2	N		いのちの倫理（N）		1	N
		こころとからだのつながりと病気（T）	2		2	T		共生と環境（T）	2		T
		こころとからだのつながりと病気（N）		1	1	N		共生と環境（N）		2	N
		栄養といのちの営み（T）	2		2	T		地球環境と人間（T）	4		T
		栄養といのちの営み（N）		1	1	N		【2単位以上修得】			
		脳とこころの関係（T）	2		2	T					
		脳とこころの関係（N）		1	1	N					
		病気のしくみ（T）	2		2	T					
		病気のしくみ（N）		1	1	N					
		くずりと病気（T）	2		2	T					
		健康と疾病予防（T）	2		2	T					
		女性とこころ・からだの健康（T）	2		2	T					
		高齢者のからだと健康（T）	2		2	T					
		内臓の調整のしくみ（T）	2		2	T					
		内臓の調整のしくみ（N）		1	1	N					
		運動のしくみ（T）	2		2	T					
		運動のしくみ（N）		1	1	N					
		看護と応用（T）	2		2	T					
		老化と寿命のしくみ（T）	2		2	T					
		アレルギーのしくみ（T）	2		2	T					
		栄養と心身の健康（T）	2		2	T					
		栄養と心身の健康（N）		1	1	N					

授業科目名		単位数等				履修方法		授業科目名		単位数等				履修方法	
		印刷	面接	合計						印刷	面接	合計			
専門科目	総合演習	人間総合科学の理解Ⅰ	4		4	T			サイエンスコミュニケーション (S)	1		1	S		
		人間総合科学の理解Ⅱ		4	4	S			ヘルスデータ計測ベーシック (S)	1		1	S		
		人間総合科学の探究Ⅰ	4		4	T			データによるこころ・からだの観察 (T・S)	1	2	3	T・S		
		人間総合科学の探究Ⅱ		4	4	S			ヘルスデータ解析実践 (T・S)	1	1	2	T・S		
		【8単位修得】						ストレスアセスメント (T・S)	1	1	2	T・S			
								こころとからだのデータサイエンス探究 - ベーシック (S)		1	1	S			
								こころとからだのデータサイエンス探究 - ベーシックα (S)		1	1	S			
								こころとからだのデータサイエンス探究 - ステップ (S)		1	1	S			
								こころとからだのデータサイエンス探究 - ステップα (S)		1	1	S			
								こころとからだのデータサイエンス探究 - アドバンス (S)		1	1	S			
								こころとからだのデータサイエンス探究 - アドバンスα (S)		1	1	S			
								プログラミング (基礎) (S)		1	1	S			
								AIデータエシックス (T)	1		1	T			
								デジタル・ヘルス論 (T)	1		1	T			
								プログラミングⅡ (発展)		1	1	S			
								ビックデータ健康分析 (S)		1	1	S			
								ウェルテック地域支援演習 (蓮田市地域連携)		1	1	S			
								ヘルスデータインターンシップ (インタークロス)		1	1	S			
								AI・データ科学と社会 (T)	1		1	T			
教職課程科目		教職概論	2		2	T									
		特別支援教育	1		1	T									
		教育課程論	1		1	T									
		道德教育指導論	2		2	T									
		総合的な学習の時間の指導法	1		1	T									
		特別活動論	1		1	T									
		教育方法論	1		1	T									
		生徒指導論	2		2	T									
		教育評価論	1		1	T									
		教育相談	1		1	T									
		養護実習Ⅰ (＊)		1	1	S									
		養護実習Ⅱ (＊)		4	4	S									
		教職実践演習 (養護教諭) (＊)		2	2	S									
		学校保健	2		2	T									
		養護概説	2		2	T									
		健康相談活動	2		2	T									
		看護実習 (＊)		1	1	S									
		体育Ⅰ	1		1	T									
		体育Ⅲ (＊)		1	1	S									
		【一部教職課程登録者のみ開講】													
看護教員養成コース		看護論	1		1	T									
		看護論演習		1	1	S									
		看護教育・制度論	2		2	T									
		看護教育課程論	1	1	2	T・S									
		看護教育課程演習		2	2	S									
		看護教育方法論	5	1	6	T・S									
		看護教育方法演習		3	3	S									
		看護教育実習		2	2	S									
		専門領域別看護論演習		2	2	S									
		看護教育評価論	1		1	T									
		看護教育評価演習		1	1	S									
		情報通信技術		1	1	S									
		【看護教員養成コース登録者のみ開講】													
学士申請講座		文明の成り立ち	4		4	T									
		ストレスと健康	4		4	T									
		いのちの倫理	4		4	T									
		人間の発達とこころ	4		4	T									
		心理学概論	4		4	T									
		運動のしくみ	4		4	T									
				【学士申請講座登録者のみ開講】											

別表第2-1-10 心身健康科学科 開設授業科目一覧（第21条第1項関係）教育交流校

（令和6年度入学以降）

○数字は必修科目

T：テキスト履修 S：スクーリング（※）履修 T・S：テキスト・スクーリング（※）履修

G：卒業研究

履修可能年次は、原則1. 2. 3. 4年次、卒業研究4年次。

面接授業開講科目は、年度によって変更することができる。

（*）スクーリングのみによる科目

（※）メディア等を利用して行う授業を含む

授業科目名		単位数等				授業科目名		単位数等			
		印刷	面接	合計	履修方法			印刷	面接	合計	履修方法
専門科目	コア科目	ヒューマン－人間のこころとからだ（N）		①	1	N	専門科目	遺伝のしくみといのち（T）	2		T
		ヒューマン－いのちと健康の関係（N）		①	1	N		遺伝のしくみといのち（N）	1	1	N
		ヒューマン－		①	1	N		老化と健康（T）	2		T
		ヒューマン－未来社会の幸福（S）		1	1	S		成人期の看護（T）	2		T
		ヒューマン－未来社会の幸福（T）			2	T		ライフスタイルと健康（T）	2		T
		心身健康科学－	②	①	2	N		スポーツとけが・故障（T）	2		T
		心身健康科学－	②		2	T		老年期と看護（T）	2		T
		心身健康科学－いのちの運用論（T）	②		2	T		地域社会と健康（T）	2		T
		【10単位以上修得】						クリティカルケア（T）	2		T
								緩和ケア（T）	2		T
	分野別科目	《こころとからだの関係》	2		2	T		障害からの回復（T）	2		T
		ヒトと人間の科学（T）	2		2	T		細胞といのちの営み（T）	2		T
		人間行動の仕組みとこころ（T）			2	N		心身相関の科学（T）	2		T
		人間行動の仕組みとこころ（N）	2	2	2	T		基礎看護学Ⅰ	1	1	T
		ストレスと健康（T）	2		2	T		基礎看護学Ⅱ	1	1	T
		ストレスと健康（N）		2	2	N		基礎看護学Ⅲ	1	1	T
		人間関係とこころのしくみ（T）	2	2	2	T		基礎看護学Ⅳ	1	1	T
		人間の発達とこころ（T）	2		2	T		小児看護学Ⅰ	1	1	T
		人間の発達とこころ（N）		1	1	N		小児看護学Ⅱ	1	1	T
		青年期のこころの発達（T）	2		2	T		小児看護学Ⅲ	1	1	T
		職場のストレスと心身の健康（T）	2		2	T		看護管理と医療安全	1	1	T
		社会・文化とこころのしくみ（T）	2		2	T		運動学	1	1	T
		感情・思考・行動パターンと人間関係	2		2	T		リハビリテーション医学	1	1	T
		カウンセリングの考え方と実践（S）		2	2	S		臨床医学Ⅰ	4	4	T
		こころの健康と家族関係（T）	2		2	T		臨床医学Ⅱ	2	2	T
		こころの構造とはたらき（T）	2		2	T		理学療法概論	1	1	T
		こころと行動の測り方（T）	2		2	T		理学療法評価学	1	1	T
		こころの科学と実験－個人（S）		1	1	S		理学療法治療学	1	1	T
		こころの科学と実験－集団（S）		1	1	S		義肢装具学	1	1	T
		こころの科学と検査－基礎（S）		1	1	S		高次脳機能障害学	1	1	T
		こころの科学と検査－応用（S）		1	1	S		地域理学療法学	1	1	T
		こころの健康と看護（T）	4		4	T		生活環境論	1	1	T
		こころの健康と看護（N）		1	1	N		病気と検査（T）	2	2	T
		データ解析による心身の理解－基礎（T）	2		2	T		診療における放射線技術（T）	2		T
		データ解析による心身の理解－実践・入門		2	2	N		ストレッチング実践（S）		1	S
		データ解析による心身の理解－実践・発展		2	2	N		東洋医学セルフケア実践（S）		1	S
		ヒト・人間の発達（S）		1	1	S		【8単位以上修得】			
		こころの科学（T）	2		2	T		《環境・社会と人間》			
		コミュニケーションのコツ（T）	2		2	T		文明の成り立ち（T）	2		T
		カウンセリングのすすめ（T）	2		2	T		文明の成り立ち（N）		2	N
		こころの健康と病（T）	2		2	T		異文化の理解（T）	2		T
		学習のしくみ（T）	2		2	T		異文化の理解（N）		2	N
		【8単位以上修得】						中国文化（T）	2		T
								日本仏教（T）	2		T
		《いのちと健康のしくみ》						日本仏教		1	N
		いのちの科学（T）	2		2	T		人間のとらえかた（T）	4	4	T
		いのちの科学（N）		2	2	N		社会と福祉（T）	4	4	T
		からだの構造とはたらき（T）	2		2	N		高齢社会における福祉・医療（T）	4	4	T
		からだの構造とはたらき（N）		2	2	N		医療職の生涯学習（T）	2	2	T
		健康のとらえ方と健康増進（T）	2		2	T		伝承医学（T）	2	2	T
		健康のとらえ方と健康増進（N）		2	2	N		現代の養生訓（T）	2	2	T
		こころとからだのつながりと病気（T）	2		2	T		食べものの学（T）	4	4	T
		こころとからだのつながりと病気（N）		1	1	N		いのちの文化人類学（T）	2	2	T
		栄養といのちの営み（T）	2		2	T		異文化コミュニケーション（T）	4	4	T
		栄養といのちの営み（N）		1	1	N		地球・生命・文化の歴史（T）	4	4	T
		脳とこころの関係（T）	2		2	T		日本国憲法（T）	2	2	T
		脳とこころの関係（N）		1	1	N		プレゼンテーション論（T）	1	1	T
		病気のしくみ（T）	2		2	T		リーダーシップ論（T）	1	1	T
		病気のしくみ（N）		1	1	N		食と文化（T）	2	2	T
		くすりと病気（T）	2		2	T		死生観とスピリチュアリティ（T）	2	2	T
		健康と疾病予防（T）	2		2	T		手当の科学（T）	2	2	T
		女性とこころ・からだの健康（T）	2		2	T		人間の進化（T）	2	2	T
		高齢者のからだと健康（T）	2		2	T		仏教とこころの理解（T）	2	2	T
		内臓の調整のしくみ（T）	2		2	T		チームワーク論（T）	2	2	T
		内臓の調整のしくみ（N）		1	1	N		チームワーク論（N）		2	N
		運動のしくみ（T）	2		2	T		【8単位以上修得】			
		運動のしくみ（N）		1	1	N		《未来と人間》			
		看護と応用（T）	2		2	T		いのちの倫理（T）	2		T
		老化と寿命のしくみ（T）	2		2	T		いのちの倫理（N）		1	N
		アレルギーのしくみ（T）	2		2	T		共生と環境（T）	2		T
		栄養と心身の健康（T）	2		2	T		共生と環境（N）		2	N
		栄養と心身の健康（N）		1	1	N		地球環境と人間（T）	4	4	T
								【2単位以上修得】			

授業科目名		単位数等				授業科目名		単位数等				
		印刷	面接	合計	履修方法			印刷	面接	合計	履修方法	
専門科目	総合演習	人間総合科学の理解Ⅰ	4		4	T	専門科目					
		人間総合科学の理解Ⅱ	4	4	4	S						
		人間総合科学の探究Ⅰ			4	T						
		人間総合科学の探究Ⅱ		4	4	S						
【8単位修得】												
基本科目		英語の基本（T）	2		2	T						
		AIデータサイエンス入門（S）		2	2	S						
		論文の書き方（N）		1	1	N						
		人間総合科学大学でのマナビ（N）		①	1	N						
		AIデータ活用リテラシー（N）		1	1	N						
		文献検索・情報活用入門（T）	1		1	T						
		科学論文の読み方（クリティカルシンキング入門）	1		1	T						
【1単位以上】												
教職課程科目		教職概論	2		2	T						
		特別支援教育	1		1	T						
		教育課程論	1		1	T						
		道徳教育指導論	2		2	T						
		総合的な学習の時間の指導法	1		1	T						
		特別活動論	1		1	T						
		教育方法論	1		1	T						
		生徒指導論	2		2	T						
		教育評価論	1		1	T						
		教育相談	1		1	T						
		養護実習Ⅰ（＊）		1	1	S						
		養護実習Ⅱ（＊）		4	4	S						
		教職実践演習（養護教諭）（＊）		2	2	S						
		学校保健	2		2	T						
		養護概説	2		2	T						
		健康相談活動	2		2	T						
		看護実習（＊）		1	1	S						
		体育Ⅰ	1		1	T						
		体育Ⅲ（＊）		1	1	S						
		【一部教職課程登録者のみ開講】										
看護教員養成コース		看護論	1		1	T						
		看護論演習		1	1	S						
		看護教育・制度論	2		2	T						
		看護教育課程論	1	1	2	T・S						
		看護教育課程演習		2	2	S						
		看護教育方法論	5	1	6	T・S						
		看護教育方法演習		3	3	S						
		看護教育実習		2	2	S						
		専門領域別看護論演習		2	2	S						
		看護教育評価論	1		1	T						
		看護教育評価演習		1	1	S						
		情報通信技術		1	1	S						
		看護教育・制度論	2		2	T						
		情報通信技術		1	1	S						
		看護学校組織運営論	1		1	T						
【看護教員養成コース登録者のみ開講】												
学士申請講座		文明の成り立ち	4		4	T						
		ストレスと健康	4		4	T						
		いのちの倫理	4		4	T						
		人間の発達とこころ	4		4	T						
		心理学概論	4		4	T						
		運動のしくみ	4		4	T						
【学士申請講座登録者のみ開講】												

別表第2-2-1 心身健康科学科 社会教育主事課程科目一覧（第21条第1項関係）

（削除）

別表第2-2-2 心身健康科学科 養護教諭養成コース科目一覧（第21条第1項関係）

（削除）

別表第2-2-3 心身健康科学科 看護教員養成コース科目一覧（第21条第1項関係）

（削除）

別表第2-2-4 心身健康科学科 看護教員養成コース科目一覧（第21条第1項関係）

（*・・・看護教員養成コース登録者のみ履修可）

区分	授業科目	配当 年次	単位数		履修方法	
			必修	選択	テキスト eラーニング	スクーリング
（基礎分野）	教育学概論（T）	3	2		2	
	教育方法論	3	1		1	
	教育心理学（学習と発達）（T）	3	2		2	
	教育評価論	3	1		1	
	情報通信技術（*）	3	1			1
専門分野	看護論（*）	3	1		1	
	看護論演習（*）	3	1			1
	看護教育・制度論（*）	3	2		2	
	看護教育課程論（*）	3	3		2	1
	看護教育課程演習（*）	3	2			2
	看護教育方法論（*）	3	6		5	1
	看護教育方法演習（*）	3	3			3
	専門領域別看護論演習（*）	3	2			2
	看護教育評価論（*）	3	2		2	
	看護教育評価演習（*）	3	1			1
	看護学校組織運営論（*）	3	1		1	
	看護教育実習（*）	3	2			2
	看護教員養成プログラム修了要件		33			

1. 看護師養成所専任教員養成に係る教育内容である。

別表第2-3-1 健康栄養学科 開設授業科目一覧（第21条第2項関係）
（削除）

別表第2-3-2 健康栄養学科 開設授業科目一覧（第21条第2項関係）（21年度入学以降）
（削除）

別表第2-3-3 健康栄養学科 開設授業科目一覧（第21条第2項関係）（22年度入学以降）
（削除）

別表第2-3-4 健康栄養学科 開設授業科目一覧（第21条第2項関係）（25年度入学以降）
（削除）

別表第2-3-5 健康栄養学科 開設授業科目一覧（第21条第2項関係）
（平成28年度入学以降）

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学概論	必	2	
		行動科学概論	必	1	
		生命科学概論	必	1	
		文明科学概論	必	1	
	人間と社会	統計学	必	1	
		スポーツと健康	必		1
		体育概論	必	1	
		こころの科学	必	2	
		発達心理学と環境	選	2	
		精神保健	必	1	
		食品発酵学	選	2	
		食文化論	必	2	
	UHAS セミナー	職業とキャリア形成	必	1	
		コンピュータ入門	必	2	
		生物学基礎	必	2	
		化学基礎	必	2	
		英語基礎	必	2	
		コミュニケーション演習	必	1	
	演習	管理栄養士基礎演習Ⅰ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅱ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅲ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅳ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅴ	必	1	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造と機能	身体の構造と機能Ⅰ（体液と血圧調節・生殖系）	必	1
			身体の構造と機能Ⅱ（消化器系・代謝・内分泌）	必	1
			身体の構造と機能Ⅲ（循環器系・呼吸器系）	必	1
			身体の構造と機能Ⅳ（血液・造血器系、呼吸と調整）	必	1
			身体の構造と機能Ⅴ（ホメオスタシス・腎）	必	1
			身体の構造と機能Ⅵ（神経系・運動器系・感覚器）	必	1
			生化学Ⅰ	必	1
			生化学Ⅱ	必	1
		疾病と治療	解剖生理学実習	必	1
			脳科学	選	2
			生化学実験	必	1
		疾病と治療	細胞と遺伝子	選	2
			病気の成り立ちⅠ	必	2
			病気の成り立ちⅡ	必	2
			臨床医科学入門	必	2
			免疫学（アレルギー）	必	2
			感染症学	選	2

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門基礎分野	社会・環境と健康	生活と環境	必	2	
		からだと健康	選	2	
		公衆衛生学Ⅰ	必	2	
		公衆衛生学Ⅱ	必	2	
	食べ物と健康	食品学総論	必	2	
		食品学各論	必	2	
		食品管理論	必	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1
		食の科学	必	2	
		調理学	必	2	
		調理学実習Ⅰ	必		1
		調理学実習Ⅱ	必		1
		食品衛生学	必	2	
		食品衛生学実験	必		1
		食事計画実習	必		3
		食環境生産教育実習	選		2
	基礎栄養学	栄養と代謝	必	2	
		栄養代謝実験	必		1
		栄養生理化学	必	1	
		応用栄養学	必	2	
専門分野	応用栄養学	栄養学各論Ⅰ	必	2	
		栄養学各論Ⅱ	必	2	
		応用栄養学実習	必		1
		栄養アセスメント論	必	2	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	必	2	
		栄養教育論Ⅱ	必	2	
		栄養教育実習Ⅰ	必		1
		栄養教育実習Ⅱ	必		1
		カウンセリング論	必	2	
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	必	2	
		臨床栄養学Ⅱ	必	2	
		臨床栄養学Ⅲ	必	2	
		臨床栄養学実習Ⅰ	必		1
		臨床栄養学実習Ⅱ	必		1
	公衆栄養学	介護予防と栄養	必	2	
		公衆栄養学Ⅰ	必	2	
		公衆栄養学Ⅱ	必	2	
		公衆栄養学実習	必		1
	給食経営管理論	地域栄養学演習	必	1	
		給食経営管理論	必	2	
		給食経営管理実習	必		2
		フードマネージメント論	必	2	
	総合演習	管理栄養士総合演習	必	4	
		臨地実習	必		4
	卒業研究	卒業研究	必		2
		国際研修	選		1
	共通科目	ボランティア活動	選		1

別表第2-3-6 健康栄養学科 開設授業科目一覧（第21条第2項関係）
（平成31年度入学以降）

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命科学概論	必	1	
	人間と社会	統計学	必	1	
		スポーツと健康	必		1
		体育概論	必	1	
		こころの科学	必	2	
		発達心理学と環境	選	2	
		精神保健	必	1	
		食品発酵学	選	2	
		食文化論	必	2	
	UHAS セミナー	職業とキャリア形成	必	1	
		コンピュータ入門	必	2	
		生物学基礎	必	2	
		化学基礎	必	2	
		英語基礎	必	2	
		コミュニケーション演習	必	1	
	演習	管理栄養士基礎演習Ⅰ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅱ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅲ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅳ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅴ	必	1	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造と機能	身体の構造と機能Ⅰ（体液と血圧調節・生殖系）	必	1
			身体の構造と機能Ⅱ（消化器系・代謝・内分泌）	必	1
			身体の構造と機能Ⅲ（循環器系・呼吸器系）	必	1
			身体の構造と機能Ⅳ（血液・造血系、呼吸と調整）	必	1
			身体の構造と機能Ⅴ（ホメオスタシス・腎）	必	1
			身体の構造と機能Ⅵ（神経系・運動器系・感覚器）	必	1
			生化学Ⅰ	必	1
			生化学Ⅱ	必	1
			解剖生理学実習	必	1
			脳科学	選	2
			生化学実験	必	1
			細胞と遺伝子	選	2
		疾病と治療	病気の成り立ちⅠ	必	2
			病気の成り立ちⅡ	必	2
			臨床医科学入門	必	2
			免疫学（アレルギー）	必	2
			感染症学	選	2

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門基礎分野	社会・環境と健康	生活と環境	必	2	
		からだと健康	選	2	
		公衆衛生学Ⅰ	必	2	
		公衆衛生学Ⅱ	必	2	
	食べ物と健康	食品学総論	必	2	
		食品学各論	必	2	
		食品管理論	必	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1
		食の科学	必	2	
		調理学	必	2	
		調理学実習Ⅰ	必		1
		調理学実習Ⅱ	必		1
		食品衛生学	必	2	
		食品衛生学実験	必		1
		食事計画実習	必		3
		食環境生産教育実習	選		2
	基礎栄養学	栄養と代謝	必	2	
		栄養代謝実験	必		1
	応用栄養学	栄養生理化学	必	1	
		栄養学各論Ⅰ	必	2	
		栄養学各論Ⅱ	必	2	
		応用栄養学実習	必		1
		栄養アセスメント論	必	2	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	必	2	
		栄養教育論Ⅱ	必	2	
		栄養教育実習Ⅰ	必		1
		栄養教育実習Ⅱ	必		1
		カウンセリング論	必	2	
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	必	2	
		臨床栄養学Ⅱ	必	2	
		臨床栄養学Ⅲ	必	2	
		臨床栄養学実習Ⅰ	必		1
		臨床栄養学実習Ⅱ	必		1
	公衆栄養学	介護予防と栄養	必	2	
		公衆栄養学Ⅰ	必	2	
		公衆栄養学Ⅱ	必	2	
		公衆栄養学実習	必		1
	給食経営管理論	地域栄養学演習	必	1	
		給食経営管理論	必	2	
		給食経営管理実習	必		2
		フードマネージメント論	必	2	
	総合演習	管理栄養士総合演習	必	4	
	臨地実習	臨地実習	必		4
	卒業研究	卒業研究	必		2
	共通科目	国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-3-7 健康栄養学科 開設授業科目一覧（第21条第2項関係）
（令和2年度入学以降）

				単位数		
分野			授業科目名	必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習
基礎 分野	コア	心身健康科学	必修	1		
			ヒューマンⅠ	必修	1	
			ヒューマンⅡ	必修	1	
			ヒューマンⅢ	必修	1	
			生命科学概論	必修	1	
		人間と社会	統計学	必修	1	
			スポーツと健康	必修		1
			体育概論	必修	1	
			こころの科学	必修	2	
			発達心理学と環境	選択	2	
	精神保健		必修	1		
	食品発酵学		選択	2		
	食文化論		必修	2		
	UHAS セミナー		職業とキャリア形成	必修	1	
		コンピュータ入門	必修	2		
		生物学基礎	必修	2		
		化学基礎	必修	2		
		英語基礎	必修	2		
		コミュニケーション実習Ⅰ	必修		2	
		コミュニケーション実習Ⅱ	必修		1	
		演習	管理栄養士基礎演習Ⅰ	必修	1	
	管理栄養士基礎演習Ⅱ		必修	1		
	管理栄養士基礎演習Ⅲ		必修	1		
	管理栄養士基礎演習Ⅳ		必修	1		
	管理栄養士基礎演習Ⅴ		必修	1		
専門 基礎 分野	人体の 構造 と機能 及び 疾病 の成り 立ち	人体の 構造 と機能	身体 の 構造と機能Ⅰ （ 体液と血圧調節・生殖器系 ）	必修	1	
			身体 の 構造と機能Ⅱ （ 消化器系・代謝・内分泌 ）	必修	1	
			身体 の 構造と機能Ⅲ （ 循環器系・呼吸器系 ）	必修	1	
			身体 の 構造と機能Ⅳ （ 血液・造血器系、呼吸と調整 ）	必修	1	
			身体 の 構造と機能Ⅴ （ ホメオスタシス・腎 ）	必修	1	
			身体 の 構造と機能Ⅵ （ 神経系・運動器系・感覚器 ）	必修	1	
		生化学Ⅰ	必修	1		
		生化学Ⅱ	必修	1		
		解剖生理学実習	必修		1	
		脳科学	選択	2		
		生化学実験	必修		1	
		細胞と遺伝子	選択	2		
		疾病 と治療	病気の成り立ちⅠ	必修	2	
			病気の成り立ちⅡ	必修	2	
			臨床医科学入門	必修	2	
			免疫学 （ アレルギー ）	必修	2	
			感染症学	選択	2	
			社会・環境 と健康	生活と環境	必修	2
	からだと健康	選択		2		
	公衆衛生学Ⅰ	必修		2		
	公衆衛生学Ⅱ	必修		2		

				単位数	
分野		授業科目名	必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習
専門基礎分野	食べ物と健康	食品学総論	必	2	
		食品学各論	必	2	
		食品管理論	必	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1
		食の科学	必	2	
		調理学	必	2	
		調理学実習Ⅰ	必		1
		調理学実習Ⅱ	必		1
		食品衛生学	必	2	
		食品衛生学実験	必		1
		食事計画実習	必		3
		食環境生産教育実習	選		2
専門分野	基礎栄養学	栄養と代謝	必	2	
		栄養代謝実験	必		1
		栄養生理化学	必	1	
	応用栄養学	栄養学各論Ⅰ	必	2	
		栄養学各論Ⅱ	必	2	
		応用栄養学実習	必		1
		栄養アセスメント論	必	2	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	必	2	
		栄養教育論Ⅱ	必	2	
		栄養教育実習Ⅰ	必		1
		栄養教育実習Ⅱ	必		1
		カウンセリング論	必	2	
		カウンセリング実習	必		1
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	必	2	
		臨床栄養学Ⅱ	必	2	
		臨床栄養学Ⅲ	必	2	
		臨床栄養学実習Ⅰ	必		1
		臨床栄養学実習Ⅱ	必		1
		介護予防と栄養	必	2	
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	必	2	
		公衆栄養学Ⅱ	必	2	
		公衆栄養学実習	必		1
		地域栄養学演習	必	1	
	給食経営管理論	給食経営管理論	必	2	
		給食経営管理実習	必		2
		フードマネージメント論	必	2	
	総合演習	管理栄養士総合演習	必	4	
	臨地実習	臨地実習	必		4
	スポーツ栄養	スポーツ栄養学	選	2	
		スポーツ栄養学演習	選	2	
		スポーツ栄養実習	選		1
国際栄養	国際栄養学	選	2		
	国際保健学	選	2		
	国際栄養実習	選		1	
チーム医療	保健機能食品論	選	2		
	チーム医療連携論	選	2		
	薬局管理栄養士実習	選		1	
卒業研究	卒業研究	必	2		
共通科目	国際研修	選		1	
	ボランティア活動	選		1	
		ボランティア活動	選		1

※スポーツ栄養『スポーツ栄養学・スポーツ栄養学演習・スポーツ栄養実習』、国際栄養『国際栄養学・国際保健学・国際栄養実習』、チーム医療『保健機能食品論・チーム医療連携論・薬局管理栄養士実習』はセット履修とし、1セットのみ選択可

別表第2-3-8 健康栄養学科 開設授業科目一覧（第21条第2項関係）
（令和3年度入学以降）

				単位数		
分野		授業科目名	必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習	
基礎分野	コア	心身健康科学	必	1		
		ヒューマンⅠ	必	1		
		ヒューマンⅡ	必	1		
		ヒューマンⅢ	必	1		
		生命科学概論	必	1		
	人間と社会	統計学	必	1		
		スポーツと健康	必		1	
		体育概論	必	1		
		こころの科学	必	2		
		発達心理学と環境	選	2		
		精神保健	必	1		
		食品発酵学	選	2		
		食文化論	必	2		
		UHAS セミナー	職業とキャリア形成	必	1	
			コンピュータ入門	必	2	
	生物学基礎		必	2		
	化学基礎		必	2		
	英語基礎		必	2		
	コミュニケーション実習Ⅰ		必		2	
	コミュニケーション実習Ⅱ		必		1	
	AI・データ活用リテラシー		選	1		
	演習	管理栄養士基礎演習Ⅰ	必	1		
		管理栄養士基礎演習Ⅱ	必	1		
		管理栄養士基礎演習Ⅲ	必	1		
		管理栄養士基礎演習Ⅳ	必	1		
		管理栄養士基礎演習Ⅴ	必	1		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造と機能	身体の構造と機能Ⅰ（体液と血圧調節・生殖器系）	必	1	
			身体の構造と機能Ⅱ（消化器系・代謝・内分泌）	必	1	
			身体の構造と機能Ⅲ（循環器系・呼吸器系）	必	1	
			身体の構造と機能Ⅳ（血液・造血器系、呼吸と調整）	必	1	
			身体の構造と機能Ⅴ（ホメオスタシス・腎）	必	1	
			身体の構造と機能Ⅵ（神経系・運動器系・感覚器）	必	1	
			生化学Ⅰ	必	1	
		生化学Ⅱ	必	1		
		解剖生理学実習	必		1	
		脳科学	選	2		
		生化学実験	必		1	
		細胞と遺伝子	選	2		
		疾病と治療	病気の成り立ちⅠ	必	2	
			病気の成り立ちⅡ	必	2	
			臨床医科学入門	必	2	
			免疫学（アレルギー）	必	2	
			感染症学	選	2	
	社会・環境と健康	生活と環境	必	2		
		からだと健康	選	2		
		公衆衛生学Ⅰ	必	2		
		公衆衛生学Ⅱ	必	2		

			単位数		
分野		授業科目名	必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習
専門 基礎 分野	食べ物と健 康	食品学総論	必	2	
		食品学各論	必	2	
		食品管理論	必	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1
		食の科学	必	2	
		調理学	必	2	
		調理学実習Ⅰ	必		1
		調理学実習Ⅱ	必		1
		食品衛生学	必	2	
		食品衛生学実験	必		1
		食事計画実習	必		3
		食環境生産教育実習	選		2
		栄養学のデータサイエンス	選	2	
		栄養学のマーケティング	選	2	
	基礎栄養学	栄養と代謝	必	2	
		栄養代謝実験	必		1
		栄養生理化学	必	1	
	応用栄養学	栄養学各論Ⅰ	必	2	
		栄養学各論Ⅱ	必	2	
		応用栄養学実習	必		1
	栄養教育論	栄養アセスメント論	必	2	
		栄養教育論Ⅰ	必	2	
		栄養教育論Ⅱ	必	2	
		栄養教育実習Ⅰ	必		1
		栄養教育実習Ⅱ	必		1
		カウンセリング論	必	2	
		カウンセリング実習	必		1
	臨床栄養学	教育方法論	必	1	
		臨床栄養学Ⅰ	必	2	
		臨床栄養学Ⅱ	必	2	
		臨床栄養学Ⅲ	必	2	
		臨床栄養学実習Ⅰ	必		1
		臨床栄養学実習Ⅱ	必		1
	公衆栄養学	介護予防と栄養	必	2	
		公衆栄養学Ⅰ	必	2	
		公衆栄養学Ⅱ	必	2	
		公衆栄養学実習	必		1
	給食経営管 理論	地域栄養学演習	必	1	
		給食経営管理論	必	2	
		給食経営管理実習	必		2
	総合演習	フードマネジメント論	必	2	
		管理栄養士総合演習	必	4	
		臨地実習	必		4
	スポーツ栄 養	スポーツ栄養学	選	2	
		スポーツ栄養学演習	選	2	
		スポーツ栄養実習	選		1
	国際栄養	国際栄養学	選	2	
		国際保健学	選	2	
		国際栄養実習	選		1
	チーム医療	保健機能食品論	選	2	
		チーム医療連携論	選	2	
		薬局管理栄養士実習	選		1
	卒業研究	卒業研究	必	2	
	共通科目	国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

※チーム医療『保健機能食品論・チーム医療連携論・薬局管理栄養士実習』はセット履修とする

別表第2-3-9 健康栄養学科 開設授業科目一覧（第21条第2項関係）
（令和6年度入学以降）

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命科学概論	必	1	
	人間と社会	統計学	必	1	
		スポーツと健康	必		1
		体育概論	必	1	
		こころの科学	必	2	
		発達心理学と環境	選	2	
		精神保健	必	1	
		食品発酵学	選	2	
		食文化論	必	2	
	UHAS セミナー	職業とキャリア形成	必	1	
		コンピュータ入門	必	2	
		生物学基礎	必	2	
		化学基礎	必	2	
		英語基礎	必	2	
		コミュニケーション実習Ⅰ	必		2
		コミュニケーション実習Ⅱ	必		1
		AI・データ活用リテラシー	選	1	
	演習	管理栄養士基礎演習Ⅰ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅱ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅲ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅳ	必	1	
		管理栄養士基礎演習Ⅴ	必	1	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造と機能Ⅰ	必	2	
			必	2	
		生化学Ⅰ	必	1	
		生化学Ⅱ	必	1	
		解剖生理学実習	必		1
		脳科学	選	2	
		生化学実験	必		1
		細胞と遺伝子	選	2	
		病気の成り立ちⅠ	必	2	
		病気の成り立ちⅡ	必	2	
	疾病と治療	臨床医科学入門	必	2	
		免疫学(アレルギー)	必	2	
		感染症学	選	2	
		生活と環境	必	2	
	社会・環境と健康	からだと健康	選	2	
		公衆衛生学Ⅰ	必	2	
		公衆衛生学Ⅱ	必	2	
	食べ物と健康	食品学総論	必	2	
		食品学各論	必	2	
		食品管理論	必	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門基礎分野	食べ物と健康	食品学総論	必	2	
		食品学各論	必	2	
		食品管理論	必	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1
		食の科学	必	2	
		調理学	必	2	
		調理学実習Ⅰ	必		1
		調理学実習Ⅱ	必		1
		食品衛生学	必	2	
		食品衛生学実験	必		1
		食事計画実習	必		3
		食環境生産教育演習	選	2	
	基礎栄養学	栄養と代謝	必	2	
		栄養代謝実験	必		1
		栄養生理化学	必	1	
		応用栄養学	必	2	
	応用栄養学	栄養学各論Ⅰ	必	2	
		栄養学各論Ⅱ	必	2	
		応用栄養学実習	必		1
		栄養アセスメント論	必	2	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	必	2	
		栄養教育論Ⅱ	必	2	
		栄養教育実習Ⅰ	必		1
		栄養教育実習Ⅱ	必		1
		カウンセリング論	必	2	
		カウンセリング実習	必		1
	臨床栄養学	教育方法論	必	1	
		臨床栄養学Ⅰ	必	2	
		臨床栄養学Ⅱ	必	2	
		臨床栄養学Ⅲ	必	2	
		臨床栄養学実習Ⅰ	必		1
		臨床栄養学実習Ⅱ	必		1
	公衆栄養学	介護予防と栄養	必	2	
		公衆栄養学Ⅰ	必	2	
		公衆栄養学Ⅱ	必	2	
		公衆栄養学実習	必		1
		地域栄養学演習	必	1	
		栄養学のデータサイエンス	選	2	
専門分野	給食経営管理論	栄養学のマーケティング	選	2	
		給食経営管理論	必	2	
		給食経営管理実習	必		2
	総合演習	フードマネージメント論	必	2	
		管理栄養士総合演習Ⅰ	必	3	
		管理栄養士総合演習Ⅱ	必	3	
	臨地実習	臨地実習Ⅰ	必		2
		臨地実習Ⅱ	必		2
	スポーツ栄養	スポーツ栄養学	選	2	
		スポーツ栄養学演習	選	1	
		スポーツ栄養実習	選		1
	国際栄養	国際栄養学	選	2	
		国際保健学	選	1	
		国際栄養実習	選		1
	チーム医療	保健機能食品論	選	2	
		チーム医療連携論	選	1	
		薬局管理栄養士実習	選		1
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	必	1	
		卒業研究Ⅱ	必	1	
	共通科目	国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-4-1 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧（第21条第3項関係）

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア科目	心身健康科学概論	必	2	
		行動科学概論	必	1	
		生命科学概論	必	1	
	基礎科目	こころの科学	必	2	
		化学基礎	必	2	
		生物学基礎	必	2	
		生化学	必	2	
		有機化学	選	2	
		無機化学	選	2	
		食品微生物学	必	2	
		細胞と遺伝子	選	2	
		基礎統計演習	必	2	
		英語基礎	必	2	
		食文化論	必	2	
		コンピュータ入門	必	2	
		論理学—論理的思考と表現法	必	1	
		数学	必	1	
		ストレスと食・健康	必	1	
		職業とキャリア形成	必	1	
		コミュニケーション演習	必	1	
		体育概論	必	1	
		スポーツと健康	必		1
専門基礎分野	食品・栄養の基礎	食品学総論	必	2	
		食品学各論	選	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1
		食の科学	必	2	
		食品素材論	必	2	
		調理学	選	2	
		栄養と代謝	必	2	
		栄養代謝実験	選		1
		食品加工基礎	選	2	
		食品加工基礎実習	選		1
		食生活と健康	必	2	
		食品管理論	選	2	
		食品衛生学	必	2	
		食品衛生学実験	必		1
	人間理解の基礎	生化学実験	必		1
		身体の構造と機能	必	2	
		病気の成り立ち	選	2	
		解剖生理学実習	選		1
		食品発酵学	選	2	
		免疫学	選	2	
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	感染症学	選	2	
		ヘルスフードサイエンス	必	2	
		ブレインサイエンス	選	2	
		公衆衛生学Ⅰ	必	2	
		公衆衛生学Ⅱ	選	2	
		シンバイオティクス	選	2	
		分析化学	選	2	
		応用微生物学実験	選		1
		応用栄養学実習	選		1

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	栄養分析学実験	選		1
		公衆栄養学	必	2	
		ライフステージ栄養学（栄養指導論）	選	2	
		ライフステージ栄養管理実習（栄養指導論）	選		1
		ヘルスサイエンスリサーチ	選	2	
		食品官能評価	選	2	
		栄養遺伝子学（ニュートリゲノミクス）	選	2	
		食品機能評価	選	2	
	フードマネジメント分野	調理学実習Ⅰ	選		1
		調理学実習Ⅱ	選		1
		総合調理実習	選		2
		給食の運営管理論	選	2	
		給食経営管理実習（校外実習）	選		2
		食品工学総論	選	2	
		フードマネジメント論	必	2	
		食品加工貯蔵学	選	2	
		食品加工応用	選		2
		分子調理学	選		2
		食品機能学	必	2	
		食品分析学	選	2	
		食品生命科学	選	2	
		機能性食品学Ⅰ	選	2	
		機能性食品学Ⅱ	選	2	
		機能性評価科学	選	2	
	グローバルフードビジネス分野	フードシステム学	必	2	
		食品の経営学	必	2	
		食品の経営学Ⅱ	選	2	
		食品流通学	選	2	
		食品資源論	選	2	
		食品生産流通学実習（視察）	選		1
		フードスペシャリスト論	選	2	
		フードコーディネーター論	選	2	
		健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）	選	2	
		国際英語（プレゼンテーション）	選	2	
		食品安全等国際制度論	必	2	
		グローバルヘルスフード開発	選	2	
		フードセーフティ入門	選	2	
		食品リスク管理論	選	2	
		食環境生産教育実習	選		2
共通科目	インターンシップ 卒業研究	国際産学連携論	選	2	
		トレーサビリティ論	選	2	
	共通科目	フードビジネス関連法規	選	2	
		インターンシップ	選		2
		卒業研究	選		2
		国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-4-2 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧（第21条第3項関係）
（平成30年度入学以降）

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア科目	心身健康科学概論	必	2	
		行動科学概論	必	1	
		生命科学概論	必	1	
	基礎科目	こころの科学	必	2	
		化学基礎	必	2	
		生物学基礎	必	2	
		生化学	必	2	
		有機化学	必	2	
		無機化学	選	2	
		食品微生物学	必	2	
		細胞と遺伝子	選	2	
		基礎統計演習	必	2	
		英語基礎	必	2	
		食文化論	必	2	
		コンピュータ入門	必	2	
		論理学—論理的思考と表現法	必	1	
		数学	必	1	
		ストレスと食・健康	必	1	
		職業とキャリア形成	必	1	
		コミュニケーション演習	必	1	
		体育概論	必	1	
		スポーツと健康	必		1
専門基礎分野	食品・栄養の基礎	食品学総論	必	2	
		食品学各論	必	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1
		食の科学	必	2	
		食品素材論	必	2	
		調理学	必	2	
		栄養と代謝	必	2	
		栄養代謝実験	必		1
		食品加工基礎	必	2	
		食品加工基礎実習	選		1
		食生活と健康	必	2	
		食品管理論	選	2	
		食品衛生学	必	2	
		食品衛生学実験	必		1
		臨床栄養学概論	必	2	
		給食計画論	必	2	
	人間理解の基礎	生化学実験	必		1
		身体の構造と機能	必	2	
		病気の成り立ち	必	2	
		解剖生理学実習	必		1
		食品発酵学	選	2	
		免疫学	必	2	
		感染症学	選	2	
	ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	必	2	
		ブレインサイエンス	選	2	
		公衆衛生学Ⅰ	必	2	
		公衆衛生学Ⅱ	必	2	
		シンバイオティクス	選	2	
		分析化学	選	2	

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	応用微生物学実験	選		1
		臨床栄養学実習	必		1
		応用栄養学実習	選		1
		栄養分析学実験	必		1
		公衆栄養学	必	2	
		栄養指導論Ⅰ	必	2	
		栄養指導論Ⅱ	必	2	
		栄養指導実習	必		1
		ライフステージ栄養学	必	2	
		ライフステージ栄養管理実習	選		1
		ヘルスサイエンスリサーチ	選	2	
		食品官能評価	選	2	
		栄養遺伝子学（ニュートリゲノミクス）	選	2	
		食品機能評価	選	2	
	フードマネジメント分野	調理学実習Ⅰ	必		1
		調理学実習Ⅱ	必		1
		総合調理（給食の運営）実習	必		2
		給食の運営管理論	必	2	
		給食経営管理実習（校外実習）	必		2
		食品工学総論	選	2	
		フードマネジメント論	必	2	
		食品加工貯蔵学	選	2	
		食品加工応用	選		2
		分子調理学	選		2
		食品機能学	必	2	
		食品分析学	選	2	
	グローバルフードビジネス分野	食品生命科学	選	2	
		機能性食品学Ⅰ	選	2	
		機能性食品学Ⅱ	選	2	
		機能性評価科学	選	2	
		フードシステム学	必	2	
		食品の経営学	必	2	
		食品の経営学Ⅱ	選	2	
		食品流通学	選	2	
		食品資源論	選	2	
		食品生産流通学実習（視察）	選		1
		フードスペシャリスト論	選	2	
		フードコーディネーター論	選	2	
		健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）	選	2	
		国際英語（プレゼンテーション）	選	2	
		食品安全等国際制度論	必	2	
		グローバルヘルスフード開発	選	2	
		フードセーフティ入門	選	2	
		食品リスク管理論	選	2	
		食環境生産教育実習	選		2
		国際産学連携論	選	2	
		トレーサビリティ論	選	2	
		フードビジネス関連法規	選	2	
	インターンシップ 卒業研究	インターンシップ	選		2
		卒業研究	選		2
	共通科目	国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-4-3 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧（第21条第3項関係）
（平成31年度入学以降）

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア科目	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命科学概論	必	1	
	基礎科目	こころの科学	必	2	
		化学基礎	必	2	
		生物学基礎	必	2	
		生化学	必	2	
		有機化学	必	2	
		無機化学	選	2	
		食品微生物学	必	2	
		細胞と遺伝子	選	2	
		基礎統計演習	必	2	
		英語基礎	必	2	
		食文化論	必	2	
		コンピュータ入門	必	2	
		論理学—論理的思考と表現法	必	1	
		数学	必	1	
		ストレスと食・健康	必	1	
		職業とキャリア形成	必	1	
		コミュニケーション演習	必	1	
		体育概論	必	1	
		スポーツと健康	必		1
専門基礎分野	食品・栄養の基礎	食品学総論	必	2	
		食品学各論	必	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1
		食の科学	必	2	
		食品素材論	必	2	
		調理学	必	2	
		栄養と代謝	必	2	
		栄養代謝実験	必		1
		食品加工基礎	必	2	
		食品加工基礎実習	選		1
		食生活と健康	必	2	
		食品管理論	選	2	
		食品衛生学	必	2	
		食品衛生学実験	必		1
	人間理解の基礎	臨床栄養学概論	必	2	
		給食計画論	必	2	
		生化学実験	必		1
		身体の構造と機能	必	2	
		病気の成り立ち	必	2	
		解剖生理学実習	必		1
		食品発酵学	選	2	
		免疫学	必	2	
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	必	2	
		ブレインサイエンス	選	2	
		公衆衛生学Ⅰ	必	2	
		公衆衛生学Ⅱ	必	2	
		シンバイオティクス	選	2	
		分析化学	選	2	
	ヘルスフードサイエンス分野				
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	応用微生物学実験	選		1
		臨床栄養学実習	必		1
		応用栄養学実習	選		1
		栄養分析学実験	必		1
		公衆栄養学	必	2	
		栄養指導論Ⅰ	必	2	
		栄養指導論Ⅱ	必	2	
		栄養指導実習	必		1
		ライフステージ栄養学	必	2	
		ライフステージ栄養管理実習	選		1
		ヘルスサイエンスリサーチ	選	2	
		食品官能評価	選	2	
		栄養遺伝子学（ニュートリゲノミクス）	選	2	
		食品機能評価	選	2	
	フードマネジメント分野	調理学実習Ⅰ	必		1
		調理学実習Ⅱ	必		1
		総合調理（給食の運営）実習	必		2
		給食の運営管理論	必	2	
		給食経営管理実習（校外実習）	必		2
		食品工学総論	選	2	
		フードマネジメント論	必	2	
		食品加工貯蔵学	選	2	
		食品加工応用	選		2
		分子調理学	選		2
	グローバルフードビジネス分野	食品機能学	必	2	
		食品分析学	選	2	
		食品生命科学	選	2	
		機能性食品学Ⅰ	選	2	
		機能性食品学Ⅱ	選	2	
		機能性評価科学	選	2	
		フードシステム学	必	2	
		食品の経営学	必	2	
		食品の経営学Ⅱ	選	2	
		食品流通学	選	2	
		食品資源論	選	2	
		食品生産流通学実習（視察）	選		1
		フードスペシャリスト論	選	2	
		フードコーディネーター論	選	2	
	共通科目	健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）	選	2	
		国際英語（プレゼンテーション）	選	2	
		食品安全等国際制度論	必	2	
		グローバルヘルスフード開発	選	2	
		フードセーフティ入門	選	2	
		食品リスク管理論	選	2	
		食環境生産教育実習	選		2
専門分野	インターンシップ 卒業研究	国際産学連携論	選	2	
		トレーサビリティ論	選	2	
	共通科目	フードビジネス関連法規	選	2	
		インターンシップ	選		2
専門分野	インターンシップ 卒業研究	卒業研究	選		2
		国際研修	選		1
	共通科目	ボランティア活動	選		1

別表第2-4-4 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧（第21条第3項関係）
（令和2年度入学以降）

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア科目	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命科学概論	必	1	
	基礎科目	こころの科学	必	2	
		化学基礎	必	2	
		生物学基礎	必	2	
		生化学	必	2	
		有機化学	必	2	
		無機化学	選	2	
		食品微生物学	必	2	
		細胞と遺伝子	選	2	
		基礎統計演習	必	2	
		英語基礎	必	2	
		食文化論	必	2	
		コンピュータ入門	必	2	
		論理学—論理的思考と表現法	必	1	
		数学	必	1	
		ストレスと食・健康	必	1	
		職業とキャリア形成	必	1	
		コミュニケーション演習	必	1	
		体育概論	必	1	
		スポーツと健康	必		1
専門基礎分野	食品・栄養の基礎	食品学総論	必	2	
		食品学各論	必	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1
		食の科学	必	2	
		食品素材論	必	2	
		調理学	必	2	
		栄養と代謝	必	2	
		栄養代謝実験	必		1
		食品加工基礎	必	2	
		食品加工基礎実習	選		1
		食生活と健康	必	2	
		食品管理論	選	2	
		食品衛生学	必	2	
		食品衛生学実験	必		1
		臨床栄養学概論	必	2	
		給食計画論	必	2	
	人間理解の基礎	生化学実験	必		1
		身体の構造と機能	必	2	
		病気の成り立ち	必	2	
		解剖生理学実習	必		1
		食品発酵学	選	2	
		免疫学	必	2	
		感染症学	選	2	
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	必	2	
		ブレインサイエンス	選	2	
		公衆衛生学Ⅰ	必	2	
		公衆衛生学Ⅱ	必	2	
		シンバイオティクス	選	2	
		分析化学	選	2	
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	応用微生物学実験	選		1
		臨床栄養学実習	必		1
		応用栄養学実習	選		1
		栄養分析学実験	必		1
		公衆栄養学	必	2	
		栄養指導論Ⅰ	必	2	
		栄養指導論Ⅱ	必	2	
		栄養指導実習	必		1
		ライフステージ栄養学	必	2	
		ライフステージ栄養管理実習	選		1
		ヘルスサイエンスリサーチ	選	2	
		食品官能評価	選	2	
		栄養遺伝子学（ニュートリゲノミクス）	選	2	
		食品機能評価	選	2	
	フードマネジメント分野	調理学実習Ⅰ	必		1
		調理学実習Ⅱ	必		1
		総合調理（給食の運営）実習	必		2
		給食の運営管理論	必	2	
		給食経営管理実習（校外実習）	必		2
		食品工学総論	選	2	
		フードマネジメント論	必	2	
		食品加工貯蔵学	選	2	
		食品加工応用	選		2
		分子調理学	選		2
	グローバルフードビジネス分野	食品機能学	必	2	
		食品分析学	選	2	
		食品生命科学	選	2	
		機能性食品学Ⅰ	選	2	
		機能性食品学Ⅱ	選	2	
		機能性評価科学	選	2	
		フードシステム学	必	2	
		食品の経営学Ⅰ	必	2	
		食品の経営学Ⅱ	選	2	
		食品流通学	選	2	
	インターンシップ・卒業研究・国際研修・ボランティア活動	食品資源論	選	2	
		食品生産流通学実習（視察）	選		1
		フーズスペシャリスト論	選	2	
		フードコーディネーター論	選	2	
		健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）	選	2	
		国際英語（プレゼンテーション）	選	2	
		食品安全等国際制度論	必	2	
		グローバルヘルスフード開発	選	2	
		フードセーフティ入門	選	2	
		食品リスク管理論	選	2	
		食環境生産教育実習	選		2
		国際産学連携論	選	2	
		トレーサビリティ論	選	2	
		フードビジネス関連法規	選	2	
		インターンシップ	選		2
		卒業研究	選		2
		国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-4-5 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧（第21条第3項関係）
（令和3年度入学以降）

分野		授業科目名	単位数		
			必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア科目	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命科学概論	必	1	
	基礎科目	こころの科学	必	2	
		化学基礎	必	2	
		生物学基礎	必	2	
		生化学	必	2	
		有機化学	必	2	
		無機化学	選	2	
		食品微生物学	必	2	
		細胞と遺伝子	選	2	
		基礎統計演習	必	2	
		英語基礎	必	2	
		食文化論	必	2	
		コンピュータ入門	必	2	
		AI・データ活用リテラシー	選	1	
		論理学—論理的思考と表現法	必	1	
		数学	必	1	
		ストレスと食・健康	必	1	
		職業とキャリア形成	必	1	
		コミュニケーション演習	必	1	
		体育概論	必	1	
		スポーツと健康	必		1
専門基礎分野	食品・栄養の基礎	食品学総論	必	2	
		食品学各論	必	2	
		食品学実験Ⅰ	必		1
		食品学実験Ⅱ	必		1
		食の科学	必	2	
		食品素材論	必	2	
		調理学	必	2	
		栄養と代謝	必	2	
		栄養代謝実験	必		1
		食品加工基礎	必	2	
		食品加工基礎実習	選		1
		食生活と健康	必	2	
		食品管理論	選	2	
		食品衛生学	必	2	
		食品衛生学実験	必		1
		臨床栄養学概論	必	2	
		給食計画論	必	2	
		栄養学のデータサイエンス	選	2	
		栄養学のマーケティング	選	2	
	人間理解の基礎	生化学実験	必		1
		身体の構造と機能	必	2	
		病気の成り立ち	必	2	
		解剖生理学実習	必		1
		食品発酵学	選	2	
		免疫学	必	2	
		感染症学	選	2	
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	必	2	
		ブレインサイエンス	選	2	
		公衆衛生学Ⅰ	必	2	
		公衆衛生学Ⅱ	必	2	
		シンバイオティクス	選	2	
		分析化学	選	2	

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	応用微生物学実験	選		1
		臨床栄養学実習	必		1
		応用栄養学実習	選		1
		栄養分析学実験	必		1
		公衆栄養学	必	2	
		栄養指導論Ⅰ	必	2	
		栄養指導論Ⅱ	必	2	
		栄養指導実習	必		1
		ライフステージ栄養学	必	2	
		ライフステージ栄養管理実習	選		1
		ヘルスサイエンスリサーチ	選	2	
		食品官能評価	選	2	
		栄養遺伝子学（ニュートリゲノミクス）	選	2	
		食品機能評価	選	2	
	フードマネジメント分野	調理学実習Ⅰ	必		1
		調理学実習Ⅱ	必		1
		総合調理（給食の運営）実習	必		2
		給食の運営管理論	必	2	
		給食経営管理実習（校外実習）	必		2
		食品工学総論	選	2	
		フードマネジメント論	必	2	
		食品加工貯蔵学	選	2	
		食品加工応用	選		2
		分子調理学	選		2
		食品機能学	必	2	
		食品分析学	選	2	
		食品生命科学	選	2	
		機能性食品学Ⅰ	選	2	
		機能性食品学Ⅱ	選	2	
		機能性評価科学	選	2	
	グローバルフードビジネス分野	フードシステム学	必	2	
		食品の経営学Ⅰ	必	2	
		食品の経営学Ⅱ	選	2	
		食品流通学	選	2	
		食品資源論	選	2	
		食品生産流通学実習（視察）	選		1
		フードスペシャリスト論	選	2	
		フードコーディネーター論	選	2	
		健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）	選	2	
		国際英語（プレゼンテーション）	選	2	
		食品安全等国際制度論	必	2	
		グローバルヘルスフード開発	選	2	
		フードセーフティ入門	選	2	
		食品リスク管理論	選	2	
		食環境生産教育実習	選		2
共通科目	インターンシップ 卒業研究	インターンシップ	選		2
		卒業研究	選		2
	共通科目	国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-4-6 ヘルスフードサイエンス学科 開設授業科目一覧（第21条第3項関係）
（令和6年度入学以降）

					単位数				
分野		授業科目名	必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習				
基礎分野	コア科目	心身健康科学	必	1					
		ヒューマンⅠ	必	1					
		ヒューマンⅡ	必	1					
		ヒューマンⅢ	必	1					
		生命科学概論	必	1					
	基礎科目	こころの科学	必	2					
		化学基礎	必	2					
		生物学基礎	必	2					
		生化学	必	2					
		有機化学	必	2					
		無機化学	選	2					
		食品微生物学	必	2					
		細胞と遺伝子	選	2					
		基礎統計演習	必	2					
		英語基礎	必	2					
		食文化論	必	2					
		コンピュータ入門	必	2					
		AI・データ活用リテラシー	選	1					
		論理学—論理的思考と表現法	必	1					
		数学	必	1					
		ストレスと食・健康	必	1					
		職業とキャリア形成	必	1					
		コミュニケーション演習	必	1					
		体育概論	必	1					
		スポーツと健康	必		1				
専門基礎分野	食品・栄養の基礎	食品学総論	必	2					
		食品学各論	必	2					
		食品学実験Ⅰ	必		1				
		食品学実験Ⅱ	必		1				
		食の科学	必	2					
		食品素材論	必	2					
		調理学	必	2					
		栄養と代謝	必	2					
		栄養代謝実験	必		1				
		食品加工基礎	必	2					
		食品加工基礎実習	選		1				
		食生活と健康	必	2					
		食品衛生学	必	2					
		食品衛生学実験	必		1				
		臨床栄養学概論	必	2					
		給食計画論	必	2					
	人間理解の基礎	生化学実験	必		1				
		身体の構造と機能	必	2					
		病気の成り立ち	必	2					
		解剖生理学実習	必		1				
		食品発酵学	選	2					
		免疫学	必	2					
		感染症学	選	2					
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	必	2					
		ブレインサイエンス	選	2					
		公衆衛生学Ⅰ	必	2					
		公衆衛生学Ⅱ	必	2					
		シンバイオティクス	選	2					
		分析化学	選	2					
		栄養学のデータサイエンス	選	2					
		栄養学のマーケティング	選	2					
専門分野	ヘルスフードサイエンス分野	応用微生物学実験	選		1				
		臨床栄養学実習	必		1				
		応用栄養学実習	選		1				
		栄養分析学実験	必		1				
		公衆栄養学	必	2					
		栄養指導論Ⅰ	必	2					
		栄養指導論Ⅱ	必	2					
		栄養指導実習	必		1				
		ライフステージ栄養学	必	2					
		ライフステージ栄養管理実習	選		1				
		ヘルスサイエンスリサーチ	選	2					
		食品官能評価	選	2					
		栄養遺伝子学（ニュートリゲノミクス）	選	2					
		食品機能評価	選	2					
	フードマネジメント分野	調理学実習Ⅰ	必		1				
		調理学実習Ⅱ	必		1				
		総合調理（給食の運営）実習	必		2				
		給食の運営管理論	必	2					
		給食経営管理実習（校外実習）	必		2				
		食品工学総論	選	2					
		フードマネジメント論	必	2					
		食品加工貯蔵学	選	2					
		食品加工応用	選	2					
		分子調理学Ⅰ	選		1				
		分子調理学Ⅱ	選		1				
		食品機能学	必	2					
		食品分析学	選	2					
		食品生命科学	選	2					
		機能性食品学Ⅰ	選	2					
		機能性食品学Ⅱ	選	2					
		機能性評価科学	選	2					
	グローバルフードビジネス分野	フードシステム学	必	2					
		食品の経営学	必	2					
		食品流通学	選	2					
		食品生産流通学演習	選	1					
		フードスペシャリスト論	選	2					
		フードコーディネーター論	選	2					
		健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）	選	2					
		国際英語（プレゼンテーション）	選	2					
		食品安全等国际制度論	必	2					
		グローバルヘルスフード開発	選	2					
		フードセーフティ入門	選	2					
		食品リスク管理論	選	2					
		食環境生産教育演習	選	2					
		フードビジネス関連法規	選	2					
	インターンシップ 卒業研究	インターンシップ	選	2					
		卒業研究	選		2				
	共通科目	国際研修	選		1				
		ボランティア活動	選		1				

別表第2-5-1 看護学科 開設授業科目一覧（第21条 第4項関係）

（削除）

別表第2-5-2 看護学科 開設授業科目一覧（第21条 第4項関係）

（削除）

（平成24年度入学以降）

別表第2-5-4 看護学科 開設授業科目一覧（第21条 第4項関係）

（平成28年度入学以降）

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学概論	必	1	
		行動科学概論	必	1	
		生命科学概論	必	1	
		文明科学概論	必	1	
		生命倫理	必	1	
	人間と社会	人間工学	選	1	
		統計学	選	1	
		スポーツと健康	選	1	
		体育概論	選	1	
		家族社会学	必	1	
		法学	必	1	
		日本国憲法	選	2	
		人間関係論	必	1	
		心理学	必	1	
		国際文化論	選	1	
		生活文化論	選	1	
		医療英語	必	1	
	セミナール	オーラルコミュニケーション	選	1	
		英語文献講読	選	1	
		職業とキャリア形成	必	1	
		論理的思考と表現法	選	1	
		コミュニケーション演習	必	1	
		コンピュータ入門	必	2	
		数学基礎	選	1	
		生物学基礎	選	1	
		化学基礎	選	1	
		物理学基礎	選	1	
		英語基礎	選	1	
専門基礎分野	人体の構造と機能	機能形態学1（生理学基礎Ⅰ（ホメオスタシス・腎））	必	1	
		機能形態学2（生理学基礎Ⅱ（ホメオスタシス・腎））	必	1	
		機能形態学3（循環器系・呼吸器系Ⅰ）	必	1	
		機能形態学4（循環器系・呼吸器系Ⅱ）	必	1	
		機能形態学5（神経系・運動器系・感覚器Ⅰ）	必	1	
		機能形態学6（神経系・運動器系・感覚器Ⅱ）	必	1	
		機能形態学7（消化器系・代謝・内分泌Ⅰ）	必	1	
		機能形態学8（消化器系・代謝・内分泌Ⅱ）	必	1	
		機能形態学14（生化学Ⅰ）	必	1	
	疾病の成り立ち	疾病と治療1（病理学概論Ⅰ）	必	1	
		疾病と治療2（病理学概論Ⅱ）	必	1	
		疾病と治療11（薬理学）	必	1	
		疾病と治療12（薬と健康）	選	1	
		疾病と治療13（病理学各論Ⅰ（呼吸・循環・血液・造血））	必	1	
		疾病と治療14（病理学各論Ⅱ（内分泌・代謝・腎））	必	1	
		疾病と治療15（病理学各論Ⅲ（神経系・感覚器・運動機能））	必	1	
		疾病と治療16（病理学各論Ⅳ（免疫・アレルギー・腫瘍・婦人科））	必	1	
		疾病と治療17（病理学各論Ⅴ（小児））	必	1	
		疾病と治療18（病理学各論Ⅵ（精神））	必	1	
		疾病と治療19（臨床栄養学）	必	1	
		疾病と治療20（微生物学）	必	1	
		疾病と治療21（老年医学）	選	1	
	健康支援と社会保障制度	環境と健康	選	1	
		保健医療福祉行政論	必	2	
		社会保障制度論	必	2	
		生活福祉論	選	1	
		障害者福祉論	選	1	
		国際保健医療論	選	1	
		保健医療福祉専門職連携論	必	1	
		疫学	必	2	
		保健統計学	選	2	

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	講義・ 演習	単位数	
					実験・ 実習	
専門分野	基礎看護学	看護学原論	必	2		
		看護共通技術Ⅰ	必	1		
		看護共通技術Ⅱ	必	1		
		看護基礎技術Ⅰ	必	2		
		看護基礎技術Ⅱ	必	1		
		看護基礎技術Ⅲ	必	2		
		看護の展開	必	1		
		基礎看護学実習Ⅰ	必		1	
		基礎看護学実習Ⅱ	必		2	
	成人看護学	成人看護学概論	必	1		
		成人看護援助論Ⅰ	必	2		
		成人看護援助論Ⅱ	必	2		
		成人看護援助論Ⅲ	必	1		
		成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	必		3	
		成人看護学実習Ⅱ（急性期）	必		3	
	小児看護学	小児看護学概論	必	1		
		小児看護援助論	必	3		
		小児看護学実習	必		2	
	母性看護学	母性看護学概論	必	1		
		母性看護援助論Ⅰ	必	2		
		母性看護援助論Ⅱ	必	1		
		母性看護学実習	必		2	
	老年看護学	老年看護学概論	必	1		
		老年看護援助論Ⅰ	必	2		
		老年看護援助論Ⅱ	必	1		
		老年看護学実習Ⅰ（生活支援）	必		2	
		老年看護学実習Ⅱ（健康障害時）	必		2	
	精神看護学	精神看護学概論	必	1		
		精神看護援助論	必	3		
		精神看護学実習	必		2	
	在宅看護論	在宅看護概論	必	1		
		在宅看護援助論Ⅰ	必	2		
		在宅看護援助論Ⅱ	必	1		
		在宅看護実習	必		2	
	看護総合演習	看護総合演習Ⅰ	必	1		
		看護総合演習Ⅱ	必	1		
	生活支援看護	地域看護学概論	必	2		
		地域看護活動論	必	2		
		学校看護論	選	1		
		産業看護論	選	2		
	看護の発展	健康危機管理論	選	1		
		看護管理・看護情報学	必	1		
		感染看護論	選	1		
		看護国際協力論	選	1		
		災害と看護活動	選	1		
		クリティカルケア論	選	1		
		リハビリテーション看護論	選	1		
		緩和ケア論	選	1		
		認知症ケア論	選	1		
		遺伝看護	選	1		
		ウィメンズヘルスケア論	選	1		
		リエゾン看護論	選	1		
		家族看護論	選	1		
		健康看護論	選	1		
		看護研究Ⅰ	必	1		
		看護研究Ⅱ	必	2		
		統合実習	必		2	
	共通科目	国際研修	選		1	
		ボランティア活動	選		1	

別表第2-5-3 看護学科（保健師選択コース） 開設授業科目一覧
(削除) (平成24年度入学以降)

(第21条 第4項関係)

別表第2-5-5 看護学科（保健師選択コース） 開設授業科目一覧 (第21条第4項関係)
(平成28年度入学以降)

分野		授業科目名	単位数		
			必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学概論	必	1	
		行動科学概論	必	1	
		生命科学概論	必	1	
		文明科学概論	必	1	
		生命倫理	必	1	
	人間と社会	人間工学	選	1	
		統計学	選	1	
		スポーツと健康	選	1	
		体育概論	選	1	
		家族社会学	必	1	
		法学	必	1	
		日本国憲法	選	2	
		人間関係論	必	1	
		心理学	必	1	
		国際文化論	選	1	
		生活文化論	選	1	
		医療英語	必	1	
		オーラルコミュニケーション	選	1	
		英語文献講読	選	1	
	セミナール	職業とキャリア形成	必	1	
		論理的思考と表現法	選	1	
		コミュニケーション演習	必	1	
		コンピュータ入門	必	2	
		数学基礎	選	1	
		生物学基礎	選	1	
		化学基礎	選	1	
		物理学基礎	選	1	
		英語基礎	選	1	
		機能形態学1 (生理学基礎Ⅰ (ホメオスタシス・腎))	必	1	
専門基礎分野	人体の構造と機能	機能形態学2 (生理学基礎Ⅱ (ホメオスタシス・腎))	必	1	
		機能形態学3 (循環器系・呼吸器系Ⅰ)	必	1	
		機能形態学4 (循環器系・呼吸器系Ⅱ)	必	1	
		機能形態学5 (神経系・運動器系・感覚器Ⅰ)	必	1	
		機能形態学6 (神経系・運動器系・感覚器Ⅱ)	必	1	
		機能形態学7 (消化器系・代謝・内分泌Ⅰ)	必	1	
		機能形態学8 (消化器系・代謝・内分泌Ⅱ)	必	1	
		機能形態学14 (生化学Ⅰ)	必	1	
	疾病の成り立ち	疾病と治療1 (病理学概論Ⅰ)	必	1	
		疾病と治療2 (病理学概論Ⅱ)	必	1	
		疾病と治療11 (薬理学)	必	1	
		疾病と治療12 (薬と健康)	選	1	
		疾病と治療13 (病理学各論Ⅰ (呼吸・循環・血液・造血))	必	1	
		疾病と治療14 (病理学各論Ⅱ (内分泌・代謝・腎))	必	1	
		疾病と治療15 (病理学各論Ⅲ (神経系・感覚器・運動機能))	必	1	
		疾病と治療16 (病理学各論Ⅳ (免疫・アレルギー・腫瘍・婦人科))	必	1	
		疾病と治療17 (病理学各論Ⅴ (小児))	必	1	
		疾病と治療18 (病理学各論Ⅵ (精神))	必	1	
		疾病と治療19 (臨床栄養学)	必	1	
		疾病と治療20 (微生物学)	必	1	
		疾病と治療21 (老年医学)	選	1	
	健康支援と社会保障制度	環境と健康	選	1	
		保健医療福祉行政論	必	2	
		社会保障制度論	必	2	
		生活福祉論	選	1	
		障害者福祉論	選	1	
		国際保健医療論	選	1	
		保健医療福祉専門職連携論	必	1	
		疫学	必	2	
		保健統計学	必	2	

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門分野	基礎看護学	看護学原論	必	2	
		看護共通技術Ⅰ	必	1	
		看護共通技術Ⅱ	必	1	
		看護基礎技術Ⅰ	必	2	
		看護基礎技術Ⅱ	必	1	
		看護基礎技術Ⅲ	必	2	
		看護の展開	必	1	
		基礎看護学実習Ⅰ	必		1
		基礎看護学実習Ⅱ	必		2
	成人看護学	成人看護学概論	必	1	
		成人看護援助論Ⅰ	必	2	
		成人看護援助論Ⅱ	必	2	
		成人看護援助論Ⅲ	必	1	
		成人看護学実習Ⅰ (慢性期)	必		3
		成人看護学実習Ⅱ (急性期)	必		3
	小児看護学	小児看護学概論	必	1	
		小児看護援助論	必	3	
		小児看護学実習	必		2
	母性看護学	母性看護学概論	必	1	
		母性看護援助論Ⅰ	必	2	
		母性看護援助論Ⅱ	必	1	
		母性看護学実習	必		2
	老年看護学	老年看護学概論	必	1	
		老年看護援助論Ⅰ	必	2	
		老年看護援助論Ⅱ	必	1	
		老年看護学実習Ⅰ (生活支援)	必		2
		老年看護学実習Ⅱ (健康障害時)	必		2
	精神看護学	精神看護学概論	必	1	
		精神看護援助論	必	3	
		精神看護学実習	必		2
	在宅看護論	在宅看護概論	必	1	
		在宅看護援助論Ⅰ	必	2	
		在宅看護援助論Ⅱ	必	1	
		在宅看護実習	必		2
	看護総合演習	看護総合演習Ⅰ	必	1	
		看護総合演習Ⅱ	必	1	
	生活支援看護	地域看護学概論	必	2	
		公衆衛生看護技術論	必	2	
		地域看護活動論	必	2	
		公衆衛生看護活動論	必	2	
		学校看護論	必	1	
		産業看護論	必	2	
		公衆衛生看護管理論	必	1	
		健康危機管理論	必	1	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	必		2
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	必		3
	看護の発展	看護管理・看護情報学	必	1	
		感染看護論	選	1	
		看護国際協力論	選	1	
		災害と看護活動	選	1	
		クリティカルケア論	選	1	
		リハビリテーション看護論	選	1	
		緩和ケア論	選	1	
		認知症ケア論	選	1	
		遺伝看護	選	1	
		ウィメンズヘルスケア論	選	1	
		リエゾン看護論	選	1	
		家族看護論	選	1	
		健康看護論	必	1	
		看護研究Ⅰ	必	1	
		看護研究Ⅱ	必	2	
		統合実習	必		2
共通科目		国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第 2－5－6 看護学科 開設授業科目一覧 (第 21 条 第 4 項関係)
(令和 2 年度入学以降)

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命倫理	必	1	
	人間の理解	心理学	必	1	
		スポーツと健康	選	1	
		体育概論	選	1	
		人間工学	選	1	
		美術	選	1	
	他者との共生	コミュニケーション演習	必	1	
		人間関係論	必	1	
		家族社会学	必	1	
		法学	必	1	
		日本国憲法	選	2	
		国際文化論	選	1	
		コンピュータ入門Ⅰ	必	1	
		コンピュータ入門Ⅱ	選	1	
		生活文化論	選	1	
		英会話	選	1	
		医療英語	必	1	
		英語文献講読	選	1	
		ベトナム語	選	1	
		岩槻の文化とものづくり	選	1	
		AI・データ活用リテラシー	選	1	
	専門的能力の基盤	職業とキャリア形成	必	1	
		大学生入門	必	1	
		論理的思考と表現法	選	1	
		数学基礎	選	1	
		生物学基礎	選	1	
		化学基礎	選	1	
		物理学基礎	選	1	
		英語基礎	選	1	
		統計学	選	1	
専門基礎分野	人間の理解	生理学Ⅰ	必	1	
		生理学Ⅱ	必	1	
		生理学Ⅲ	必	2	
		解剖学Ⅰ	必	1	
		解剖学Ⅱ	必	1	
		生化学	必	1	
		栄養学	必	1	
	(健康とその障害を抱える人々への支援)	病理学概論	必	2	
		疾病と治療Ⅰ	必	2	
		疾病と治療Ⅱ	必	1	
		疾病と治療Ⅲ	必	1	
		疾病と治療Ⅳ	必	1	
		精神科学	必	1	
		薬理学	必	1	
		薬と健康	選	1	
		微生物学	必	1	
		老年医学	選	1	
		環境と健康	選	1	
		保健医療福祉行政論	必	2	
		社会保障制度論	必	2	
		生活福祉論	選	1	
		障害者福祉論	選	1	
		疫学Ⅰ	必	1	
		疫学Ⅱ	選	1	
		保健統計学	選	2	
	力等の専門的発展	国際保健医療論	選	1	
		保健医療福祉専門職連携論	必	1	

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門分野	専門的能力の修得Ⅱ(専門的能力の基盤)	看護学原論	必	2	
		看護共通技術Ⅰ	必	1	
		看護共通技術Ⅱ	必	1	
		看護基礎技術Ⅰ	必	2	
		看護基礎技術Ⅱ	必	1	
		看護基礎技術Ⅲ	必	2	
		看護の展開	必	1	
		在宅看護学概論	必	1	
		在宅看護援助論Ⅰ	必	2	
		在宅看護援助論Ⅱ	必	1	
		地域看護学概論	必	2	
		地域看護活動論	必	2	
		感染看護論	選	1	
		リエゾン看護論	選	1	
	専門的能力の修得Ⅲ(対象の特殊性に即した専門的能力)	家族看護論	選	1	
		健康看護論	選	1	
		セクシュアリティ論	選	1	
		慢性期看護学概論	必	1	
		慢性期看護援助論	必	2	
		急性期看護学概論	必	1	
		急性期看護援助論	必	2	
		小児看護学概論	必	1	
		小児看護援助論	必	3	
		母性看護学概論	必	1	
		母性看護援助論Ⅰ	必	2	
		母性看護援助論Ⅱ	必	1	
		老年看護学概論	必	1	
		老年看護援助論Ⅰ	必	2	
		老年看護援助論Ⅱ	必	1	
	専門的能力の修得Ⅳ(医療施設における実践力)	精神看護学概論	必	1	
		精神看護援助論	必	3	
		学校看護論	選	1	
		産業看護論	選	2	
		クリティカルケア論	選	1	
		リハビリテーション看護論	選	1	
		緩和ケア論	選	1	
		認知症ケア論	選	1	
		遺伝看護	選	1	
		基礎看護学実習Ⅰ	必		1
		基礎看護学実習Ⅱ	必		2
		慢性期看護学実習	必		3
		急性期看護学実習	必		3
		小児看護学実習	必		2
		母性看護学実習	必		2
		老年看護学実習Ⅱ	必		3
		精神看護学実習	必		2
	Ⅴ(専門的能力の修得Ⅳの発展)	老年看護学実習Ⅰ	必		1
		在宅看護学実習	必		2
科目共通	専門的能力の発展	統合実習	必		2
		看護管理・看護情報学	必	1	
		看護研究Ⅰ	必	1	
		看護研究Ⅱ	必	1	
		領域別専門看護学演習	選	1	
		健康危機管理論	選	1	
		看護国際協力論	選	1	
		災害と看護活動	選	1	
		医療経営論	選	1	
		看護教育論	選	1	
		代替医療論	選	1	
		看護研究Ⅲ	選	1	
		国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-5-7 看護学科（保健師選択コース） 開設授業科目一覧（第21条第4項関係）
（令和2年度入学以降）

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命倫理	必	1	
	人間の理解	心理学	必	1	
		スポーツと健康	選	1	
		体育概論	選	1	
		人間工学	選	1	
		美術	選	1	
	他者との共生	コミュニケーション演習	必	1	
		人間関係論	必	1	
		家族社会学	必	1	
		法学	必	1	
		日本国憲法	選	2	
		国際文化論	選	1	
		コンピュータ入門Ⅰ	必	1	
		コンピュータ入門Ⅱ	選	1	
		生活文化論	選	1	
		英会話	選	1	
		医療英語	必	1	
		英語文献講読	選	1	
	専門的能力の基盤	ベトナム語	選	1	
		岩槻の文化とものづくり	選	1	
		AI・データ活用リテラシー	選	1	
		職業とキャリア形成	必	1	
		大学生入門	必	1	
		論理的思考と表現法	選	1	
		数学基礎	選	1	
		生物学基礎	選	1	
		化学基礎	選	1	
		物理学基礎	選	1	
		英語基礎	選	1	
		統計学	選	1	
専門基礎分野	人間の理解	生理学Ⅰ	必	1	
		生理学Ⅱ	必	1	
		生理学Ⅲ	必	2	
		解剖学Ⅰ	必	1	
		解剖学Ⅱ	必	1	
		生化学	必	1	
		栄養学	必	1	
	（健康とその障害を能力の修得Ⅰへの支援）	病理学概論	必	2	
		疾病と治療Ⅰ	必	2	
		疾病と治療Ⅱ	必	1	
		疾病と治療Ⅲ	必	1	
		疾病と治療Ⅳ	必	1	
		精神科学	必	1	
		薬理学	必	1	
		薬と健康	選	1	
		微生物学	必	1	
		老年医学	選	1	
		環境と健康	選	1	
		保健医療福祉行政論	必	2	
		社会保障制度論	必	2	
		生活福祉論	選	1	
		障害者福祉論	選	1	
		疫学Ⅰ	必	1	
		疫学Ⅱ	必	1	
		保健統計学	必	2	
	専門的能力の発展	国際保健医療論	選	1	
		保健医療福祉専門職連携論	必	1	
専門分野	専門的能力の修得Ⅱ（専門的能力の基盤）	看護学原論	必	2	
		看護共通技術Ⅰ	必	1	
		看護共通技術Ⅱ	必	1	
		看護基礎技術Ⅰ	必	2	
		看護基礎技術Ⅱ	必	1	
		看護基礎技術Ⅲ	必	2	
		看護の展開	必	1	
		在宅看護学概論	必	1	
		在宅看護援助論Ⅰ	必	2	
		在宅看護援助論Ⅱ	必	1	
		地域看護学概論	必	2	
		地域看護活動論	必	2	
		感染看護論	選	1	
		リエゾン看護論	選	1	
		家族看護論	選	1	
		健康看護論	必	1	
		セクシュアリティ論	選	1	
	専門的能力の修得Ⅲ（対象の特殊性に即した専門的能力）	慢性期看護学概論	必	1	
		慢性期看護援助論	必	2	
		急性期看護学概論	必	1	
		急性期看護援助論	必	2	
		小児看護学概論	必	1	
		小児看護援助論	必	3	
		母性看護学概論	必	1	
		母性看護援助論Ⅰ	必	2	
		母性看護援助論Ⅱ	必	1	
		老年看護学概論	必	1	
		老年看護援助論Ⅰ	必	2	
		老年看護援助論Ⅱ	必	1	
		精神看護学概論	必	1	
		精神看護援助論	必	3	
		公衆衛生看護技術論	必	2	
		公衆衛生看護活動論	必	2	
		公衆衛生看護管理論	必	1	
	専門的能力の修得Ⅳ（医療施設における実践力）	学校看護論	必	1	
		産業看護論	必	2	
		クリティカルケア論	選	1	
		リハビリテーション看護論	選	1	
		緩和ケア論	選	1	
		認知症ケア論	選	1	
		遺伝看護	選	1	
	V 専門的能力の修得（地域における実践力）	基礎看護学実習Ⅰ	必		1
		基礎看護学実習Ⅱ	必		2
		慢性期看護学実習	必		3
		急性期看護学実習	必		3
		小児看護学実習	必		2
専門的能力の発展	専門的能力の修得Ⅴ（国際的視野の獲得）	母性看護学実習	必		2
		老年看護学実習Ⅰ	必		3
		老年看護学実習Ⅱ	必		2
		精神看護学実習	必		2
		老年看護学実習Ⅰ	必		1
		在宅看護学実習	必		2
		統合実習	必		2
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	必		2
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	必		3
	専門的能力の発展	看護管理・看護情報学	必	1	
		看護研究Ⅰ	必	1	
		看護研究Ⅱ	必	1	
		領域別専門看護学演習	選	1	
		健康危機管理論	必	1	
科目共通	国際研修	看護国際協力論	選	1	
		災害と看護活動	選	1	
		医療経営論	選	1	
科目共通	ボランティア活動	看護教育論	選	1	
		代替医療論	選	1	
		看護研究Ⅲ	選	1	
科目共通	国際研修	国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-5-8 看護学科 開設授業科目一覧 (第21条 第4項関係)
(令和4年度入学以降)

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命倫理	必	1	
	人間の理解	心理学	必	1	
		スポーツと健康	選	1	
		体育概論	選	1	
		人間工学	選	1	
		美術	選	1	
	他者との共生	コミュニケーション演習	必	1	
		人間関係論	必	1	
		家族社会学	必	1	
		法学	必	1	
		日本国憲法	選	2	
		国際文化論	選	1	
		コンピュータ入門Ⅰ	必	1	
		コンピュータ入門Ⅱ	選	1	
		AI・データ活用リテラシー	必	1	
		生活文化論	選	1	
		英会話	選	1	
		医療英語	必	1	
		英語文献講読	選	1	
		ベトナム語	選	1	
		岩槻の文化とものづくり	選	1	
	専門的能力の基盤	職業とキャリア形成	必	1	
		大学生入門	必	1	
		論理的思考と表現法	選	1	
		数学基礎	選	1	
		生物学基礎	選	1	
		化学基礎	選	1	
		物理学基礎	選	1	
		英語基礎	選	1	
		統計学	選	1	
専門基礎分野	人間の理解	生理学Ⅰ	必	1	
		生理学Ⅱ	必	1	
		生理学Ⅲ	必	2	
		解剖学Ⅰ	必	1	
		解剖学Ⅱ	必	1	
		生化学	必	1	
		栄養学	必	1	
	(健康とその専門的能力の修得Ⅰへの支援)	病理学概論	必	2	
		疾病と治療総論	必	1	
		疾病と治療Ⅰ	必	2	
		疾病と治療Ⅱ	必	1	
		疾病と治療Ⅲ	必	1	
		疾病と治療Ⅳ	必	1	
		精神科学	必	1	
		薬理学	必	1	
		薬と健康	選	1	
		微生物学	必	1	
		老年医学	選	1	
		環境と健康	選	1	
		保健医療福祉行政論	必	2	
		社会保障制度論	必	2	
		生活福祉論	選	1	
		障害者福祉論	選	1	
		疫学Ⅰ	必	1	
		疫学Ⅱ	選	1	
		保健統計学	選	2	
	力等の専門的能力の修得Ⅱへの支援	国際保健医療論	選	1	
		保健医療福祉専門職連携論	必	1	
専門分野	専門的能力の修得Ⅱ(専門的能力の基盤)	看護学原論	必	2	
		看護共通技術Ⅰ	必	1	
		看護共通技術Ⅱ	必	1	
		看護基礎技術Ⅰ	必	2	
		看護基礎技術Ⅱ	必	1	
		看護基礎技術Ⅲ	必	2	
		看護の展開	必	2	
		在宅看護学概論	必	1	
		在宅看護援助論Ⅰ	必	2	
		在宅看護援助論Ⅱ	必	1	
		地域看護学概論	必	2	
		地域看護活動論	必	2	
		感染看護論	選	1	
		リエゾン看護論	選	1	
		家族看護学	必	1	
		健康看護論	選	1	
		セクシュアリティ論	選	1	
		慢性期看護学概論	必	1	
		慢性期看護援助論Ⅰ	必	1	
		慢性期看護援助論Ⅱ	必	1	
	専門的能力の修得Ⅲ(対象の特殊性に即した専門的能力)	急性期看護学概論	必	1	
		急性期看護援助論Ⅰ	必	1	
		急性期看護援助論Ⅱ	必	1	
		小児看護学概論	必	1	
		小児看護援助論Ⅰ	必	2	
		小児看護援助論Ⅱ	必	1	
		母性看護学概論	必	1	
		母性看護援助論Ⅰ	必	2	
		母性看護援助論Ⅱ	必	1	
		老年看護学概論	必	1	
		老年看護援助論Ⅰ	必	2	
		老年看護援助論Ⅱ	必	1	
		精神看護学概論	必	1	
		精神看護援助論Ⅰ	必	2	
		精神看護援助論Ⅱ	必	1	
		学校看護論	選	1	
		産業看護論	選	2	
		クリティカルケア論	選	1	
		リハビリテーション看護論	選	1	
		緩和ケア論	選	1	
		認知症ケア論	選	1	
		遺伝看護	選	1	
	専門的能力の修得Ⅳ(医療施設における実践力)	基礎看護学実習Ⅰ	必		1
		基礎看護学実習Ⅱ	必		2
		慢性期看護学実習	必		3
		急性期看護学実習	必		3
		小児看護学実習	必		2
	専門的能力の発展	母性看護学実習	必		2
		老年看護学実習Ⅱ	必		3
		精神看護学実習	必		2
		老年看護学実習Ⅰ	必		1
		在宅看護学実習	必		2
		統合実習	必		2
		看護管理・看護情報学	必	1	
		国際看護論	必	1	
		看護研究Ⅰ	必	1	
		看護研究Ⅱ	必	1	
		領域別専門看護学演習	選	1	
		健康危機管理論	選	1	
		看護国際協力論	選	1	
		災害と看護活動	選	1	
		医療経営論	選	1	
		看護教育論	選	1	
		代替医療論	選	1	
		看護研究Ⅲ	選	1	
科目共通		国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-5-9 看護学科（保健師選択コース） 開設授業科目一覧（第21条第4項関係）
(令和4年度入学以降)

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命倫理	必	1	
	人間の理解	心理学	必	1	
		スポーツと健康	選	1	
		体育概論	選	1	
		人間工学	選	1	
		美術	選	1	
	他者との共生	コミュニケーション演習	必	1	
		人間関係論	必	1	
		家族社会学	必	1	
		法学	必	1	
		日本国憲法	選	2	
		国際文化論	選	1	
		コンピュータ入門Ⅰ	必	1	
		コンピュータ入門Ⅱ	選	1	
		AI・データ活用リテラシー	必	1	
		生活文化論	選	1	
		英会話	選	1	
		医療英語	必	1	
		英語文献講読	選	1	
		ベトナム語	選	1	
		岩槻の文化とものづくり	選	1	
	専門的能力の基盤	職業とキャリア形成	必	1	
		大学生入門	必	1	
		論理的思考と表現法	選	1	
		数学基礎	選	1	
		生物学基礎	選	1	
		化学基礎	選	1	
		物理学基礎	選	1	
		英語基礎	選	1	
		統計学	選	1	
専門基礎分野	人体の理解	生理学Ⅰ	必	1	
		生理学Ⅱ	必	1	
		生理学Ⅲ	必	2	
		解剖学Ⅰ	必	1	
		解剖学Ⅱ	必	1	
		生化学	必	1	
		栄養学	必	1	
	(健康とその専門的能力の修得I 力専門的能力の修得II)	病理学概論	必	2	
		疾病と治療総論	必	1	
		疾病と治療Ⅰ	必	2	
		疾病と治療Ⅱ	必	1	
		疾病と治療Ⅲ	必	1	
		疾病と治療Ⅳ	必	1	
		精神科学	必	1	
		薬理学	必	1	
		薬と健康	選	1	
		微生物学	必	1	
		老年医学	選	1	
		環境と健康	選	1	
		保健医療福祉行政論	必	2	
		社会保障制度論	必	2	
		生活福祉論	選	1	
		障害者福祉論	選	1	
		疫学Ⅰ	必	1	
		疫学Ⅱ	必	1	
		保健統計学	必	2	
		国際保健医療論	選	1	
		保健医療福祉専門職連携論	必	1	

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門分野	専門的能力の修得Ⅱ（専門的能力の基盤）	看護学原論	必	2	
		看護共通技術Ⅰ	必	1	
		看護共通技術Ⅱ	必	1	
		看護基礎技術Ⅰ	必	2	
		看護基礎技術Ⅱ	必	1	
		看護基礎技術Ⅲ	必	2	
		看護の展開	必	2	
		在宅看護学概論	必	1	
		在宅看護援助論Ⅰ	必	2	
		在宅看護援助論Ⅱ	必	1	
		地域看護学概論	必	2	
		地域看護活動論	必	2	
		感染看護論	選	1	
		リエゾン看護論	選	1	
		家族看護学	必	1	
		健康看護論	必	1	
		セクシュアリティ論	選	1	
		慢性期看護学概論	必	1	
		慢性期看護援助論Ⅰ	必	1	
		慢性期看護援助論Ⅱ	必	1	
		急性期看護学概論	必	1	
		急性期看護援助論Ⅰ	必	1	
		急性期看護援助論Ⅱ	必	1	
		小児看護学概論	必	1	
		小児看護援助論Ⅰ	必	2	
		小児看護援助論Ⅱ	必	1	
		母性看護学概論	必	1	
		母性看護援助論Ⅰ	必	2	
		母性看護援助論Ⅱ	必	1	
		老年看護学概論	必	1	
		老年看護援助論Ⅰ	必	2	
		老年看護援助論Ⅱ	必	1	
		精神看護学概論	必	1	
		精神看護援助論Ⅰ	必	2	
		精神看護援助論Ⅱ	必	1	
		公衆衛生看護技術論	必	2	
		公衆衛生看護活動論	必	2	
		公衆衛生看護管理論	必	1	
		学校看護論	必	1	
		産業看護論	必	2	
		クリティカルケア論	選	1	
		リハビリテーション看護論	選	1	
		緩和ケア論	選	1	
		認知症ケア論	選	1	
		遺伝看護	選	1	
	専門的能力の修得Ⅲ（対象の特殊性に即した専門的能力）	基礎看護学実習Ⅰ	必		1
		基礎看護学実習Ⅱ	必		2
		慢性期看護学実習	必		3
		急性期看護学実習	必		3
		小児看護学実習	必		2
		母性看護学実習	必		2
		老年看護学実習Ⅰ	必		3
		精神看護学実習	必		2
	V（地域における実践）	老年看護学実習Ⅱ	必		1
		在宅看護学実習	必		2
		統合実習	必		2
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	必		2
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	必		3
	専門的能力の発展	看護管理・看護情報学	必	1	
		国際看護論	必	1	
		看護研究Ⅰ	必	1	
		看護研究Ⅱ	必	1	
		領域別専門看護学演習	選	1	
		健康危機管理論	必	1	
		看護国際協力論	選	1	
		災害と看護活動	選	1	
		医療経営論	選	1	
		看護教育論	選	1	
		代替医療論	選	1	
		看護研究Ⅲ	選	1	
	科共通	国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-6-1 リハビリテーション学科理学療法学専攻 開設授業科目一覧（第21条第5項関係）
（削除）

別表第2-6-2 リハビリテーション学科理学療法学専攻 開設授業科目一覧（第21条第5項関係）
（平成28年度入学以降）

分野		授業科目名	単位数		
			必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習
基礎 分野	コア	心身健康科学概論	必	1	
		行動科学概論	必	1	
		生命科学概論	必	1	
		文明科学概論	必	1	
		生命倫理	必	1	
	人間と社会	人間工学	選	1	
		統計学	必	1	
		スポーツと健康	選	1	
		体育概論	選	1	
		家族社会学	選	1	
		法学	選	1	
		人間関係論	選	1	
		心理学	選	1	
		国際文化論	選	1	
		生活文化論	選	1	
		医療英語	必	1	
		オーラルコミュニケーション	選	1	
		英語文献講読	選	1	
	U H A S セ ミ ナ ー	職業とキャリア形成	必	1	
		論理的思考と表現法	必	1	
		コミュニケーション演習	必	1	
		コンピュータ入門	必	2	
		数学基礎	選	1	
		生物学基礎	選	1	
		化学基礎	選	1	
		物理学基礎	必	1	
専門 基礎 分野	人体の 構造と機能	機能形態学1（生理学基礎Ⅰ（ホメオスタシス・腎））	必	1	
		機能形態学3（循環器系・呼吸器系Ⅰ）	必	1	
		機能形態学5（神経系・運動器系・感覚器Ⅰ）	必	1	
		機能形態学6（神経系・運動器系・感覚器Ⅱ）	必	1	
		機能形態学7（消化器系・代謝・内分泌Ⅰ）	必	1	
		機能形態学8（消化器系・代謝・内分泌Ⅱ）	必	1	
		機能形態学9（神経系・運動器系解剖学）	必	2	
		機能形態学10（解剖学実習）	必		2
		機能形態学11（運動学）	必	2	
		機能形態学12（運動学実習）	必		1
		機能形態学13（人間発達学）	必	1	
		機能形態学16（生理学実習）	必		1
	疾病の 成り立ち	疾病と治療1（病理学概論Ⅰ）	必	1	
		疾病と治療2（病理学概論Ⅱ）	必	1	
		疾病と治療3（一般臨床医学）	必	1	
		疾病と治療4（神経内科学）	必	1	
		疾病と治療5（整形外科学）	必	2	
		疾病と治療6（臨床心理学）	必	1	
		疾病と治療8（精神科学）	必	1	
		疾病と治療9（理学療法内科学）	必	1	
		疾病と治療10（理学療法神経内科学）	必	1	
		疾病と治療11（薬理学）	選	1	
		疾病と治療21（老年医学）	選	1	
		疾病と治療25（感染予防・消毒法）	必	1	
		疾病と治療26（緩和医療）	必	1	
		疾病と治療27（理学療法小児科学）	必	1	
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション1（リハビリテーション概論）	必	1	
		公衆衛生学	必	1	
		社会福祉学	必	1	
		リハビリテーション4（作業療法学）	必	1	
		リハビリテーション5（言語聴覚学）	必	1	
		保健医療福祉専門職連携論	必	1	
		国際保健医療論	選	1	
		看護学	選	1	
		栄養学	選	1	

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門 分野	基礎 理学療法学	理学療法概論	必	2	
		基礎理学療法学	必	2	
		理学療法学総合演習Ⅰ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅱ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅲ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅳ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅴ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅵ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅶ	必	2	
		理学療法管理と運営	必	1	
		理学療法指導論	必	1	
		理学療法学研究法	必	2	
		卒業研究Ⅰ	選	1	
		卒業研究Ⅱ	選	2	
	理学療法 評価学	表面解剖と触診法	必	1	
		理学療法評価学	必	2	
		理学療法評価学実習Ⅰ	必		1
		理学療法評価学実習Ⅱ	必		1
		理学療法評価学演習	必	2	
	理学療法 治療学	生体計測と運動分析	選	2	
		運動療法学	必	2	
		運動療法学実習	必		1
		物理療法学	必	2	
		物理療法学実習	必		1
		義肢装具学	必	2	
		義肢装具学実習	必		1
		急性期理学療法学	必	2	
		徒手理学療法技術学	選	2	
		骨関節系理学療法学	必	2	
		骨関節系理学療法学実習	必		1
	療 理 学 地 域 学 臨床 実習 科 共 通	神経系理学療法学	必	2	
		神経系理学療法学実習	必		2
		小児理学療法学	必	2	
		循環器系理学療法学	必	1	
		呼吸器系理学療法学	必	1	
		代謝系理学療法学	必	1	
		スポーツ理学療法学	選	2	
		日常生活活動	必	2	
		地域理学療法学	必	2	
		生活環境学	必	2	
		健康増進と予防理学療法	選	2	
		理学療法見学実習	必		1
		理学療法評価学臨床実習	必		3
		総合臨床実習Ⅰ	必		7
		総合臨床実習Ⅱ	必		7
		国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-6-3 リハビリテーション学科理学療法学専攻 開設授業科目一覧（第21条第5項関係）
（令和2年度入学以降）

分野		授業科目名	単位数		
			必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命倫理	必	1	
	人間の理解	心理学	選	1	
		スポーツと健康	選	1	
		美術	選	1	
	他者との共生	コミュニケーション演習	必	1	
		人間関係論	選	1	
		倫理学	必	1	
		法学	選	1	
		国際文化論	選	1	
		教育学	必	1	
		コンピュータ入門	必	1	
		英会話	選	1	
		医療英語	必	1	
		英語文献講読	選	1	
		ベトナム語	選	1	
		岩槻の文化とものづくり	選	1	
		AI・データ活用リテラシー	選	1	
	専門的能力の基盤	職業とキャリア形成	必	1	
		論理的思考と表現法	必	1	
		数学基礎	選	1	
		生物学基礎	選	1	
		化学基礎	選	1	
		物理学基礎	必	1	
		英語基礎	選	1	
		統計学	必	1	
専門基礎分野		生理学Ⅰ	必	1	
		生理学Ⅱ	必	1	
		生理学Ⅲ	必	1	
		生理学実習	必		2
		解剖学Ⅰ	必	2	
		解剖学Ⅱ	必	1	
		解剖学実習	必		2
		運動学	必	2	
		運動学実習	必		1
		人間発達学	必	1	
		栄養学	必	1	
		医学概論	必	1	
		病理学	必	1	
		内科学	必	1	
		神経内科学Ⅰ	必	1	
		神経内科学Ⅱ	必	1	
		整形外科学	必	2	
		小児科学	必	1	
		老年医学	必	1	
		精神科学	必	1	
	専門的能力の修得	緩和医療学	必	1	
		臨床心理学	選	1	
		消毒法・感染症・救急救命	必	1	
		人間工学	必	1	
		医用画像学概論	必	1	
		薬理学	必	1	
		リハビリテーション概論	必	1	
		公衆衛生学	必	1	
		看護学	選	1	
		作業療法学	必	1	
	専門的能力の発展	言語聴覚療法学	必	1	
		国際保健医療論	選	1	
		保健医療福祉専門職連携論	必	1	
専門分野	専門的能力の修得	基礎理学療法学	必	1	
		表面解剖と触診法	必	1	
		理学療法評価学	必	1	
		理学療法評価学演習Ⅰ	必	2	
		理学療法評価学演習Ⅱ	必	2	
		理学療法画像評価学	必	1	
		生体計測と運動分析	選	1	
		理学療法臨床推論	必	1	
		運動療法学	必	1	
		運動療法学演習	必	1	
		物理療法学	必	1	
		物理療法学演習	必	2	
		義肢装具学	必	1	
		義肢装具学演習	必	2	
		骨関節系理学療法学	必	1	
		骨関節系理学療法学演習	必	2	
		神経系理学療法学	必	1	
		神経系理学療法学演習	必	2	
		呼吸器系理学療法学	必	1	
		循環器系理学療法学	必	1	
		代謝系および循環器療法	必	1	
		小児理学療法学	必	1	
		小児理学療法学演習	必	1	
		急性期理学療法学	必	1	
		スポーツ理学療法学	選	1	
		日常生活活動学	必	2	
		地域理学療法学	必	1	
		生活環境学	必	1	
		健康増進と予防理学療法	選	1	
		理学療法学総合演習Ⅰ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅱ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅲ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅳ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅴ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅵ	必	1	
		理学療法学総合演習Ⅶ	必	2	
		理学療法学見学実習	必		1
		理学療法評価学臨床実習	必		4
		総合臨床実習Ⅰ	必		8
		総合臨床実習Ⅱ	必		8
		地域理学療法学臨床実習	必		1
	専門的能力の発展	理学療法管理	必	1	
		理学療法指導論	必	1	
		医療経営論	選	1	
		医療安全学	必	1	
		徒手理学療法技術学	必	1	
		理学療法特論Ⅰ	選	1	
		理学療法特論Ⅱ	選	1	
		理学療法学研究法	必	1	
		卒業研究Ⅰ	選	1	
		卒業研究Ⅱ	選	2	
	科共通	国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第2-7-1 リハビリテーション学科義肢装具学専攻 開設授業科目一覧
(削除)

(第21条 第6項関係)

別表第2-7-2 リハビリテーション学科義肢装具学専攻 開設授業科目一覧
(平成28年度入学以降)

(第21条 第6項関係)

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎分野	コア	心身健康科学概論	必	1	
		行動科学概論	必	1	
		生命科学概論	必	1	
		文明科学概論	必	1	
		生命倫理	必	1	
	人間と社会	人間工学	選	1	
		統計学	必	1	
		スポーツと健康	選	1	
		体育概論	選	1	
		家族社会学	選	1	
		法学	選	1	
		人間関係論	選	1	
		心理学	選	1	
		国際文化論	選	1	
		生活文化論	選	1	
		医療英語	必	1	
		オーラルコミュニケーション	選	1	
		英語文献講読	選	1	
	セミナー	職業とキャリア形成	必	1	
		論理的思考と表現法	必	1	
		コミュニケーション演習	必	1	
		コンピュータ入門	必	2	
		数学基礎	選	1	
		生物学基礎	選	1	
		化学基礎	選	1	
		物理学基礎	必	1	
		英語基礎	選	1	
専門基礎分野	人体の構造と機能	機能形態学1 (生理学基礎Ⅰ (ホメオスタシス・腎))	必	1	
		機能形態学3 (循環器系・呼吸器系Ⅰ)	必	1	
		機能形態学5 (神経系・運動器系・感覚器Ⅰ)	必	1	
		機能形態学6 (神経系・運動器系・感覚器Ⅱ)	必	1	
		機能形態学7 (消化器系・代謝・内分泌Ⅰ)	必	1	
		機能形態学8 (消化器系・代謝・内分泌Ⅱ)	必	1	
		機能形態学9 (神経系・運動器系解剖学)	必	2	
		機能形態学10 (解剖学実習)	必		2
		機能形態学11 (運動学)	必	2	
		機能形態学12 (運動学実習)	必		1
		機能形態学13 (人間発達学)	必	1	
		機能形態学17 (機能解剖学)	必	2	
	疾病の成り立ち	疾病と治療1 (病理学概論Ⅰ)	必	1	
		疾病と治療2 (病理学概論Ⅱ)	必	1	
		疾病と治療3 (一般臨床医学)	必	1	
		疾病と治療4 (神経内科学)	必	1	
		疾病と治療5 (整形外科学)	必	2	
		疾病と治療6 (臨床心理学)	必	1	
		疾病と治療7 (皮膚科学)	必	1	
		疾病と治療21 (老年医学)	選	1	

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門基礎分野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	社会福祉学	必	1	
		公衆衛生学	必	1	
		リハビリテーション2(リハビリテーション医学)	必	1	
		リハビリテーション3(理学療法)	必	1	
		リハビリテーション4(作業療法)	必	1	
		看護学	選	1	
		栄養学	選	1	
		国際保健医療論	選	1	
		保健医療福祉専門職連携論	必	1	
		福祉用具学	必	1	
		福祉用具学演習	必	1	
		義肢装具関係法規	必	1	
	義肢装具の技術	図学・製図学	必	1	
		義肢装具材料学	必	1	
		義肢装具材料力学	必	1	
		情報処理演習	必	2	
		機構学	必	1	
		機械要素設計	必	1	
		制御工学	必	1	
		システム工学	必	1	
		リハビリテーション工学	必	1	
専門分野	基礎義肢装具学	義肢装具学概論	必	2	
		義肢装具工作論	必	2	
		義肢装具工作実習	必		6
		下腿義足Ⅰ	必	1	
		下腿義足実習Ⅰ	必		5
		体幹装具	必	1	
		体幹装具実習	必		3
		義肢装具学基礎演習Ⅰ	必	1	
		義肢装具学基礎演習Ⅱ	必	2	
		見学実習Ⅰ	必		1
	応用義肢装具学	下肢装具Ⅰ	必	1	
		下肢装具実習Ⅰ	必		5
		大腿義足	必	1	
		大腿義足実習	必		5
		下腿義足実習Ⅱ	必		1
		下肢装具実習Ⅱ	必		1
		上肢装具	必	1	
		上肢装具実習	必		3
		義手	必	1	
		義手実習	必		3
		靴型装具	必	1	
		車いす・シーティング	必	2	
		特殊義足	選	1	
		特殊装具	選	1	
		義肢装具特論	選	1	
		義肢装具学総合演習Ⅰ	必	2	
		義肢装具学総合演習Ⅱ	必	2	
		見学実習Ⅱ	必		1
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	必		4
		臨床実習Ⅱ	必		4
	卒業研究	研究手法演習	必	1	
		卒業研究	必	2	
	共通科目	国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

(第21条 第6項関係)

				単位数	
分野		授業科目名	必修・ 選択の別	講義・ 演習	実験・ 実習
専門基礎分野	専門的 能力の 発展	図学・製図学	必	1	
		機構学	必	1	
		機械要素設計	必	1	
		義肢装具材料学	必	1	
		義肢装具材料力学	必	1	
		制御工学	必	1	
		システム工学	必	1	
		人間工学	必	1	
		リハビリテーション工学	必	1	
		義肢装具関係法規	必	1	
		国際保健医療論	選	1	
保健医療福祉専門職連携論	必	1			
専門分野	専門的 能力の 修得	義肢装具学概論Ⅰ	必	1	
		義肢装具学概論Ⅱ	必	1	
		義肢装具製作技術入門	必	8	
		義肢装具学総合演習Ⅰ	必	2	
		義肢装具学総合演習Ⅱ	必	2	
		義手学	必	4	
		義足学Ⅰ	必	6	
		義足学Ⅱ	必	6	
		股義足学	選	1	
		体幹装具学	必	4	
		上肢装具学	必	4	
		下肢装具学	必	6	
	専門的 能力の 発展	フットウエア	必	2	
		小児装具学	選	1	
		福祉用具学	必	2	
		車椅子・シーティング	必	2	
		最新の義肢装具・支援機器	選	1	
		義肢装具技能試験	必		2
		見学実習Ⅰ	必		1
		見学実習Ⅱ	必		1
		臨床実習Ⅰ	必		4
		臨床実習Ⅱ	必		4
研究手法演習	必	1			
卒業研究	必	2			
共通 科目	国際研修	選		1	
	ボランティア活動	選		1	

別表第2-7-4 リハビリテーション学科義肢装具学専攻 開設授業科目一覧

(令和6年度入学以降)

(第21条 第6項関係)

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
基礎 分野	コア	心身健康科学	必	1	
		ヒューマンⅠ	必	1	
		ヒューマンⅡ	必	1	
		ヒューマンⅢ	必	1	
		生命倫理	必	1	
	人間の 理解	心理学	選	1	
		スポーツと健康	選	1	
		美術	選	1	
	他者との 共生	コミュニケーション演習	必	1	
		人間関係論	選	1	
		倫理学	必	1	
		法学	選	1	
		国際文化論	選	1	
		コンピュータ入門	必	1	
		英会話	選	1	
		医療英語	選	1	
		英語文献講読	選	1	
		ベトナム語	選	1	
		岩槻の文化とものづくり	選	1	
		AI・データ活用リテラシー	選	1	
	専門的 能力の 基盤	職業とキャリア形成	必	1	
		論理的思考と表現法	必	1	
		数学基礎	選	1	
		生物学基礎	選	1	
		物理学基礎	選	1	
		英語基礎	選	1	
		統計学	必	1	
		情報処理演習	必	2	
専門 基礎 分野	専門的 能力の 修得	生理学Ⅰ	必	1	
		生理学Ⅱ	必	1	
		生理学Ⅲ	必	1	
		生理学実習	必		2
		解剖学Ⅰ	必	2	
		解剖学Ⅱ	必	1	
		解剖学実習	必		2
		運動学	必	2	
		運動学実習	必		1
		人間発達学	必	1	
		栄養学	選	1	
		医学概論	必	1	
		病理学	必	1	
		機能解剖学	必	2	
	専門的 能力の 修得	神経内科学	必	1	
		整形外科学	必	2	
		皮膚科学	必	1	
		老年医学	必	1	
		社会福祉学	必	1	
		臨床心理学	必	1	
		公衆衛生学	必	1	
		リハビリテーション医学Ⅰ	必	2	
		リハビリテーション医学Ⅱ	必	1	
		看護学	選	1	
		義肢装具学基礎演習Ⅰ	必	1	
		義肢装具学基礎演習Ⅱ	必	2	

分野		授業科目名	必修・ 選択の別	単位数	
				講義・ 演習	実験・ 実習
専門 基礎 分野	専門的 能力の 発展	図学・製図学	必	1	
		機構学	必	1	
		機械要素設計	必	1	
		義肢装具材料学	必	1	
		義肢装具材料力学	必	1	
		制御工学	必	1	
		システム工学	必	1	
		人間工学	必	1	
		リハビリテーション工学	必	1	
		義肢装具関係法規	必	1	
		国際保健医療論	選	1	
		保健医療福祉専門職連携論	必	1	
	専門的 能力の 修得	義肢装具学概論Ⅰ	必	1	
		義肢装具学概論Ⅱ	必	1	
		義肢装具製作技術入門	必	8	
		義肢装具学総合演習Ⅰ	必	2	
		義肢装具学総合演習Ⅱ	必	2	
		義手学	必	4	
		義足学Ⅰ	必	6	
		義足学Ⅱ	必	6	
		股義足学	選	1	
		体幹装具学	必	4	
専門 基礎 分野	専門的 能力の 発展	上肢装具学	必	4	
		下肢装具学	必	6	
		フットウェア	必	2	
		小児装具学	選	1	
		福祉用具学	必	2	
		車椅子・シーティング	必	2	
		最新の義肢装具・支援機器	選	1	
		義肢装具技能試験	必		2
		見学実習	必		1
		臨床実習Ⅰ	必		2
		臨床実習Ⅱ	必		4
		臨床実習Ⅲ	必		4
		研究手法演習	必	1	
		卒業研究	必	2	
	共通 科目	国際研修	選		1
		ボランティア活動	選		1

別表第3-1-1 心身健康科学科の卒業の要件（第32条関係）

区分 授業科目の種類	卒業に必要な最低単位数 () は、そのうち スクーリングにより 必要な最低単位数	単位の修得上の要件 及び認定方法
基礎科目	1 (1)	1 単位以上を修得
専門科目	18 (8)	18 単位以上を修得
コア科目		
統合科目	6	6 単位以上を修得
分野別科目	こころ・精神の理解 4	4 単位以上を修得
	からだ・保健の理解 4	4 単位以上を修得
	文化・社会の理解 4	4 単位以上を修得
総合演習	8 (4)	8 単位以上を修得
教職課程	—	—
看護教員養成プログラム	—	—
合 計	上記を含めて 124 (30)	—

別表第3-1-2 心身健康科学科の卒業の要件（第32条関係）
人間科学部心身健康科学科（平成31年度入学以降）

区分 授業科目の種類	卒業に必要な最低単位数 () は、そのうち スクーリングにより 必要な最低単位数	単位の修得上の要件 及び認定方法
基礎科目	1 (1)	1 単位以上を修得
専門科目	10 (4)	10 単位以上を修得
コア科目		
分野別科目	統合Ⅰ 8 (4)	8 単位以上を修得
	統合Ⅱ 8 (2)	8 単位以上を修得
	統合Ⅲ 8 (2)	8 単位以上を修得
	統合Ⅳ 2	2 単位以上を修得
総合演習	8 (4)	8 単位以上を修得
教職課程	—	—
看護教員養成プログラム	—	—
合 計	上記を含めて 124 (30)	—

別表第3-1-3 看護教員養成コースの卒業の要件（第32条関係）

区分			合計	左の内訳	
				看護教員養成プログラムで履修する単位数	看護教員養成プログラムの他に履修する必要がある単位数 (括弧内はスクーリングでの修得単位数)
基礎科目		必修	1 (1)	—	1 (1)
コア科目		必修	18 (9)	—	18 (9)
統合科目		選択必修	6以上	1	5以上
分野別科目	こころ・精神の理解	選択必修	4以上	3	1以上
	からだ・保健の理解	選択必修	4以上	—	4以上
	文化・社会の理解	選択必修	6以上	6	—
総合演習		必修	8 (4)	—	8 (4)
教職課程科目		必修	2	2	—
看護教員養成プログラム（専門分野）		必修	24	—	—
単位数合計			73単位以上	36単位	37単位以上

別表第3-1-4 心身健康科学科の卒業の要件（第32条関係）
人間科学部心身健康科学科（令和4年度入学以降）

授業科目の種類	区分	卒業に必要な最低単位数 () は、そのうち スクーリングにより 必要な最低単位数	単位の修得上の要件 及び認定方法
基本科目		1 (1)	1 単位以上を修得
専門科目	コア科目	10 (4)	10 単位以上を修得
	分野別科目	こころとからだの関係 8 (4)	8 単位以上を修得
		いのちと健康のしくみ 8 (2)	8 単位以上を修得
		環境・社会と人間 8 (2)	8 単位以上を修得
		未来と人間 2	2 単位以上を修得
	総合演習	8 (4)	8 単位以上を修得
教職課程		—	—
看護教員養成プログラム		—	—
合 計		上記を含めて 124 (30)	—

別表第3-1-5 看護教員養成コースの卒業の要件（第32条関係）（令和4年度入学以降）

区分		合計	左の内訳	
			看護教員養成プログラムで履修する単位数	看護教員養成プログラムの他に履修する必要がある単位数 (括弧内はスクーリングでの修得単位数)
基本科目	必修	1 (1)	—	1 (1)
専門科目	コア科目	10 (4)	—	10 (4)
	分野別科目	こころとからだの関係 8 (4)	—	8 (4)
		いのちと健康のしくみ 8 (2)	—	8 (2)
		環境・社会と人間 8 (2)	—	8 (2)
		未来と人間 2	—	2
	総合演習	8 (4)	—	8 (4)
	看護教員養成プログラム	33 (14)	33 (14)	—
	単位数合計	78単位以上	33単位	45単位以上

別表第3-2 健康栄養学科の卒業の要件（第32条関係）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	26	1
専門基礎分野	32	10
専門分野	40	13
小計	98	24
合計	上記を含めて130	

別表第3-2-2 健康栄養学科の卒業の要件（第32条関係）
（平成28年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	27	1
専門基礎分野	34	10
専門分野	38	14
小計	99	25
合計	上記を含めて130	

別表第3-2-3 健康栄養学科の卒業の要件（第32条関係）
（平成31年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	27	1
専門基礎分野	34	10
専門分野	38	14
小計	99	25
合計	上記を含めて130	

別表第3-2-4 健康栄養学科の卒業の要件（第32条関係）
（令和2年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	26	4
専門基礎分野	34	10
専門分野	38	14
小計	98	28
合計	上記を含めて130	

別表第3-3 ヘルスフードサイエンス学科の卒業の要件（第32条関係）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	28	1
専門基礎分野	14	4
専門分野	16	0
小計	58	5
合計	上記を含めて130	

別表第3-3-2 ヘルスフードサイエンス学科の卒業の要件（第32条関係）
（平成30年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	30	1
専門基礎分野	28	6
専門分野	26	9
小計	84	16
合計	上記を含めて130	

別表第3-3-3 ヘルスフードサイエンス学科の卒業の要件（第32条関係）
（平成31年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	31	1
専門基礎分野	28	6
専門分野	26	9
小計	85	16
合計	上記を含めて130	

別表第 3－4－1 看護学科の卒業の要件（第 3 2 条関係）
（削除）
別表第 3－4－2 看護学科の卒業の要件（第 3 2 条関係）
（削除）（平成 2 4 年度入学以降）
別表第 3－4－3 看護学科（保健師選択コース）の卒業の要件（第 3 2 条関係）
（削除）

別表第 3－4－4 看護学科の卒業の要件（第 3 2 条関係）
（平成 2 8 年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	14	－
専門基礎分野	27	－
専門分野	46	23
小 計	87	23
合 計	上記を含めて 1 2 8	

別表第 3－4－5 看護学科（保健師選択コース）の卒業の要件（第 3 2 条関係）
（平成 2 8 年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	14	－
専門基礎分野	29	－
専門分野	56	28
小 計	99	28
合 計	上記を含めて 1 3 2	

別表第 3－4－6 看護学科の卒業の要件（第 3 2 条関係）
（令和 2 年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	14	－
専門基礎分野	24	－
専門分野	43	23
小 計	81	23
合 計	上記を含めて 1 2 4	

別表第 3－4－7 看護学科（保健師選択コース）の卒業の要件（第 3 2 条関係）
（令和 2 年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	14	－
専門基礎分野	27	－
専門分野	53	28
小 計	94	28
合 計	上記を含めて 1 2 8	

別表第 3－4－8 看護学科の卒業の要件（第 3 2 条関係）
（令和 4 年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	15	－
専門基礎分野	25	－
専門分野	46	23
小 計	86	23
合 計	上記を含めて 1 2 4	

別表第 3－4－9 看護学科（保健師選択コース）の卒業の要件（第 3 2 条関係）
（令和 4 年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	15	－
専門基礎分野	28	－
専門分野	56	28
小 計	99	28
合 計	上記を含めて 1 2 8	

別表第3-5-1 リハビリテーション学科理学療法学専攻の卒業の要件（第32条関係）
（削除）

別表第3-5-2 リハビリテーション学科理学療法学専攻の卒業の要件（第32条関係）
（平成28年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	13	—
専門基礎分野	30	4
専門分野	44	26
小 計	87	30
合 計	上記を含めて124	

別表第3-5-3 リハビリテーション学科理学療法学専攻の卒業の要件（第32条関係）
（令和2年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	14	—
専門基礎分野	30	5
専門分野	46	22
小 計	90	27
合 計	上記を含めて124	

別表第3-6-1 リハビリテーション学科義肢装具学専攻の卒業の要件（第32条関係）
（削除）

別表第3-6-2 リハビリテーション学科義肢装具学専攻の卒業の要件（第32条関係）
（平成28年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	13	—
専門基礎分野	40	3
専門分野	23	42
小 計	76	45
合 計	上記を含めて124	

別表第3-6-3 リハビリテーション学科義肢装具学専攻の卒業の要件（第32条関係）
（令和2年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	13	0
専門基礎分野	37	5
専門分野	53	12
小 計	103	17
合 計	上記を含めて124	

別表第3-6-4 リハビリテーション学科義肢装具学専攻の卒業の要件（第32条関係）
（令和6年度入学以降）

授業形態 授業科目の分野	講義・演習の 必修科目 単位数	実験・実習の 必修科目 単位数
基礎分野	13	—
専門基礎分野	38	5
専門分野	53	13
小 計	104	18
合 計	上記を含めて126	

別表第4 学部、学科及び専攻の教育研究上の目的（第1条の2関係）

人間科学部	人間に対する深淵な教養を基に、自立と共生の精神をもって、人々の食と栄養、心身の健康に関する多様な職業や社会の発展に貢献できる人材の育成を目的とする。
心身健康科学科	「こころ」「からだ」「環境・社会」の側面から、科学的な「人間の総合的理解」「心身の相関性の理解」を基盤に、心身ともに健康で豊かに暮らせる社会構築を支援できる人材の養成を目的とする。
健康栄養学科	「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を基盤に、人間・生活と「栄養・食」との係りを科学的・統合的視点から追求し、健康や医療に係る様々な場面において、管理栄養士として活躍できる人材の養成を目的とする。
ヘルスフードサイエンス学科	「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を基盤に、「食」と「栄養」に関する科学と「フードビジネス」について幅広く学び、健康で豊かに暮らすことができる社会を創造できる人材の養成を目的とする。
保健医療学部	人間に対する深淵な教養を基に、自立と共生の精神をもって、保健医療に関する職業や社会の発展に貢献できる人材の育成を目的とする。
看護学科	「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を基盤に、看護学の基礎的な知識と実践応用能力を修得し、生涯にわたり看護師に必要な資質と能力を身につけ、関連職種と連携・協働しながら、人々の健康の維持・増進、疾病の予防を支援する人材の養成を目的とする。
リハビリテーション学科 理学療法学専攻	「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を基盤に、理学療法学の基礎的な知識と実践応用能力を修得し、理学療法士に必要な資質と能力を身につけ、関連職種と連携・協働しながら、運動機能や生活機能の回復、日常生活動作の改善を支援する人材の養成を目的とする。
リハビリテーション学科 義肢装具学専攻	「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を基盤に、義肢装具学の基礎的な知識と実践応用能力を修得し、義肢装具士に必要な資質と能力を身につけ、関連職種と連携・協働しながら、身体に適合する義肢・装具や福祉用具の提供をもって、人々の生活を支援する人材の養成を目的とする。

人間総合科学大学学則の変更事項を記載した書類

1. 学則変更の事由

人間科学部の「心身健康科学科」(通信教育課程)、「健康栄養学科」、「ヘルスフードサイエンス学科」の定員の適正化を図るため収容定員を減員することに伴う所要の改定。

2. 変更点

- (1) 第3条第1項の表中、「人間科学部」の「心身健康科学科」の入学定員を250名減員して「250名」とし、収容定員を「1,000名」とする。
- (2) 第3条第1項の表中、「人間科学部」の「健康栄養学科」の入学定員を40名減員して「40名」とし、収容定員を「160名」とする。
- (3) 第3条第1項の表中、「人間科学部」の「ヘルスフードサイエンス学科」の入学定員を45名減員して「15名」とし、収容定員を「60名」とする。

3. 変更時期

令和7年4月1日

人間総合科学大学 学則 新旧対照表（案）

新			旧		
（学部・学科及び収容定員） 第3条 本大学に、次の学部及び学科を置き、その収容定員を次のとおりとする。			（学部・学科及び収容定員） 第3条 本大学に、次の学部及び学科を置き、その収容定員を次のとおりとする。		
学 部 ・ 学 科	入 学 定 員	収 容 定 員	学 部 ・ 学 科	入 学 定 員	収 容 定 員
人間科学部			人間科学部		
心身健康科学科 通信教育課程	<u>250 名</u>	<u>1,000 名</u>	心身健康科学科 通信教育課程	<u>500 名</u>	<u>2,000 名</u>
健康栄養学科	<u>40 名</u>	<u>160 名</u>	健康栄養学科	<u>80 名</u>	<u>320 名</u>
ヘルスフードサイエンス学科	<u>15 名</u>	<u>60 名</u>	ヘルスフードサイエンス学科	<u>60 名</u>	<u>240 名</u>
保健医療学部			保健医療学部		
看護学科	90 名	360 名	看護学科	90 名	360 名
リハビリテーション学科			リハビリテーション学科		
理学療法学専攻	50 名	200 名	理学療法学専攻	50 名	200 名
義肢装具学専攻	30 名	120 名	義肢装具学専攻	30 名	120 名

人間総合科学大学 人間科学部の収容定員変更に係る
学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

ア 学則変更（収容定員変更）の内容	2
イ 学則変更（収容定員変更）の必要性	2
ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	4
（ア）教育課程の変更内容	
（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容	
（ウ）教員組織の変更内容	
（エ）大学全体の施設・設備の変更内容	

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

今回の届出による学則変更により、人間総合科学大学人間科学部（以下、本学部という）が設置する3学科について、入学定員・収容定員を305名・1220名に減員する。各学科の内訳は次の通りである。

人間科学部の入学定員・収容定員

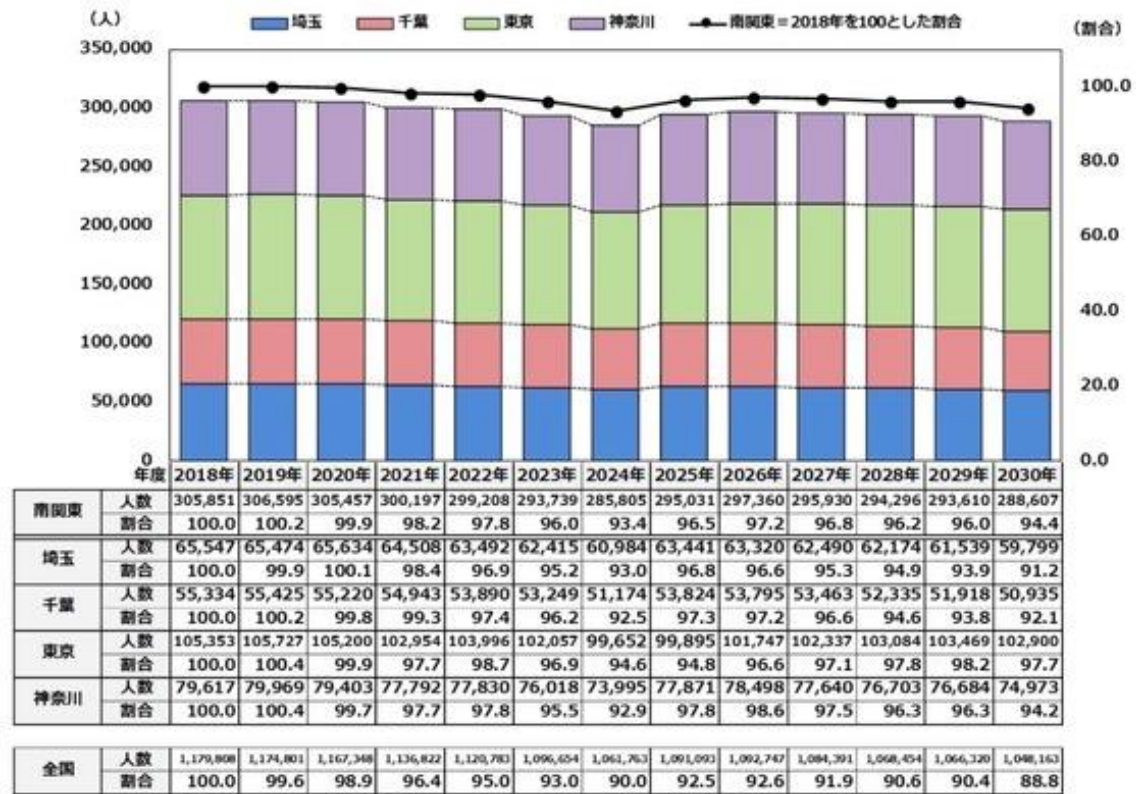
		令和6年度 (現行)	変更後
健康栄養学科	入学定員	80	40
	収容定員	320	160
ヘルスフードサイエンス学科	入学定員	60	15
	収容定員	240	60
心身健康科学科 (通信教育課程)	入学定員	500	250
	収容定員	2000	1000

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

18歳人口の長期的動向（平成30（2018）年から令和12（2030）年までの13年間）について、平成30（2018）年（1,179,808名）と令和12（2030）年（1,048,163名）の人口増減率を算出すると0.89倍となり、減少傾向である（図1）。また、中期的動向（令和7（2025）年から令和11（2029）年までの5年間）を確認すると、令和7年（2025）年と令和11（2029）年の比較において、人口増減率は0.98倍である。さら埼玉県について同様の方法で確認すると、長期的な人口増減率は0.91倍であり、中期的な人口増減率は0.97倍である。18歳人口の長期的、中期的動向は、全国的にも本学部所在地の埼玉県においても減少傾向にある。

図 1

18歳人口予測(全体：南関東：2018～2030年)



※リクルート進学総研：<https://resemom.jp/article/2019/02/01/48892.html>

一方で、健康栄養学科、ヘルスフードサイエンス学科の競合となる大学（埼玉県に所在する家政系学部を有する大学）は、令和 5（2023）年 4 月時点で 6 大学であるが、令和 6（2024）年度から 7 大学に増えている。また、心身健康科学科と競合する通信制大学の状況については、令和 7（2025）年 4 月設置認可申請した新たな通信教育課程は 3 大学 3 学部であり、「2025 年 4 月に開設予定の通信教育課程の大学設置、学部設置の認可申請分は、2023 年 10 月末申請分と合わせると、入学定員 7250 名、2 年次編入定員 30 名、3 年次編入定員 690 名」（大学ジャーナル：<https://univ-journal.jp/243519/?cn-reloaded=1&cn-reloaded=1> 令和 6（2024）年 4 月 10 日記事）であり、今後、急速に競争環境が激化する見込みである。

本学部の入学者及び入学定員充足率の直近 3 年間の入学者数と充足率は次のとおりである。いずれも、18 歳人口の中長期的な動向及び競合する大学の状況が、少なから

ず影響しているものと考えられ、状況に合わせた定員の適正化（減員）が求められるものと認識している。

人間科学部の入学者数・充足率

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
健康栄養学科	入学者数	47人	66人	66人
	充足率	0.59	0.83	0.83
ヘルスフードサイエンス学科	入学者数	26人	26人	33人
	充足率	0.43	0.43	0.55
心身健康科学科 (通信教育課程)	入学者数	265人	280人	234人
	充足率	0.53	0.56	0.47

以上、本申請における入学定員及び収容定員の変更は、18歳人口の中長期的な動向、競合する大学及び本学部の入学者数等の状況を踏まえた検討に基づくものである。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容

人間総合科学大学は、学則により、「建教育基本法及び建学の精神に基づき、よりよく生きるための知恵（knowledge for well-being）の創出を追求するとともに、深く人間を理解し、自立と共生の心を培い、時代を切り拓く新しい展望と視座に立って、わが国の発展、国際社会に貢献しうる創造性豊かな活力あふれる人材の育成を目的」としている。この目的のもとに編成されている本学部の教育課程について、定員変更前の教育課程と比較して同等以上の内容が担保されていることを、以下に記載する。

【健康栄養学科】

人間総合科学大学の人材養成の目的のもとに、健康栄養学科では、その教育目的達成のための教育課程として、人間を学際的に総合して科学的に探究するための、基礎分野の他、管理栄養士養成に対応した専門基礎分野及び専門分野の科目を配した体系的なカリキュラム編成となっている。基礎分野の科目では、コア科目として「心身健康科学」、「ヒューマンⅠ」「ヒューマンⅡ」「ヒューマンⅢ」等、総合的な人間理解に関する科目を必修としている一方、「AI・データ活用リテラシー」「食品発酵学」「発達心理学と環

境」等、社会の期待と学生の関心に適う科目を選択科目として開講している。専門基礎分野及び専門分野の科目では、「応用栄養学実習」、「給食経営管理実習」など実践的な学びも多い。次の表のとおり。定員変更によってこれらの開講科目が減じることはなく、これまでと同様の教育課程（カリキュラム）を提供する。

健康栄養学科の開講科目数

	変更前の開講科目数	変更後の開講科目数
基礎科目	26(23)	26(23)
専門基礎科目	35(30)	35(30)
専門科目	46(33)	46(33)

※定員変更前：令和6年度 / 定員変更後：完成年度

※（ ）内は必修科目

【ヘルスフードサイエンス学科】

人間総合科学大学の人材養成の目的のもとに、ヘルスフードサイエンス学科では、その教育目的達成のための教育課程として、人間を学際的に総合して科学的に探究するための基礎分野の他、「食品・栄養の基礎」「人間理解の基礎」を科学的に学ぶ専門基礎分野、学生の進路ごとに3専攻（「グローバルフードビジネス分野」「ヘルスフードサイエンス分野」「フードマネジメント分野」）の科目を配した体系的なカリキュラム編成となっている。基礎分野では、コア科目として「心身健康科学」、「ヒューマンⅠ」「ヒューマンⅡ」「ヒューマンⅢ」等、総合的な人間理解に関する科目を必修として配置している。専門基礎科目及び専門科目では、選択科目を多く配置し、学生の関心や目指すキャリアに応じた学修が可能となっている。次の表のとおり。定員変更によってこれらの開講科目が減じることはなく、これまでと同様の教育課程（カリキュラム）を提供する。

ヘルスフードサイエンス学科の開講科目数

	変更前の開講科目数	変更後の開講科目数
基礎科目	25(24)	25(24)
専門基礎科目	23(20)	23(20)
専門科目	57(20)	57(20)

※定員変更前：令和6年度 /定員変更後：完成年度

※（ ）内は必修科目

【心身健康科学科（通信教育課程）】

人間総合科学大学の人材養成の目的のもとに、心身健康科学科では、その教育目的達成のための教育課程として、大学において、人間を学際的に総合して科学的に探究するためのコア科目の他、分野別科目として《こころとからだの関係》、《いのちと健康のしくみ》、《環境・社会と人間》、《未来と人間》、《総合演習》の分野の科目を配した体系的なカリキュラム編成となっている。コア科目では、「心身健康科学」、「ヒューマン」等、総合的な人間理解に関する科目を必修として配置している。選択科目を多く配置し、学生の関心や目指すキャリアに応じた学修が可能となっている。次の表のとおり。定員変更によってこれらの開講科目が減じることはなく、これまでと同様の教育課程（カリキュラム）を提供する。

心身健康科学科の開講科目数

	変更前の開講科目数	変更後の開講科目数
コア科目	8(7)	8(7)
分野別科目	107(0)	107(0)
総合演習	4(0)	4(0)
基本科目	7(1)	7(1)
教職課程科目	19(0)	19(0)
看護教員養成コース	12(0)	12(0)
学士申請講座	6(0)	6(0)
心身データの体験・体得の 実践	19(0)	19(0)

※定員変更前：令和6年度 /定員変更後：完成年度

※（ ）内は必修科目

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学部では通信教育課程を含めた全ての学部学科で担任制を採用し、履修指導にあたっている。今後も、事務局教務担当と共に、学生の関心、目標とするキャリアにあった履修指導を実施し、大学生活において不安なく過ごせるよう、引き続きサポートを行う。

担任は定期的あるいは臨時に個別面談を実施して学生一人一人の状況を把握し、きめ細かい履修指導を行う。特に、通学課程である健康栄養学科とヘルスフードサイエンス学科は、高等学校を卒業して間もない新入生が多く、初年次からの躓きを避けるため、入学初日から 2 日間に亘り実施される新入生ガイダンスにて、教職員より詳細に説明を行う。また、「履修科目登録申請書」を提出する際には担任の承認を得ることを義務づけている。さらに、オフィスアワー制度を設け、随時教員に相談できる環境を用意している。定員変更によってこれらの担任制度や指導方法、学生数における担任数の割合や面談、説明会の回数等に変更が生じることはなく、これまでと同様の履修指導を継続する。

(ウ) 教員組織の変更内容

変更前と変更後における本学部の専任教員数は、大学設置基準に基づき次のとおりである。いずれも大学設置基準を上回る教員数を配置している。

人間科学部の専任教員数

		教授	准教授	講師	助教
健康栄養学科	変更前	4	1	2	4
	変更後	4	1	2	4
ヘルスフード サイエンス学科	変更前	4	1	1	2
	変更後	4	1	1	2
心身健康科学科 (通信教育課程)	変更前	9	2	3	3
	変更後	9	2	3	3

※定員変更前：令和 6 年度 / 定員変更後：完成年度

また、専任教員数一人当たりの学生数は次のとおりである。

	専任教員一人あたりの学生数	
	変更前 現在の収容定員／ 教員数	変更後 完成年度の収容定員／ 教員数
健康栄養学科	29.1	14.5
ヘルスフードサイエンス学科	30.0	7.5
心身健康科学科	117.6	58.8

※定員変更前：令和 6 年度 / 定員変更後：完成年度

いずれの学科においても、入学定員変更前の水準を保っている。よって、今回の変更によっても現在の教育水準を十分に維持できると考える。

(エ)大学全体の施設・設備の変更内容

本学部は、さいたま市岩槻区の蓮田キャンパスに所在する。JR 蓮田駅から徒歩 13 分の距離にある。主に健康栄養学科・ヘルスフードサイエンス学科及び心身健康科学科のスクーリングにて使用される校舎等の施設設備は、研究室、図書館、学生ラウンジ、運動施設及び教室（実習・実験施設を含む）が整備されており、変更前の収容定員数に対応したものである。変更後も、これらの施設設備については、学生数に応じた利用・活用が行われる教室（実習・実験施設を含む）以外は、基本的に現況と同様であり、収容定員の変更後もこれまでと同様の教育環境が提供できる。

また、心身健康科学科にて使用されている学修ポータルサイト「UHAS@My キャンパス」についても、定員変更による変更はなく、収容定員の変更後も、これまでと同様の教育環境が提供できる。

人間総合科学大学 人間科学部の収容定員変更に係る
学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1) 収容定員を変更する組織の概要	2
(2) 人材需要の社会的な動向等	3
(3) 学生確保の見通し	10
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由	20

添付データ

別紙1 収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙2 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙3 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績

(1) 収容定員を変更する組織の概要

①収容定員を変更する組織の概要

(名称, 入学定員 (編入学定員), 収容定員, 所在地)

収容定員を変更する組織の概要については、次のとおりである。

収容定員を変更する組織の概要

収容定員を変更する 組織	入学定員	収容定員	所在地
人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科	40 名	160 名	埼玉県さいたま市岩槻区馬込 1288 番地
人間総合科学大学 人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科	15 名	60 名	埼玉県さいたま市岩槻区馬込 1288 番地
人間総合科学大学 人間科学部 心身健康科学科 【通信教育課程】	250 名	1000 名	埼玉県さいたま市岩槻区馬込 1288 番地

②収容定員を変更する組織の特色

本学の母体となる学校法人早稲田医療学園は、創設以来、「人々の健康と幸福に寄与する人材の育成」という教育理念を掲げ、時代と社会の要請に応えながら、人々の QOL（生活の質）の向上に資する人材を輩出してきた。このような理念のもと、更なる人間理解のための学際的・統合的学問分野の構築を目指し、通信教育課程の人間科学部人間科学科（平成 29 年に心身健康科学科に名称変更）を設置し、平成 12 年 4 月、人間総合科学大学を開学した。人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科（以下健康栄養学科）は、平成 17 年 4 月に人間の生活と「栄養・食」との関係を科学的・統合的視点から追求すべく、通学課程として開設した。ヘルスフードサイエンス学科は、平成 29

年 4 月に人間の総合的・科学的な理解と「食・栄養」について幅広く学び、探究すべく、通学課程として開設した。開設当初の入学定員は 80 名であったが、令和 2 年度に 60 名に変更している。

教育基本法及び建学の精神に基づき、よりよく生きるための知恵（knowledge for well-being）の創出を追求するとともに、深く人間を理解し、自立と共生の心を培い、時代を切り拓く新しい展望と視座に立って、わが国の発展、国際社会に貢献しうる創造性豊かな活力あふれる人材の育成を目的とする本学において、健康栄養学科は、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を基盤に、人間・生活と「栄養・食」との係りを科学的・統合的視点から追求し、健康や医療に係る様々な場面において、管理栄養士として活躍できる人材の養成を目的とし、ヘルスフードサイエンス学科は、人間の総合的・科学的な理解と「食・栄養」について幅広く学び、食の安全・安心、リスク管理と国際的な食のマネジメントの総合的な知識と技術を身につけた人材の育成を目的としている。また、心身健康科学科は通信教育課程として設置され、「こころ」「からだ」「環境・社会」の側面から、科学的な「人間の総合的理解」「心身の相関性の理解」を基盤に、心身ともに健康で豊かに暮らせる社会構築を支援できる人材の養成を目的としている。

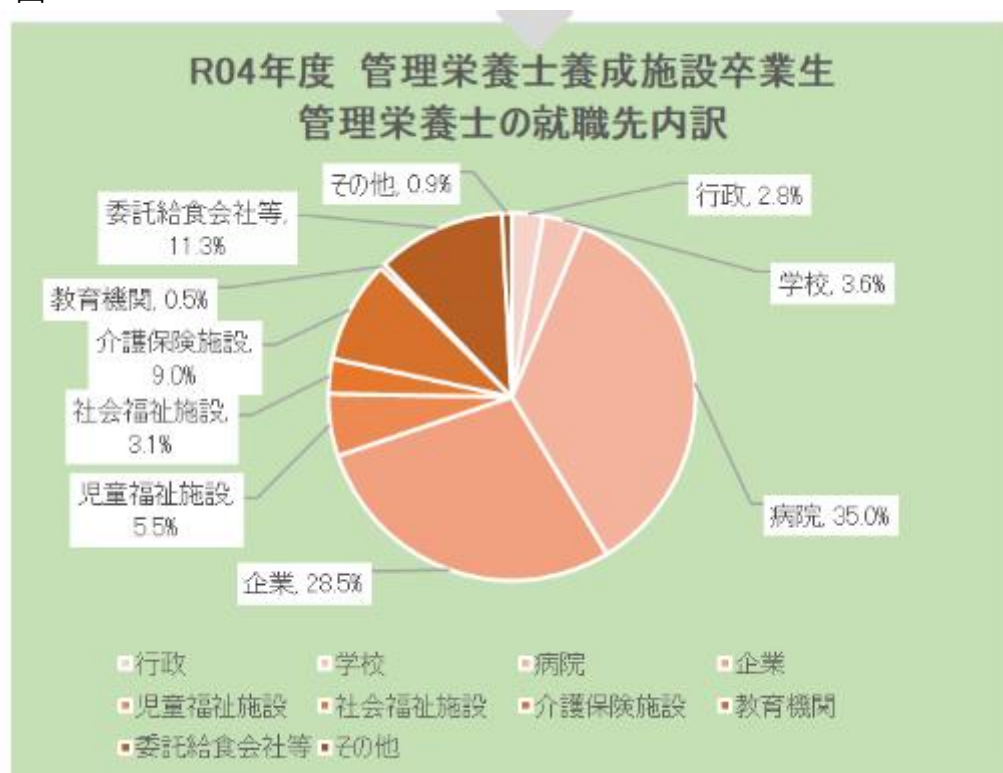
尚、収容定員を変更する組織と近接する学問分野を持つ他の既設組織はない。

（２）人材需要の社会的な動向等

①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

一般社団法人全国栄養士養成施設協会によると、令和 4 年度の全国の栄養士・管理栄養士養成施設卒業生の就職率は 90.3%であり、健康栄養学科が主として養成する管理栄養士の就職先も、行政、学校、病院、企業、児童福祉施設等多岐にわたっており（図 1）、全国的、社会的な人材需要の高さと、就職先の幅広さが確認できる。また、行政、学校、病院、児童福祉施設等は地域の人口や産業特性に関わらず一定数存在する機関・施設であるため、全国的、社会的な人材需要の高さと、就職先の幅広さは同時に、地域的な人材需要においても同様とみることができる。

図 1

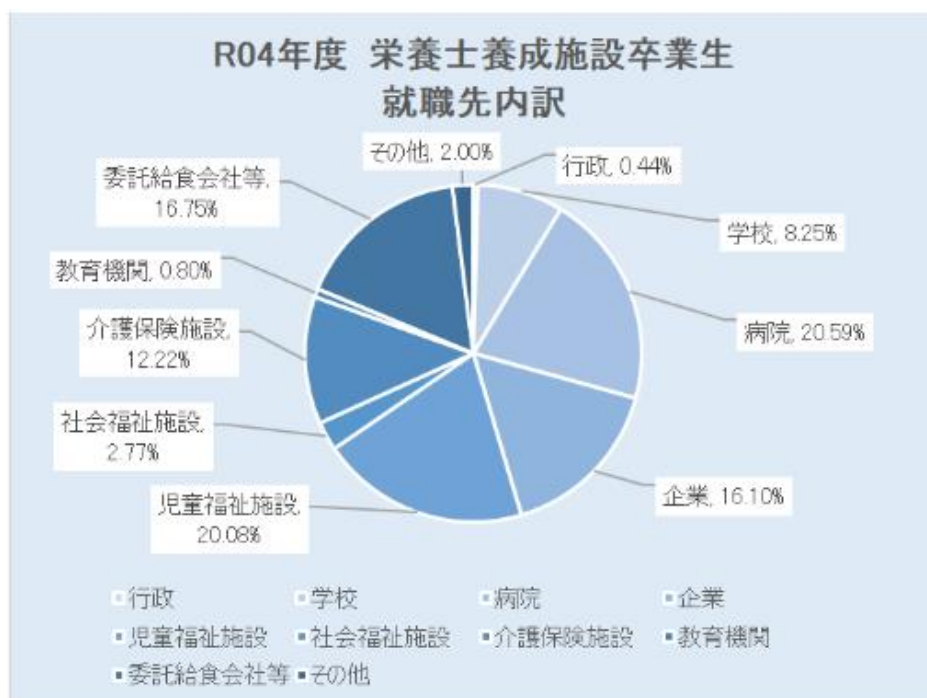


※一般社団法人全国栄養士養成施設協会

<https://www.eiyo.or.jp/about/shushoku.html>

ヘルスフードサイエンス学科が養成する栄養士の就職先も、行政、学校、病院企業、児童福祉施設等多岐にわたっており（図2）、全国的、社会的な人材需要の高さと、就職先の幅広さが確認できる。また、行政、学校、病院、児童福祉施設等は地域の人口や産業特性に関わらず一定数存在する機関・施設であるため、全国的、社会的な人材需要の高さと、就職先の幅広さは同時に、地域的な人材需要においても同様とみることができる。

図 2



※一般社団法人全国栄養士養成施設協会

<https://www.eiyo.or.jp/about/shushoku.html>

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

令和4（2022）年文部科学省「学校基本調査」をもとに作成された株式会社教育企画センターの分析資料（図3）によると、18歳人口は令和5（2023）年度に比較して、令和15（2033）年度は5.0%減少し、健康栄養学科・ヘルスフードサイエンス学科の入学生数の主な出身地域である関東においては、1.4%減少することが推定されている。

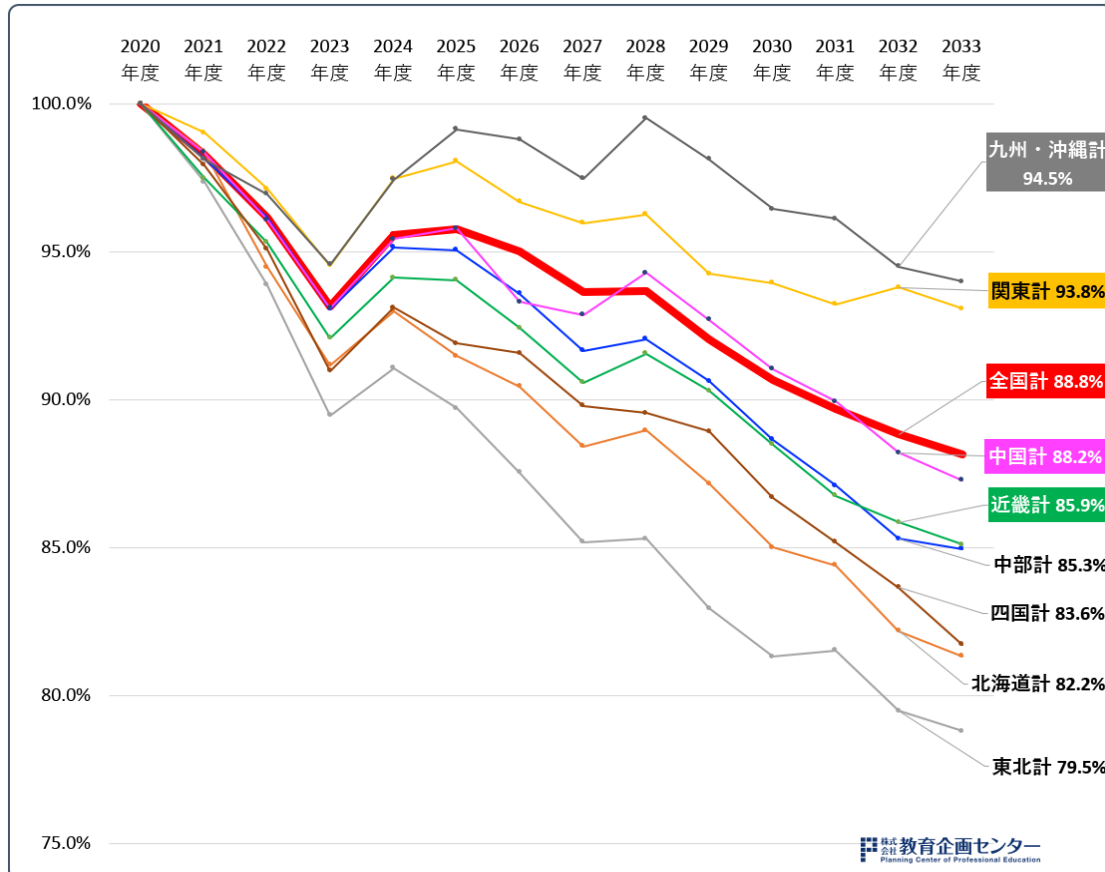
図 3

地域別 18 歳人口予測値推移

※2020年を100%とし、以降の増減を%で表示しています。

赤字：全国計より3%以上低い

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	2032 年度	2033 年度	2033-2020年度 減少率
全国計	100.0%	98.3%	96.1%	93.1%	95.6%	95.8%	95.0%	93.6%	93.7%	92.0%	90.7%	89.7%	88.8%	88.1%	-11.9%
北海道計	100.0%	98.4%	94.5%	91.2%	93.0%	91.5%	90.4%	88.4%	89.0%	87.2%	85.0%	84.4%	82.2%	81.3%	-18.7%
東北計	100.0%	97.4%	93.9%	89.5%	91.1%	89.7%	87.5%	85.2%	85.3%	82.9%	81.3%	81.5%	79.5%	78.8%	-21.2%
関東計	100.0%	99.0%	97.1%	94.5%	97.5%	98.0%	96.7%	96.0%	96.3%	94.3%	93.9%	93.2%	93.8%	93.1%	-6.9%
中部計	100.0%	98.1%	96.1%	93.1%	95.2%	95.1%	93.6%	91.7%	92.0%	90.6%	88.6%	87.1%	85.3%	84.9%	-15.1%
近畿計	100.0%	97.5%	95.3%	92.1%	94.1%	94.0%	92.4%	90.6%	91.6%	90.3%	88.5%	86.7%	85.9%	85.1%	-14.9%
中国計	100.0%	98.3%	96.1%	93.1%	95.4%	95.8%	93.3%	92.9%	94.3%	92.7%	91.0%	89.9%	88.2%	87.3%	-12.7%
四国計	100.0%	97.9%	95.1%	91.0%	93.1%	91.9%	91.6%	89.8%	89.5%	88.9%	86.7%	85.2%	83.6%	81.7%	-18.3%
九州・沖縄計	100.0%	98.1%	96.9%	94.6%	97.4%	99.1%	98.8%	97.5%	99.5%	98.1%	96.4%	96.1%	94.5%	94.0%	-6.0%



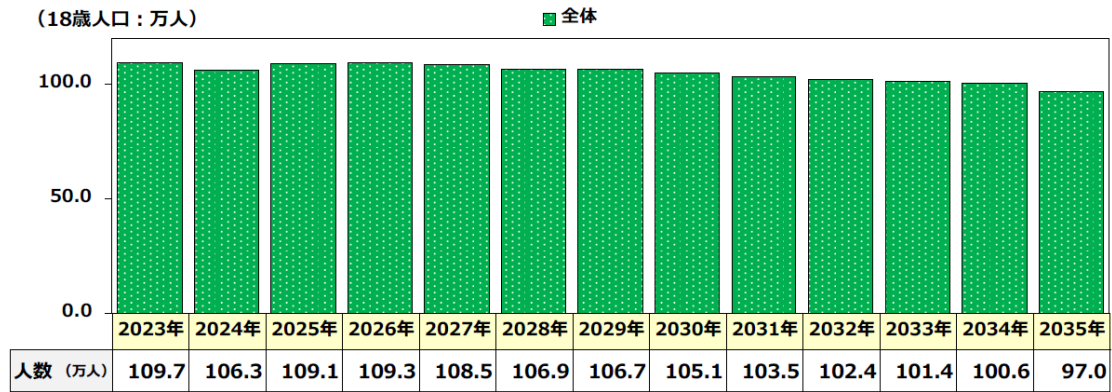
令和4年度および過去の学校基本調査より算出・加工 / 高校3年生相当年齢の年度を18歳人口年度と設定
© Planning Center of Professional Education. All rights reserved.

※株式会社教育企画センター <https://www.pcpe.jp/blog/20230330-210/>

また、リクルート総研の推定では、18歳人口は令和5（2023）年度（109.7万人）に比較して、令和15（2033）年度は7.6%（101.4万人）に減少し（図4）、本学部の所在県である埼玉県においては、5.1%減少することが推定されている（図5）。

図 4

■ 18歳人口動態の変化

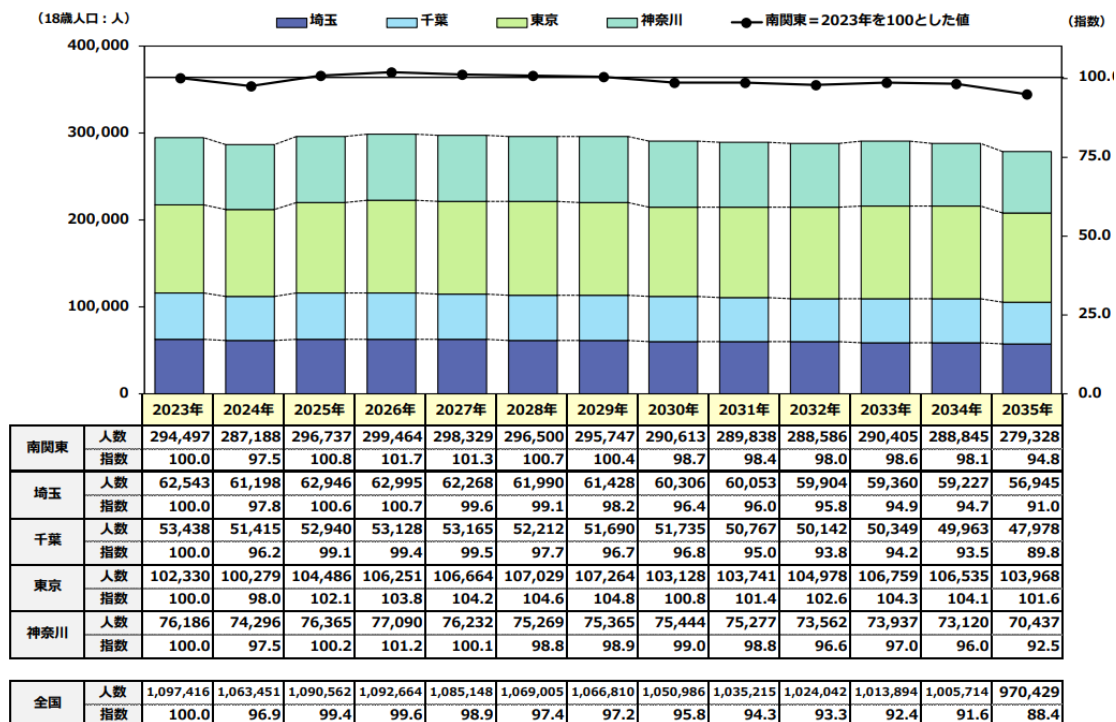


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

※「学校基本調査」を基にリクルート進学総研にて作成

※リクルート総研：<https://souken.shingakunet.com/research/2024/02/182023.html>

図 5



※リクルート総研：<https://souken.shingakunet.com/research/2024/02/182023.html>

これら複数の推計をみると、令和 5（2023）年から令和 15（2033）年までに 18 歳人口は、全国的に 5 から 8 %、本学部の所在県（埼玉県）や健康栄養学科及びヘルスフードサイエンス学科の主な入学生の出身地域（関東）では、1 から 5 %程度の減少が見込まれる。

③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

【健康栄養学科・ヘルスフードサイエンス学科】

学校基本調査における出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（本学上位 5 都道府県）においては埼玉県が最も人数が多く構成比は 53.1%である。また、健康栄養学科入学生における出身校の所在県は、埼玉県が 45%、隣接する栃木県、東京都、茨城県、群馬県の 4 都県全体が 38%であり、ヘルスフードサイエンス学科入学生における出身校の所在県は、埼玉県が 52%、隣接する栃木県、東京都、茨城県、群馬県の 4 都県全体が 27%である。これら 2 つのデータから埼玉県が主な学生募集地域であることが確認できる。そのため、埼玉県から 50%、隣接する栃木県、東京都、茨城県、群馬県の 4 都県全体で 30%の入学者を見込んでいる。

・参照：別紙 1－1 収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

【心身健康科学科（通信教育課程）】

学校基本調査における出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（本学上位 5 都道府県）においては東京都が最も人数が多く構成比は 28.6%である。また、心身健康科学科入学生における居住地は、東京都が 17.5%、次いで本学所在地である埼玉県が 13.7%となっている。通信制のため、全国的に広い範囲が募集対象地域となっている。

・参照：別紙 1－2 収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

④既設組織の定員充足の状況

人間総合科学大学の既設組織は、定員変更を申請する本学部の他、保健医療学部看護

学科・リハビリテーション学科がある。以下、それぞれについて、別紙2のとおり、定員充足状況（学科等別、入試方法別の入学志願状況等）を示し、今後の定員充足の見通しについて記載する。

a. 人間科学部健康栄養学科

過去5年の定員充足率は0.76であり、減少傾向にある。当該学科は令和7年度より入学定員を80名から40名に変更する予定であり、以降の入学定員充足率は大幅に改善し、1.00付近にて推移するものと見込んでいる。

b. 人間科学部ヘルスフードサイエンス学科

過去5年の定員充足率は0.45であり、減少傾向にある。当該学科は令和7年度より入学定員を60名から15名に変更する予定であり、以降の入学定員充足率は大幅に改善し、1.00付近にて推移するものと見込んでいる。

c. 人間科学部心身健康科学科（通信教育課程）

過去5年の定員充足率は0.54である。入試種別において、過去5年の志願者数、入学者数は微減傾向にある。当該学科は令和7年度より入学定員を500名から250名に変更する予定であり、以降の入学定員充足率は大幅に改善し、1.00付近にて推移するものと見込んでいる。

d. 保健医療学部看護学科

過去5年の定員充足率は1.00である。過去5年の志願者数は、学校推薦型選抜を除いて減少しているが、入学者数は目立った増減がなく、安定している。また、総合型選抜においては、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜と比較すると入学志願者数の減少が比較的少なく、学校推薦型選抜はほぼ一定である。過去5年間に於いて、入学試験種別の入学者は、総合型選抜と学校推薦型選抜で約80%を占めていることから、学校推薦型選抜の増加施策等により、今後の入学定員充足率も引き続き1.00付近にて推移するものと見込んでいる。

e. 保健医療学部リハビリテーション学科

過去5年の定員充足率は0.93である。入試種別において、過去5年の志願者数、入学者数の目立った増減がなく、一定である。今後の入学定員充足率も引き続き1.00付近にて推移するものと見込んでいる。

・参照：別紙2 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

（3）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

（収容定員を変更する組織における取組とその目標を含む）

本学学生の子な出身校所在地である埼玉県、栃木県、東京都、茨城県、群馬県、千葉県を対象に、高校訪問を年に2回（5月～7月、9月～10月）実施する。訪問予定の高等学校は307校であり、そのうち、埼玉県の高等学校が139校（45.3%）である。広報課長の統括の下、広報担当の事務職員及び広報委員会所属教職員を中心に、一人当たり、約15校の訪問を担当する。また、訪問校には、通信教育課程である心身健康科学科の学びに親和性が高いと思われる通信制高等学校も含まれている。

高校訪問数

	埼玉県	栃木県	東京都	茨城県	群馬県	千葉県
校数 （合計：307校）	139	30	30	45	32	31
割合	45.3%	9.8%	9.8%	14.7%	10.4%	10.1%

大学案内や学生募集要項等の資料請求数は、令和4年度が7058件、令和5年度が7744件であり、年度毎に広告媒体の検証を行い、掲出する広告媒体を調整することによって増加している。令和7年度までには、令和4年度比で1.13倍となる8,000件の資料請求数を見込んでいる。

また、オープンキャンパスについては、令和4年度における参加者総数が人間科学部（心身健康科学科を除く）は383名、保健医療学部が779名であり、令和5年度は、人間科学部（心身健康科学科を除く）は344名、保健医療学部が764名であり、微減となっている。しかしながら、参加者の受験率は、人間科学部（心身健康科学科を除く）が10.5ポイント、保健医療学部が6.9ポイント増加している。令和7年度は入試制度との連携も含めた取り組みを行うことで、受験率・入学率ともに40%以上になることを効果として見込んでいる。

人間科学部心身健康科学科は、前述の高校訪問の他、5月から3月にかけてオープンキャンパスもしくは個別相談会を13回開催する。また、専門学校1,800校にダイレクトメールを送付し、専門学校卒業後の進路として、本学科の3年次編入学を案内することで、入学者の増加を見込む。

・参照：別紙3 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

イ 当該取組の実績の分析結果に基づく収容定員を変更する組織での入学者見込み数

【健康栄養学科】

過去5年の入学者数の平均は61人である。健康栄養学科、ヘルスフードサイエンス学科合同で開催しているオープンキャンパスの参加者における受験率・入学率は、令和4年度が28.7%・27.5%、令和5年度が39.2%・38.4%であり、両指標とも約10ポイント程度の向上がみられる。より魅力的、効果的なイベントになるよう改善が進んでいる。しかしながら、オープンキャンパス参加者数をみると、令和4年度が383人、令和5年度が344人と減少しており、参加者数に影響を与える大学全体の学部学科（心身健康科学科を除く）を対象とした資料請求者数も減少傾向にある。これらの状況に加えて、管理栄養士としての人材育成に必要な学力を備えた入学生の獲得（入試選抜機能の強化、

質の維持)、減少トレンドを示す 18 歳人口の推計を考慮すると、健康栄養学科の入学生は 35 人～45 人が全体として見込まれる。

健康栄養学科の入学者数等の推移

	平成 31 年度入試	令和 2 年 度入試	令和 3 年 度入試	令和 4 年 度入試	令和 5 年 度入試	平均
入学定員	80 人	80 人	80 人	80 人	80 人	80 人
入学者数	69 人	57 人	47 人	66 人	66 人	61 人
充足率	0.86	0.71	0.59	0.83	0.83	0.76
歩留率	0.60	0.66	0.63	0.80	0.80	0.70

【ヘルスフードサイエンス学科】

ヘルスフードサイエンス学科の過去 5 年の入学者数の平均は 30 人である。健康栄養学科、ヘルスフードサイエンス学科合同で開催しているオープンキャンパスの参加者における受験率・入学率は、令和 4 年度が 28.7%・27.5%、令和 5 年度が 39.2%・38.4% であり、両指標とも約 10 ポイント程度の向上がみられる。より魅力的、効果的なイベントになるよう改善が進んでいる。しかしながら、オープンキャンパス参加者数をみると令和 4 年度が 383 人、令和 5 年度が 344 人と減少しており、参加者数に影響を与える大学全体の学部学科（心身健康科学科を除く）を対象とした資料請求者数も減少傾向にある。これらの状況に加えて、食品開発の学びと栄養士資格の取得等に必要な学力を備えた入学生の獲得（入試選抜機能の強化、質の維持）、減少トレンドを示す 18 歳人口の推計を考慮すると、ヘルスフードサイエンス学科の入学生は 20 人が全体として見込まれる。

ヘルスフードサイエンス学科の入学人数等の推移

	平成 31 年度入試	令和 2 年 度入試	令和 3 年 度入試	令和 4 年 度入試	令和 5 年 度入試	平均
入学定員	80 人	80 人	60 人	60 人	60 人	68 人
入学人数	25 人	41 人	26 人	26 人	33 人	30 人
充足率	0.31	0.51	0.43	0.43	0.55	0.45
歩留率	0.78	0.82	0.72	0.84	0.80	0.79

【心身健康科学科（通信教育課程）】

心身健康科学科の過去 5 年の入学人数の平均は 269 人である。資料請求者数は、令和 4 年度が 3690 人、令和 5 年度が 3955 人でありやや増えている。しかしながら、資料請求者の受験率・入学率については、令和 4 年度が 1.4%・1.3%、令和 5 年度が 1.2%・1.1%と減少している。そのため、送付する資料の内容改善や資料請求者への情報提供の頻度等の改善に取り組んでいる。これらの状況を考慮すると、心身健康科学科の入学人数は 250 名が全体として見込まれる。

心身健康科学科の入学人数等の推移

	平成 31 年度入試	令和 2 年 度入試	令和 3 年 度入試	令和 4 年 度入試	令和 5 年 度入試	平均
入学定員	500 人	500 人	500 人	500 人	500 人	500 人
入学人数	307 人	261 人	265 人	280 人	234 人	269 人
充足率	0.61	0.52	0.53	0.56	0.47	0.54
歩留率	0.96	0.96	0.97	0.98	0.96	0.97

②競合校の状況分析

（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

【健康栄養学科】

ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性

○競合校の選定理由

学部学科の類似性（管理栄養士・栄養士に関する人材養成）及び立地が比較的近接している（所在地が埼玉県）こと、家政以外の学部学科が併設されている、短期大学の併設はなく 4 年制大学と大学院のみであること等の点から十文字学園女子大学人間生活学部食物栄養学科（以下、食物栄養学科）が競合として選定される。

○競合校との比較分析

・教育内容と方法

食物栄養学科は、管理栄養士の国家資格受験資格取得を教育内容の特色としている点は、健康栄養学科と共通している。しかしながら、健康栄養学科は全国的にも珍しい心身健康科学という特色ある科目を開設している点、及び併設する医療系学部学生との交流ができる点において異なる魅力を有している。

・入試（競合校の受験時期、入学手続時期との関係）

競合校との入試比較について、食物栄養学科と概ね同様の出願期間、実施回数となっているが、総合型選抜、学校推薦型選抜において、健康栄養学科の方が実施回数が多く、より早期に入学者を一定数確保できるよう工夫している。

十文字学園女子大学人間生活学部食物栄養学科 令和 6 年度入試

試験の種類	出願期間	実施回数	入学手続き (最終日程の締切日)
総合型選抜	10 月 3 日から 3 月 13 日	4 回	3 月 22 日
学校推薦型選抜	11 月 1 日から 11 月 15 日	1 回	12 月 15 日
一般選抜	11 月 16 日から 3 月 7 日	4 回	3 月 22 日
共通テスト利用	1 月 5 日から 3 月 7 日	2 回	3 月 22 日

人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 令和6年度入試

試験の種類	出願期間	実施回数	入学手続き (最終日程の締切日)
総合型選抜	9月1日から 3月14日	6回	3月29日
学校推薦型選抜	11月1日から 12月6日	2回	12月22日
一般選抜	1月5日から 3月8日	3回	3月22日
共通テスト利用	1月5日から 3月15日	3回	3月29日

・学生納付金、取得できる資格等

初年度納入の学納金については、22万円の差がみられ、取得可能資格については、健康栄養学科の方が多くなっている。

学納金及び取得可能資格の比較

	十文字学園女子大学 人間生活学部食物栄養学科	人間総合科学大学 人間科学部健康栄養学科
学納金 (初年度・入学金含)	1,430,000 円	1,650,000 円
取得可能資格 (受験資格が得られる 資格を含む)	管理栄養士、栄養士、栄養 教諭1種免許状、第一種衛 生管理者、NR・サプリー メントアドバイザー	管理栄養士、栄養士、食品衛生 管理者(任用資格)、食品衛生 監視員(任用資格)、栄養教諭 1種免許状、NR・サプリー メントアドバイザー

イ 競合校の入学志願者の動向等

入学志願者の動向については、競合校の1次データがないため、過去3年の入学者数について比較する。食物栄養学科は令和4年度から令和5年度にかけて大きく充足

率を下けているが、健康栄養学科は横ばいである。

十文字学園女子大学人間生活学部食物栄養学科

入学定員 120 名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入学者数	134	135	96
充足率 (%)	111.7	112.5	80.0

人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科

入学定員 80 名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入学者数	47	66	66
充足率 (%)	58.8	82.5	82.5

ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等

健康栄養学科は、令和 4 年度、令和 5 年度ともに 66 名の入学者数を得ているが、競合校である食物栄養学科は入学者数を大きく減らしている。また、健康栄養学科の受験倍率は過去 3 年で 1.0 から 1.1 倍であり、入学選抜機能の確保が必要となっている。その他、18 歳人口の減少等も鑑みると、今後、入学者数を増やすことはこれまでの分析において厳しいものと見込まれる。

人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 受験倍率

	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
受験者数	77	86	83
合格者数	75	83	82
倍率	1.03	1.04	1.01

【ヘルスフードサイエンス学科】

ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性

○競合校の選定理由

学部学科の類似性（食のスペシャリストの養成）及び立地が比較的近接している（所在地が埼玉県）こと、家政以外の学部学科が併設されていること、短期大学の併設はなく 4 年制大学と大学院のみであること等の点から十文字学園女子大学人間生活学部食品開発学科（以下 食品開発学科）が競合として選定される。

○競合校との比較分析

・教育内容と方法

食品開発学科は、食品開発等食のスペシャリストを養成する点にいて、教育内容が類似している。しかしながら、ヘルスフードサイエンス学科は、食品開発の学びと栄養士資格の取得が同時に可能である点や心身健康科学という特色ある科目を開設している点において異なる魅力を有している。

・入試（競合校の受験時期、入学手続時期との関係）

競合校との入試比較について、食品開発学科と概ね同様の出願期間、実施回数となっているが、総合型選抜、学校推薦型選抜において、ヘルスフードサイエンス学科の方が実施回数が多く、より早期に入学者を一定数確保できるよう工夫している。

十文字学園女子大学人間生活学部食品開発学科 令和 6 年度入試

試験の種類	出願期間	実施回数	入学手続き (最終日程の締切日)
総合型選抜	10 月 3 日から 3 月 13 日	4 回	3 月 22 日
学校推薦型選抜	11 月 1 日から 11 月 15 日	1 回	12 月 15 日
一般選抜	11 月 16 日から 3 月 7 日	4 回	3 月 22 日
共通テスト利用	1 月 5 日から 3 月 7 日	2 回	3 月 22 日

人間総合科学大学人間科学部ヘルスフードサイエンス学科 令和6年度入試

試験の種類	出願期間	実施回数	入学手続き (最終日程の締切日)
総合型選抜	9月1日から 3月14日	6回	3月29日
学校推薦型選抜	11月1日から 12月6日	2回	12月22日
一般選抜	1月5日から 3月8日	3回	3月22日
共通テスト利用	1月5日から 3月15日	3回	3月29日

・ 学生納付金、取得できる資格等

初年度納入の学納金については、22万円の差がみられ、取得可能資格については、ヘルスフードサイエンス学科の方が多くなっている。

学納金及び取得可能資格の比較

	十文字学園女子大学 人間生活学部食品開発学科	人間総合科学大学 人間科学部ヘルスフード サイエンス学科
学納金 (初年度・入学金含)	1,430,000 円	1,650,000 円
取得可能資格 (受験資格が得られる 資格を含む)	食品衛生管理者、食品衛生監視員、フードコーディネーター、フードサイエンティスト	栄養士、食品衛生管理者(任用資格)、食品衛生監視員(任用資格)、HACCP管理者、フードコーディネーター、フードスペシャリスト、フードサイエンティスト、メディシェフ、健康食品管理士、食の6次産業化プロデューサー(レベル認定)、NR サプリメントアドバイザー、登録販売者

イ 競合校の入学志願者の動向等

入学志願者の動向については、競合校の1次データがないため、過去3年の入学者数について比較する。食品開発学科は令和4年度から令和5年度にかけて大きく充足率を下げているが、ヘルスフードサイエンス学科は横ばいである。

十文字学園女子大学人間生活学部食品開発学科

入学定員 40 名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入学者数	38	40	25
充足率 (%)	95.0	100.0	62.5

人間総合科学大学人間科学部ヘルスフードサイエンス学科

入学定員 60 名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入学者数	26	26	33
充足率 (%)	43.3	43.3	55.0

ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等

ヘルスフードサイエンス学科は、令和3、4年度は26名、令和5年度は33名の入学者数を得ているが、競合校である食品開発学科は令和4年度から令和5年度にかけて入学者数を大きく減らしている。また、ヘルスフードサイエンス学科の受験倍率は過去3年で1.0倍である。その他、18歳人口の減少等も鑑みると、今後、入学者数を増やすことはこれまでの分析において厳しいものと見込まれる。

人間総合科学大学人間科学部ヘルスフードサイエンス学科 受験倍率

	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
受験者数	37	32	41
合格者数	36	31	41
倍率	1.03	1.03	1.00

【心身健康科学科（通信教育課程）】

入学時期、学部学科の分野、取得可能資格等複数の点において、類似する学科がなく、入試データ等が不明かつ学費形態が多様であるため、競合分析は割愛する。但し、再掲になるが心身健康科学科と競合する通信制大学の状況については、令和 7（2025）年 4 月に設置認可申請した新たな通信教育課程は 3 大学 3 学部であり、「2025 年 4 月に開設予定の通信教育課程の大学設置、学部設置の認可申請分は、2023 年 10 月末申請分と合わせると、入学定員 7250 名、2 年次編入定員 30 名、3 年次編入定員 690 名」(大学ジャーナル:<https://univ-journal.jp/243519/?cn-reloaded=1&cn-reloaded=1> 令和 6（2024）年 4 月 10 日記事）であり、今後、急速に競争環境が激化する見込みである。効果的な広報活動によって現状の人数に近い 250 名を継続的に確保できるものと見込んでいる。

（４）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

引き続き効果的な広報活動を展開すると同時に、入学者減少傾向への組織的な対応と入学選抜機能の確保を図るためには、入学定員の適正化(減員)が必要となる。5～8％程度の 18 歳人口の減少及び、健康栄養学科・ヘルスフードサイエンス学科における受験倍率 1.5 倍から 2.0 倍の確保に鑑み、主に以下の 3 点を考慮した結果、健康栄養学科 40 名、ヘルスフードサイエンス学科 15 名、心身健康科学科 250 名の定員が妥当であるものと判断する。

- ・ 本学、競合校ともに過去 3 年で入学者数が減少傾向にあり、学問分野と地域的な動向を鑑みると、受験生が今後増える見通しが得難いこと。
- ・ 18 歳人口の減少により、わずかではあるが受験生は減少傾向になることが見込

まれること。

- ・受験者減少の中で、国家資格である管理栄養士・栄養士の養成に係わる健康栄養学科とヘルスフードサイエンス学科は、適切な入試選抜機能、とりわけ入試倍率 1.5～2.0 倍を確保する必要があること。
- ・通信制大学の大幅な新設、定員増が見込まれ、競争環境が激化すること。

収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1 - 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	埼玉県	10,317人	53.1%
2	栃木県	1,149人	5.9%
3	東京都	5,393人	27.7%
4	茨城県	1,315人	6.8%
5	群馬県	1,266人	6.5%
	全 体	19,440人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○収容定員を変更する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 （都道府県）	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	埼玉県	98.83%	98.90%	98.03%

※ 2 校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○収容定員を変更する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	家政系（大学）	94.11%	95.28%	89.01%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1 - 2

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	東京都	5,393人	28.6%
2	埼玉県	10,317人	54.7%
3	千葉県	1,709人	9.1%
4	神奈川県	848人	4.5%
5	長野県	591人	3.1%
	全 体	18,858人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○収容定員を変更する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	埼玉県	98.83%	98.90%	98.03%

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○収容定員を変更する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	その他：人間科学部（大学）	101.69%	98.29%	94.74%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

１．各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
総合型選抜	募集人数	25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	37人	33人	20人	34人	25人
		受験者数	37人	33人	20人	34人	25人
		合格者数	32人	32人	20人	34人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	37人	33人	20人	34人	25人
		受験者数	37人	33人	20人	34人	25人
		合格者数	32人	32人	20人	34人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	32人	32人	20人	34人	25人	29人
学校推薦型選抜	募集人数	25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	25人	19人	24人	24人	39人
		受験者数	25人	19人	24人	24人	38人
		合格者数	22人	19人	24人	24人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	25人	19人	24人	24人	39人
		受験者数	25人	19人	24人	24人	38人
		合格者数	22人	19人	24人	24人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	0人	1人
	入学者数	22人	19人	23人	24人	37人	25人
一般選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数	22人	16人	16人	16人	7人
		受験者数	17人	12人	12人	13人	7人
		合格者数	17人	11人	12人	13人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	7人	9人	7人	6人
	実人数	志願者数	22人	16人	16人	16人	7人
		受験者数	17人	12人	12人	13人	7人
		合格者数	17人	11人	12人	13人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	7人	9人	7人	6人
	入学者数	11人	4人	3人	6人	1人	5人
共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	44人	23人	21人	15人	12人
		受験者数	44人	23人	21人	15人	12人
		合格者数	44人	23人	19人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	40人	21人	18人	10人	9人
	実人数	志願者数	44人	23人	21人	15人	12人
		受験者数	44人	23人	21人	15人	12人
		合格者数	44人	23人	19人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	40人	21人	18人	10人	9人
	入学者数	4人	2人	1人	2人	2人	2人
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	1人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	1人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	128人	91人	81人	89人	84人
		受験者数	123人	87人	77人	86人	83人
		合格者数	115人	85人	75人	83人	82人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	46人	29人	28人	17人	16人
	実人数	志願者数	128人	91人	81人	89人	84人
		受験者数	123人	87人	77人	86人	83人
		合格者数	115人	85人	75人	83人	82人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	46人	29人	28人	17人	16人
	入学者数	69人	57人	47人	66人	66人	61人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	0.86	0.71	0.59	0.83	0.83	0.76
歩留率	0.60	0.67	0.63	0.80	0.80	0.70

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平 均
総合型選抜	募集人数	25人	25人	20人	20人	20人	22人
	延べ人数	志願者数	20人	11人	13人	16人	15人
		受験者数	20人	11人	13人	16人	15人
		合格者数	20人	11人	13人	16人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	20人	11人	13人	16人	15人
		受験者数	20人	11人	13人	16人	15人
		合格者数	20人	11人	13人	16人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	12人	20人	11人	13人	16人	14人
学校推薦型選抜	募集人数	25人	25人	20人	20人	20人	22人
	延べ人数	志願者数	16人	13人	13人	15人	13人
		受験者数	16人	13人	13人	15人	13人
		合格者数	16人	13人	13人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	16人	13人	13人	15人	13人
		受験者数	16人	13人	13人	15人	13人
		合格者数	16人	13人	13人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数	9人	16人	12人	12人	15人	13人
一般選抜	募集人数	20人	20人	10人	10人	10人	14人
	延べ人数	志願者数	8人	4人	2人	5人	5人
		受験者数	6人	3人	2人	5人	4人
		合格者数	6人	3人	2人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	2人	4人	2人
	実人数	志願者数	7人	4人	2人	5人	5人
		受験者数	5人	3人	2人	5人	4人
		合格者数	5人	3人	2人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	2人	4人	2人
	入学者数	4人	3人	3人	0人	1人	2人
共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	8人	10人	4人	5人	6人
		受験者数	8人	10人	4人	5人	6人
		合格者数	8人	9人	3人	5人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	9人	2人	4人	5人
	実人数	志願者数	8人	9人	3人	4人	6人
		受験者数	8人	9人	3人	4人	6人
		合格者数	8人	9人	2人	4人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	9人	2人	4人	5人
	入学者数	0人	2人	0人	1人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数	80人	80人	60人	60人	60人	68人
	延べ人数	志願者数	52人	38人	32人	41人	39人
		受験者数	50人	37人	32人	41人	39人
		合格者数	50人	36人	31人	41人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	9人	5人	8人	7人
	実人数	志願者数	51人	37人	31人	40人	39人
		受験者数	49人	36人	31人	40人	38人
		合格者数	49人	36人	30人	40人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	9人	5人	8人	7人
	入学者数	25人	41人	26人	26人	33人	30人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平 均
入学定員	80人	80人	60人	60人	60人	68人
入学定員充足率	0.31	0.51	0.43	0.43	0.55	0.45
歩留率	0.78	0.84	0.72	0.87	0.83	0.81

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平 均
総合型選抜	募集人数		－	－	－	－	－	－
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	－	－
		受験者数	－	－	－	－	－	－
		合格者数	－	－	－	－	－	－
		うち追加合格者数	－	－	－	－	－	－
		辞退者数	－	－	－	－	－	－
	実人数	志願者数	－	－	－	－	－	－
		受験者数	－	－	－	－	－	－
		合格者数	－	－	－	－	－	－
		うち追加合格者数	－	－	－	－	－	－
		辞退者数	－	－	－	－	－	－
	入学者数		－	－	－	－	－	－
学校推薦型選抜	募集人数		－	－	－	－	－	－
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	－	－
		受験者数	－	－	－	－	－	－
		合格者数	－	－	－	－	－	－
		うち追加合格者数	－	－	－	－	－	－
		辞退者数	－	－	－	－	－	－
	実人数	志願者数	－	－	－	－	－	－
		受験者数	－	－	－	－	－	－
		合格者数	－	－	－	－	－	－
		うち追加合格者数	－	－	－	－	－	－
		辞退者数	－	－	－	－	－	－
	入学者数		－	－	－	－	－	－
一般選抜	募集人数		－	－	－	－	－	－
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	－	－
		受験者数	－	－	－	－	－	－
		合格者数	－	－	－	－	－	－
		うち追加合格者数	－	－	－	－	－	－
		辞退者数	－	－	－	－	－	－
	実人数	志願者数	－	－	－	－	－	－
		受験者数	－	－	－	－	－	－
		合格者数	－	－	－	－	－	－
		うち追加合格者数	－	－	－	－	－	－
		辞退者数	－	－	－	－	－	－
	入学者数		－	－	－	－	－	－
共通テスト利用入試	募集人数		－	－	－	－	－	－
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	－	－
		受験者数	－	－	－	－	－	－
		合格者数	－	－	－	－	－	－
		うち追加合格者数	－	－	－	－	－	－
		辞退者数	－	－	－	－	－	－
	実人数	志願者数	－	－	－	－	－	－
		受験者数	－	－	－	－	－	－
		合格者数	－	－	－	－	－	－
		うち追加合格者数	－	－	－	－	－	－
		辞退者数	－	－	－	－	－	－
	入学者数		－	－	－	－	－	－
その他の特別選抜	募集人数		500人	500人	500人	500人	500人	500人
	延べ人数	志願者数	347人	295人	292人	325人	270人	306人
		受験者数	347人	295人	292人	325人	270人	306人
		合格者数	319人	273人	272人	287人	243人	279人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	12人	7人	7人	9人	9人
	実人数	志願者数	347人	295人	292人	325人	270人	306人
		受験者数	347人	295人	292人	325人	270人	306人
		合格者数	319人	273人	272人	287人	243人	279人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	12人	7人	7人	9人	9人
	入学者数		307人	261人	265人	280人	234人	269人
合計	募集人数		500人	500人	500人	500人	500人	500人
	延べ人数	志願者数	347人	295人	292人	325人	270人	306人
		受験者数	347人	295人	292人	325人	270人	306人
		合格者数	319人	273人	272人	287人	243人	279人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	12人	7人	7人	9人	9人
	実人数	志願者数	347人	295人	292人	325人	270人	306人
		受験者数	347人	295人	292人	325人	270人	306人
		合格者数	319人	273人	272人	287人	243人	279人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	12人	7人	7人	9人	9人
	入学者数		307人	261人	265人	280人	234人	269人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平 均
入学定員	500人	500人	500人	500人	500人	500人
入学定員充足率	0.61	0.52	0.53	0.56	0.47	0.54
歩留率	0.96	0.96	0.97	0.98	0.96	0.97

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
総合型選抜	募集人数		30人	40人	40人	40人	40人	38人
	延べ人数	志願者数	77人	109人	35人	47人	45人	63人
		受験者数	76人	107人	34人	47人	43人	61人
		合格者数	38人	46人	26人	47人	41人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	2人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	77人	109人	35人	47人	45人	63人
		受験者数	76人	107人	34人	47人	43人	61人
		合格者数	38人	46人	26人	47人	41人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	2人	1人	0人	1人
	入学者数		37人	45人	24人	46人	41人	39人
学校推薦型選抜	募集人数		25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	33人	41人	32人	35人	36人	35人
		受験者数	33人	41人	32人	34人	35人	35人
		合格者数	31人	33人	32人	34人	33人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	3人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	33人	41人	32人	35人	36人	35人
		受験者数	33人	41人	32人	34人	35人	35人
		合格者数	31人	33人	32人	34人	33人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	3人	0人	0人	1人
	入学者数		31人	33人	29人	34人	33人	32人
一般選抜	募集人数		20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数	82人	84人	67人	37人	36人	61人
		受験者数	71人	71人	51人	30人	33人	51人
		合格者数	41人	38人	48人	25人	26人	36人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	25人	32人	18人	15人	23人
	実人数	志願者数	80人	84人	67人	37人	36人	61人
		受験者数	69人	71人	51人	30人	33人	51人
		合格者数	41人	38人	48人	25人	26人	36人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	25人	32人	18人	15人	23人
	入学者数		14人	13人	16人	7人	11人	12人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	61人	56人	79人	35人	28人	52人
		受験者数	61人	56人	79人	34人	28人	52人
		合格者数	48人	39人	72人	19人	25人	41人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	39人	35人	68人	16人	21人	36人
	実人数	志願者数	60人	56人	79人	35人	28人	52人
		受験者数	60人	56人	79人	34人	28人	51人
		合格者数	48人	39人	72人	19人	25人	41人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	39人	35人	68人	16人	21人	36人
	入学者数		9人	4人	4人	3人	4人	5人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	2人	0人	0人	0人	1人	1人
		受験者数	2人	0人	0人	0人	1人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	2人	0人	0人	0人	1人	1人
		受験者数	2人	0人	0人	0人	1人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		80人	90人	90人	90人	90人	88人
	延べ人数	志願者数	255人	290人	213人	154人	146人	212人
		受験者数	243人	275人	196人	145人	140人	200人
		合格者数	158人	156人	178人	125人	125人	148人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	67人	61人	105人	35人	36人	61人
	実人数	志願者数	252人	290人	213人	154人	146人	211人
		受験者数	240人	275人	196人	145人	140人	199人
		合格者数	158人	156人	178人	125人	125人	148人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	67人	61人	105人	35人	36人	61人
	入学者数		91人	95人	73人	90人	89人	88人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	80人	90人	90人	90人	90人	88人
入学定員充足率	1.14	1.06	0.81	1.00	0.99	1.00
歩留率	0.58	0.61	0.41	0.72	0.71	0.61

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
総合型選抜	募集人数		30人	35人	35人	35人	35人	34人
	延べ人数	志願者数	79人	78人	45人	43人	43人	58人
		受験者数	78人	76人	44人	43人	42人	57人
		合格者数	38人	50人	34人	42人	40人	41人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	79人	78人	45人	43人	43人	58人
		受験者数	78人	76人	44人	43人	42人	57人
		合格者数	38人	50人	34人	42人	40人	41人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		38人	50人	34人	42人	40人	41人
学校推薦型選抜	募集人数		15人	20人	20人	20人	20人	19人
	延べ人数	志願者数	24人	21人	22人	25人	28人	24人
		受験者数	24人	21人	22人	25人	27人	24人
		合格者数	21人	18人	22人	25人	25人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	2人	0人	1人	1人
	実人数	志願者数	24人	21人	22人	25人	28人	24人
		受験者数	24人	21人	22人	25人	27人	24人
		合格者数	21人	18人	22人	25人	25人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	2人	0人	1人	1人
	入学者数		21人	18人	20人	25人	24人	22人
一般選抜	募集人数		15人	15人	15人	15人	15人	15人
	延べ人数	志願者数	59人	48人	23人	33人	20人	37人
		受験者数	53人	43人	17人	28人	17人	32人
		合格者数	31人	24人	14人	20人	14人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	20人	14人	9人	12人	6人	12人
	実人数	志願者数	50人	46人	23人	29人	20人	34人
		受験者数	44人	41人	17人	26人	17人	29人
		合格者数	30人	24人	14人	20人	14人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	14人	9人	12人	6人	12人
	入学者数		11人	10人	5人	8人	8人	8人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	58人	40人	30人	25人	19人	34人
		受験者数	58人	40人	30人	25人	19人	34人
		合格者数	18人	11人	30人	15人	11人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	16人	7人	29人	14人	11人	15人
	実人数	志願者数	50人	39人	30人	22人	17人	32人
		受験者数	50人	39人	30人	22人	17人	32人
		合格者数	14人	11人	30人	15人	9人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	7人	29人	14人	9人	14人
	入学者数		2人	4人	1人	1人	0人	2人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	1人	0人	0人	0人
合計	募集人数		70人	80人	80人	80人	80人	78人
	延べ人数	志願者数	220人	187人	121人	126人	110人	153人
		受験者数	213人	180人	114人	121人	105人	147人
		合格者数	108人	103人	101人	102人	90人	101人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	36人	21人	40人	26人	18人	28人
	実人数	志願者数	203人	184人	121人	119人	108人	147人
		受験者数	196人	177人	114人	116人	103人	141人
		合格者数	103人	103人	101人	102人	88人	99人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	31人	21人	40人	26人	16人	27人
	入学者数		72人	82人	61人	76人	72人	73人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	70人	80人	80人	80人	80人	78人
入学定員充足率	1.03	1.03	0.76	0.95	0.90	0.93
歩留率	0.70	0.80	0.60	0.75	0.82	0.73

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：保健医療学部（看護学科・リハビリテーション学科）オープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	779人	764人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、在学生との懇談、施設案内を実施。R3年は感染症拡大の影響でオンライン開催を併用した。 R4年度入試対象（R3開催）：計17回（来場8 オンライン9）開催 （5/23. 6/6. 6/27. 7/11. 7/22. 7/25. 8/8. 8/10. 8/22. 8/29. 9/26. 10/24. 11/21. 12/12. 1/18. 2/16. 3/27） R5年度入試対象（R4開催）：計11回開催 （5/29. 6/19. 7/3. 7/18. 8/11. 8/28. 9/25. 10/23. 11/20. 12/18. 3/26） ②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 人間科学部の参加者数に見込みを推計している。 ③受験対象者数の把握 参加に際し事前申込制とし学年を調査。オープンキャンパス終了後のアンケートでも受験対象者を判別している。
うち受験対象者数(b)	518人	450人	
うち受験者数(c)	159人	169人	
うち入学者数(d)	140人	150人	
（受験率 c/b)	30. 7%	37. 6%	
（入学率 d/b)	27. 0%	33. 3%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：人間科学部（健康栄養学科・ヘルスフードサイエンス学科）オープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	383人	344人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、在学生との懇談、施設案内を実施。R3年は感染症拡大の影響でオンライン開催を併用した。 R4年度入試対象（R3開催）：計16回（来場9 オンライン7）開催 （5/23. 6/6. 6/27. 7/11. 7/22. 7/25. 8/8. 8/10. 8/22. 9/26. 10/24. 11/21. 12/12. 1/18. 2/16. 3/27） R5年度入試対象（R4開催）：計12回開催 （4/24. 5/29. 6/19. 7/3. 7/18. 8/11. 8/28. 9/25. 10/23. 11/20. 12/18. 3/26） ②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者数は約10%減少しているが、受験率、入学率約10%は向上している。そのため、入学者数は増えており、今後も約10%程度の受験者数の増加を見込んでいる。しかしながら、健康栄養学科に関しては、入試選抜機能の改善の観点から、受験倍率の向上を図る必要があるため、受験者の微増に対して、入学者数は減少するものと見込まれる。 ③受験対象者数の把握 参加に際し事前申込制とし学年を調査。オープンキャンパス終了後のアンケートでも受験対象者を判別している。
うち受験対象者数(b)	244人	237人	
うち受験者数(c)	70人	93人	
うち入学者数(d)	67人	91人	
（受験率 c/b)	28. 7%	39. 2%	
（入学率 d/b)	27. 5%	38. 4%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称人間科学部（心身健康科学科＜通信教育課程＞）説明会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	159人	133人	①取組概要 受験希望者を対象としてオンラインにて説明会を実施し、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、コース説明、模擬授業、個別相談を実施。設定日のほか、WEB個別説明会、個別見学説明会を併用した。 R4年度入試対象（R3開催）：計12回開催 （6/27. 7/1. 7/25. 8/8. 8/22. 9/26. 10/24. 11/21. 12/12. 1/15. 2/12. 3/20） R5年度入試対象（R4開催）：計16回開催 （4/8. 4/24. 5/29. 6/19. 7/3. 7/24. 8/11. 8/28. 9/25. 10/23. 11/20. 12/18. 1/14. 2/5. 3/11. 3/26） ②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 ③受験対象者数の把握
うち受験対象者数(b)	156人	130人	
うち受験者数(c)	58人	57人	
うち入学者数(d)	58人	57人	
（受験率 c/b)	37. 2%	43. 8%	
（入学率 d/b)	37. 2%	43. 8%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：保健医療学部・人間科学部（心身健康科学科＜通信教育課程＞を除く）の大学案内・募集要項等の資料配布（請求に対して郵送）

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	7058人	7744人	①取組概要 受験対象者を主な対象として、希望者に大学案内、募集要項を郵送。尚、ホームページ上でデジタルパンフレットの閲覧も可能としている。 ②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 資料請求については、その後の接触媒体、イベントに受験率、入学率が依存するため、入学者数の見込みはオープンキャンパスにおいて推計している。 ③受験対象者数の把握 資料請求申し込み時に学年等を収集している。
うち受験対象者数(b)	3257人	3933人	
うち受験者数(c)	144人	138人	
うち入学者数(d)	106人	113人	
（受験率 c/b)	4. 4%	3. 5%	
（入学率 d/b)	3. 3%	2. 9%	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：心身健康科学科＜通信教育課程＞の大学案内・募集要項等の資料配布（請求に対して郵送）

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	3690人	3955人	①取組概要 受験希望者を主な対象として、大学案内、募集要項を郵送。尚、ホームページ上でデジタルパンフレットの閲覧も可能としている。 ②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 通信教育課程の資料請求者については、受験情報誌等の媒体によって受験率、入学率が異なるため、入学者数の見込みはそれらの媒体ごとに推計を行っている。R4、R5年度においては、受験情報誌等の媒体に大きな変化がなく、やや減少しているが、概ね両年度ともに同程度の入学者数であった。 ③受験対象者数の把握 資料請求申し込み時に学年等を収集しているが、今後はさらに受験希望時期を把握する項目の追加を予定している。
うち受験対象者数(b)	3680人	3940人	
うち受験者数(c)	52人	47人	
うち入学者数(d)	49人	45人	
（受験率 c/b)	1. 4%	1. 2%	
（入学率 d/b)	1. 3%	1. 1%	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	クシマリ 久住 眞理 ＜令和3年3月＞		博士（医学）		人間総合科学大学 学長 ＜令和3年3月＞